

基本計画書

基本計画																																				
事項	記入欄							備考																												
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更																																			
フリガナ設置者	ガッコウホウジン トウホウダイガク 学校法人 東邦大学																																			
フリガナ大学の名称	トウホウダイガク 東邦大学 (Toho University)																																			
大学本部の位置	東京都大田区大森西五丁目21番16号																																			
大学の目的	医学、看護学、薬学及び理学に関する学術の理解および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与するとともに有為の人材を育成する。																																			
新設学部等の目的	千葉県ならびに新潟県の医師修学支援制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意思をもった学生の選抜枠を設定し医師定着を図ることを目的に入学定員増を行う。																																			
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の12名の入学定員の増員は、令和5年度のみ臨時定員増である。また、医学部医学科の令和4年度における収容定員は695人で <table border="1" style="font-size: small; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>(人)</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和4年度</td><td>120</td><td>695</td></tr> <tr><td>令和5年度</td><td>122</td><td>702</td></tr> <tr><td>令和6年度</td><td>110</td><td>697</td></tr> <tr><td>令和7年度</td><td>110</td><td>692</td></tr> <tr><td>令和8年度</td><td>110</td><td>687</td></tr> <tr><td>令和9年度</td><td>110</td><td>682</td></tr> <tr><td>令和10年度</td><td>110</td><td>672</td></tr> <tr><td>令和11年度</td><td>110</td><td>660</td></tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和4年度	120	695	令和5年度	122	702	令和6年度	110	697	令和7年度	110	692	令和8年度	110	687	令和9年度	110	682	令和10年度	110	672	令和11年度	110	660
	(人)	入学定員	収容定員																																	
	令和4年度	120	695																																	
	令和5年度	122	702																																	
	令和6年度	110	697																																	
	令和7年度	110	692																																	
	令和8年度	110	687																																	
	令和9年度	110	682																																	
	令和10年度	110	672																																	
	令和11年度	110	660																																	
	医学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次		東京都大田区大森西五丁目21番16号																										
	医学科	6	122 (110)	—	672 (660)	学士（医学）	令和5年4月 第1年次																													
	薬学部	6	220	—	1,320	学士（薬学）	平成18年4月 第1年次	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	理学部	4	80	—	320	学士（理学）	昭和25年4月 第1年次	千葉県船橋市三山二丁目2番1号																												
	生物学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和25年4月 第1年次	同上																												
化学科	4	80	—	320	学士（理学）	平成1年4月 第1年次	同上																													
生物分子科学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和57年4月 第1年次	同上																													
物理学科	4	70	—	280	学士（理学）	平成1年4月 第1年次	同上																													
情報科学科	4	100	—	400	学士（理学）	平成17年4月 第1年次	同上																													
生命圏環境科学科	4	60	—	240	学士（理学）	平成23年4月 第1年次	同上																													
看護学部	4	102	—	408	学士（看護学）	平成29年4月 第1年次	東京都大田区大森西五丁目21番16号																													
健康科学部	4	60	—	240	学士（看護学）		千葉県船橋市三山二丁目2番1号																													
計		974 (962)		4,520 (4,508)																																
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	該当なし																																			
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数																														
		講義	演習	実験・実習	計																															
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位																														

教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
新 設	分	人	人	人	人	人	人	人	
		医学部医学科	97 (97)	72 (72)	126 (126)	364 (364)	659 (659)	0 (0)	19 (19)
		薬学部薬学科	24 (24)	11 (11)	26 (26)	10 (10)	71 (71)	0 (0)	40 (40)
		理学部生物学科	5 (5)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	21 (21)
		理学部化学科	6 (6)	9 (9)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	11 (11)
		理学部生物分子科学科	9 (9)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	18 (18)
		理学部物理学科	8 (8)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	24 (24)
		理学部情報科学科	10 (10)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	14 (14)
		理学部生命圏環境科学科	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	18 (18)
		看護学部看護学科	13 (12)	9 (9)	10 (10)	16 (16)	48 (47)	0 (0)	50 (50)
		健康科学部看護学科	8 (8)	4 (4)	5 (5)	9 (9)	26 (26)	4 (4)	22 (22)
計		186 (185)	133 (133)	180 (180)	399 (399)	898 (897)	4 (4)	— (—)	
既 設 分	理学部教養科	7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	61 (61)	
	計	7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	— (—)	
合計		193 (192)	138 (138)	181 (181)	399 (399)	911 (910)	4 (4)	— (—)	
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		338 (338)		105 (105)		443 (443)		
	技術職員		2,711 (2,711)		126 (126)		2,837 (2,837)		
	図書館専門職員		17 (17)		10 (10)		27 (27)		
	その他の職員		22 (22)		70 (70)		92 (92)		
計		3,088 (3,088)		311 (311)		3,399 (3,399)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
	校舎敷地	184,337.52 m ²	0 m ²	0 m ²		184,337.52 m ²			
	運動場用地	55,358.69 m ²	0 m ²	0 m ²		55,358.69 m ²			
	小 計	224,476.30 m ²	0 m ²	0 m ²		224,476.30 m ²			
	そ の 他	3,567.60 m ²	0 m ²	0 m ²		3,567.60 m ²			
合 計	467,740.11 m ²	0 m ²	0 m ²		467,740.11 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計				
	115,171.17 m ² (115,171.17 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)		115,171.17 m ² (115,171.17 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	80 室	52 室	54 室	5 室 (補助職員0人)	0 室 (補助職員0人)				
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	大学全体			512 室					

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体	
	大学全体	431,733 [155,268] (431,733 [155,268])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,417 [8,684] (10,417 [8,684])	4,572 (4,572)	22,737 (22,737)	0 (0)		
	計	431,733 [155,268] (431,733 [155,268])	4,814 [2,467] (4,814 [2,467])	10,417 [8,684] (10,417 [8,684])	4,572 (4,572)	22,737 (22,737)	0 (0)		
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
		6,644.58 m ²		753 席		486,741 冊			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		8,480.86 m ²		弓道場射場					
経費の 見積り 及び 維持 方法 の 概 要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子 ジャーナル・ データベースの 整備費（運用コ スト含む）を含 む。
	教員1人当り研究費等		305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	305千円	
	共同研究費等		66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円	66,975千円	
	図書購入費	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	256,932千円	
	設備購入費	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	1,579,551千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	医学部	4,800千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円		
	薬学部	2,230千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円		
	理学部	1,632千円	1,562千円	1,562千円	1,562千円	— 千円	— 千円		
	看護学部	2,400千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	— 千円	— 千円		
健康科学部	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、雑収入等						

大学等の名称	東邦大学								所在地
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
医学部	年	人	年次人	人		倍			
医学部 医学科	6	120	—	695	学士 (医学)	1.00	昭和27年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	平成27年度 医学部医学科入学 定員増(5人) (地域枠：令和3 年度まで) 令和4年度 医学部医学科入学 定員増(10人) (地域枠：令和4 年度まで)
薬学部 薬学科	6	220	—	1,320	学士 (薬学)	1.11	平成18年度	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
理学部						1.04			
生物学科	4	80	—	320	学士 (理学)	(1.04)	昭和25年度	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
化学科	4	80	—	320	学士 (理学)	(1.04)	昭和25年度	同上	
生物分子科学科	4	80	—	320	学士 (理学)	(1.05)	平成元年度	同上	
物理学科	4	70	—	280	学士 (理学)	(1.04)	昭和58年度	同上	
情報科学科	4	100	—	400	学士 (理学)	(1.05)	平成元年度	同上	
生命圏環境科学科	4	60	—	240	学士 (理学)	(1.06)	平成17年度	同上	
看護学部 看護学科	4	102	—	408	学士 (看護学)	1.07	平成23年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
健康科学部 看護学科	4	60	—	240	学士 (看護学)	1.10	平成29年度	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
大学全体(学部)	—	972	—	4,543	—	1.06	—	—	
医学研究科									
医科学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (医科学)	0.30	平成18年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号	
医学専攻 (博士課程)	4	35	—	140	博士 (医学)	0.73	平成22年度	同上	
薬学研究科									
薬科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (薬科学)	0.25	平成22年度	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
医療薬学専攻 (博士課程)	4	5	—	20	博士 (薬学)	1.30	平成24年度	同上	
理学研究科									
化学専攻 (博士前期課程)	2	16	—	32	修士 (理学)	2.24	昭和57年度	千葉県船橋市三山 二丁目2番1号	
化学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理学)	0.11	昭和59年度	同上	
生物学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (理学)	1.09	昭和57年度	同上	
生物学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理学)	0.44	昭和59年度	同上	
生物分子科学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (理学)	0.94	平成5年度	同上	
生物分子科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理学)	0.11	平成7年度	同上	
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (理学)	0.72	昭和61年度	同上	
物理学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	昭和63年度	同上	
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (理学)	0.66	平成5年度	同上	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (理学)	0.33	平成8年度	同上	
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (理学)	2.50	平成21年度	同上	

既設大学等の状況

環境科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (理学)	0.33	平成23年度	同上
看護学研究科								
看護学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.50	平成25年度	東京都大田区大森西 五丁目21番16号
看護学専攻 (博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (看護学)	0.66	平成25年度	同上
附属施設の概要	<p>名称：医療センター大森病院 目的：付属病院 所在地：東京都大田区大森西6丁目11-1 設置年月：大正14年12月 規模等：土地 22,818.89 m² 延べ床面積 73,579.62 m² 概要：ベッド数 916床</p> <p>名称：医療センター大橋病院 目的：付属病院 所在地：東京都目黒区大橋2丁目22-36 設置年月：昭和39年7月6日開設（平成30年6月20日移転） 規模等：土地 20,548.56 m² 延べ床面積 32,337.17 m² 概要：ベッド数 320床</p> <p>名称：医療センター佐倉病院 目的：付属病院 所在地：千葉県佐倉市下志津564番地1 設置年月：平成3年9月2日開設 規模等：土地 45,279.00 m² 延べ床面積 53,994.03 m² 概要：ベッド数 405床</p>							

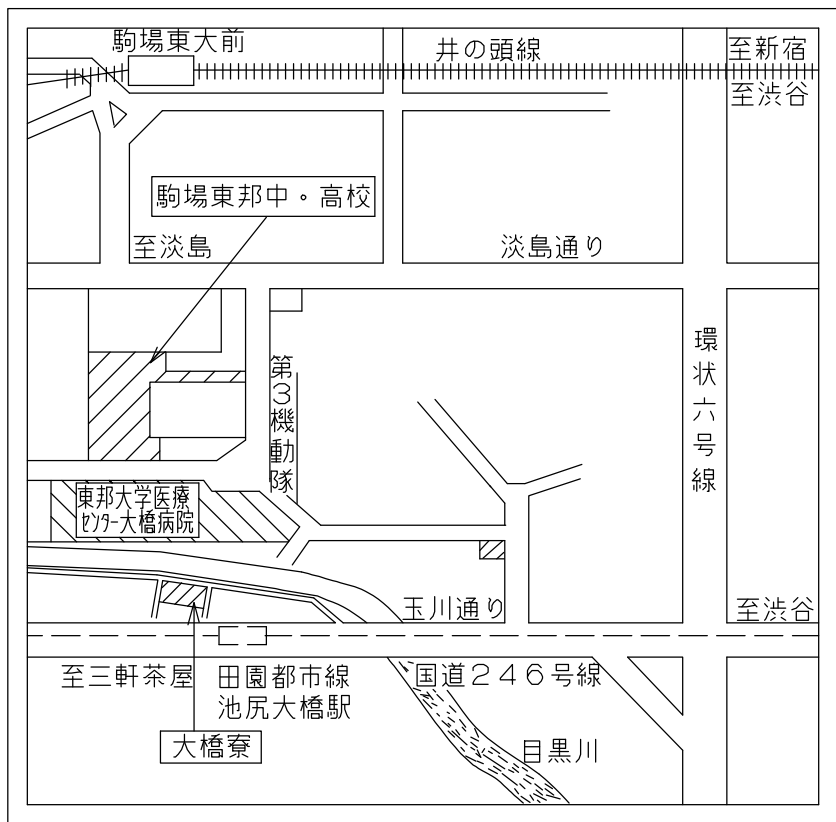
学校法人東邦大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
東邦大学			東邦大学			
医学部			医学部			
医学科	120	695	医学科	122	702	定員変更 (2)
薬学部			薬学部			
薬学科 (6年制)	220	1,320	薬学科 (6年制)	220	1,320	
理学部			理学部			
生物学科	80	320	生物学科	80	320	
化学科	80	320	化学科	80	320	
物理学科	70	280	物理学科	70	280	
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320	
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400	
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240	
看護学部			看護学部			
看護学科	102	408	看護学科	102	408	
健康科学部			健康科学部			
看護学科	60	240	看護学科	60	240	
計	972	4,543	計	974	4,550	
東邦大学大学院			東邦大学大学院			
医学研究科			医学研究科			
医科学専攻 (M)	5	10	医科学専攻 (M)	5	10	
医学専攻 (D)	35	140	医学専攻 (D)	35	140	
薬学研究科			薬学研究科			
薬科学専攻 (M)	10	20	薬科学専攻 (M)	10	20	
医療薬学専攻 (D)	5	20	医療薬学専攻 (D)	5	20	
理学研究科			理学研究科			
化学専攻 (M)	16	32	化学専攻 (M)	16	32	
化学専攻 (D)	3	9	化学専攻 (D)	3	9	
生物学専攻 (M)	15	30	生物学専攻 (M)	15	30	
生物学専攻 (D)	3	9	生物学専攻 (D)	3	9	
物理学専攻 (M)	18	36	物理学専攻 (M)	18	36	
物理学専攻 (D)	3	9	物理学専攻 (D)	3	9	
生物分子科学専攻 (M)	18	36	生物分子科学専攻 (M)	18	36	
生物分子科学専攻 (D)	3	9	生物分子科学専攻 (D)	3	9	
情報科学専攻 (M)	18	36	情報科学専攻 (M)	18	36	
情報科学専攻 (D)	3	9	情報科学専攻 (D)	3	9	
環境科学専攻 (M)	6	12	環境科学専攻 (M)	6	12	
環境科学専攻 (D)	2	6	環境科学専攻 (D)	2	6	
看護学研究科			看護学研究科			
看護学専攻 (M)	15	30	看護学専攻 (M)	15	30	
看護学専攻 (D)	5	15	看護学専攻 (D)	5	15	
計	183	468	計	183	468	

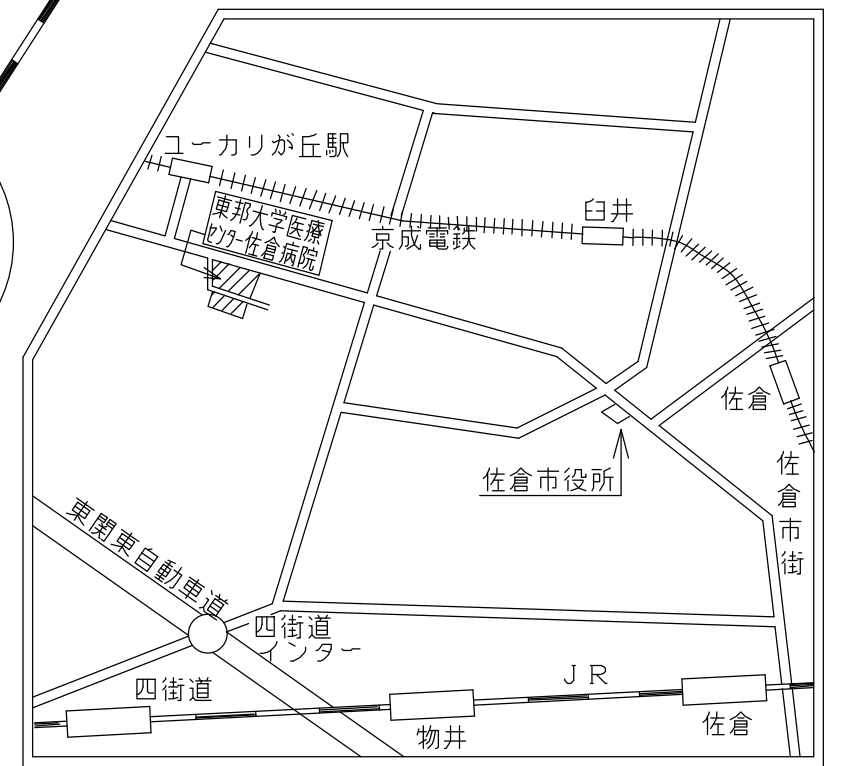
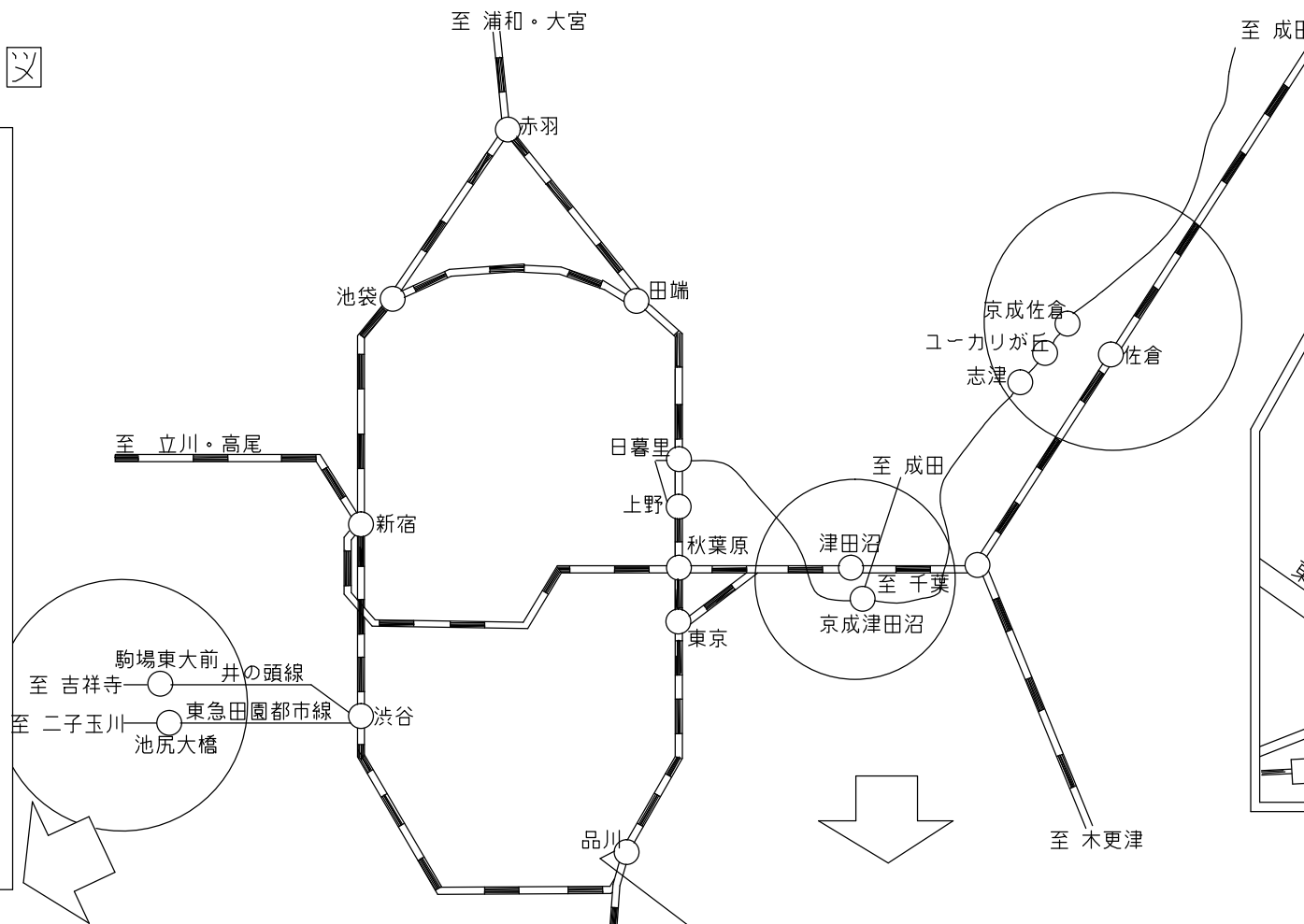
都道府県内における位置関係の図面



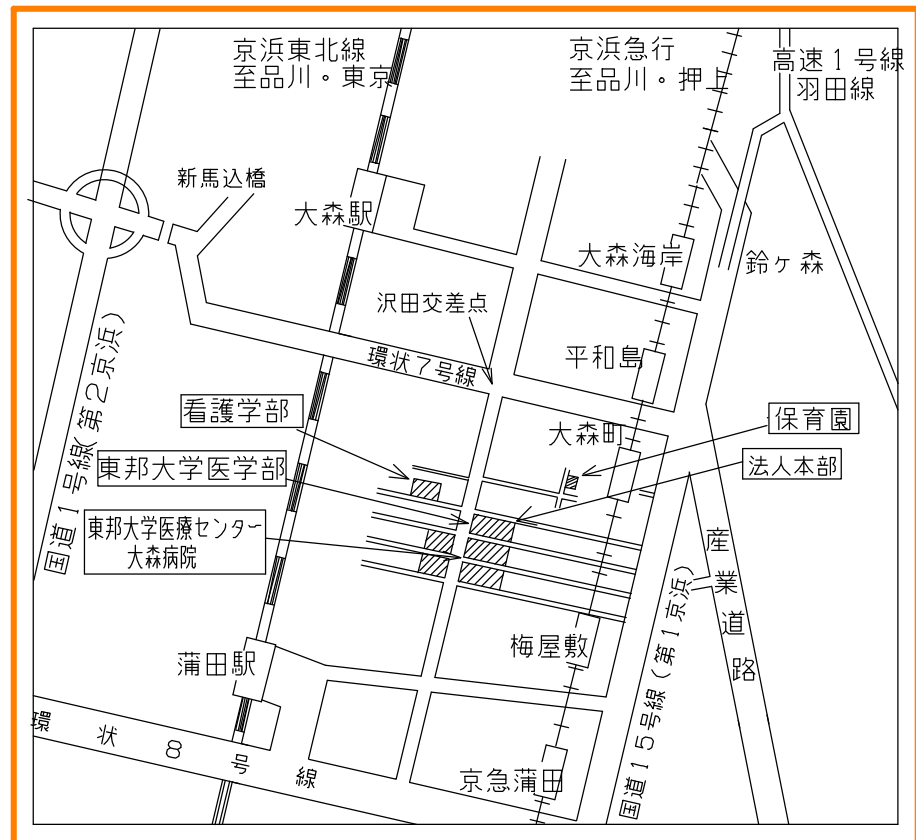
東邦大学キャンパス案内図



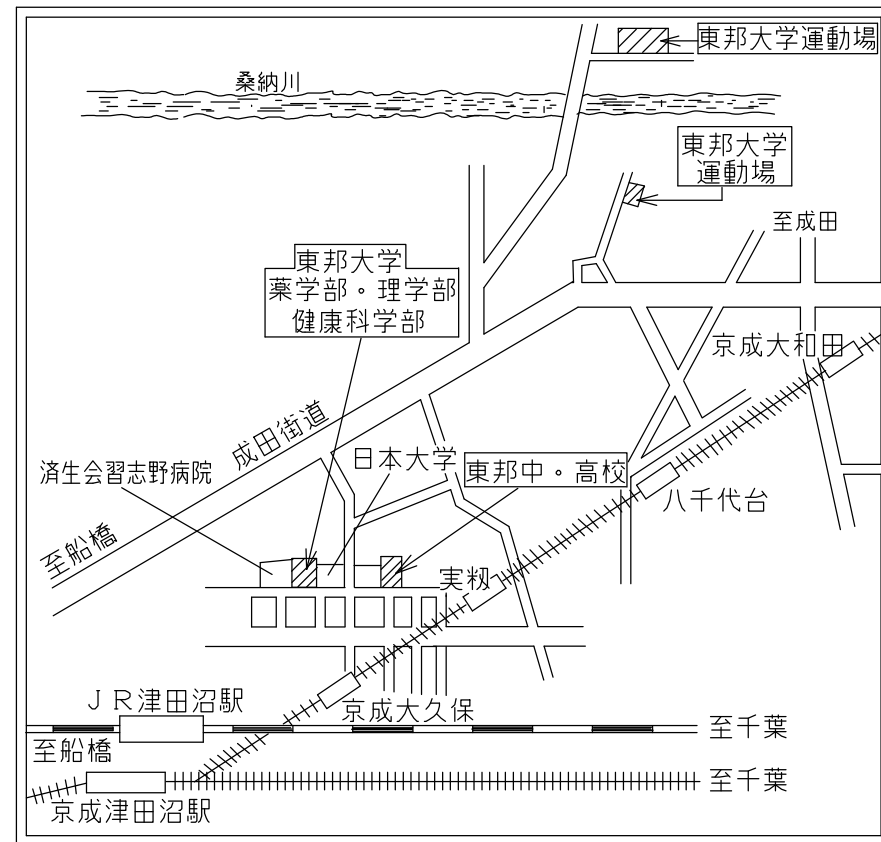
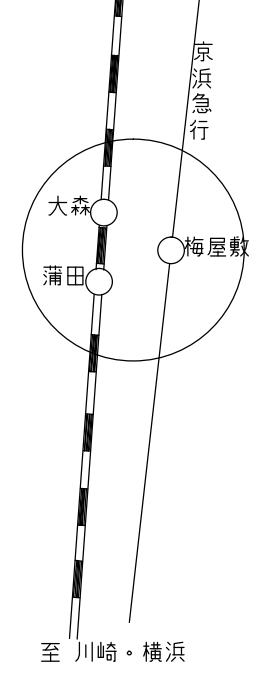
駒場・大橋地区



佐倉地区



大森地区



習志野・八千代地区

2. 校地・校舎

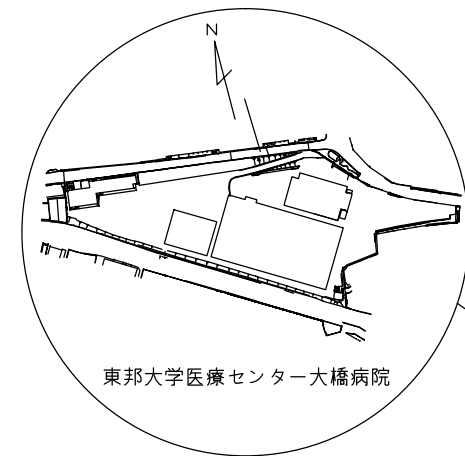
(1) 学校団地関係図

(D) 大橋校地 - 医学部

位置 東京都目黒区大橋2丁目

校地 20,548.56㎡

(内 所有 20,548.56㎡)



東邦大学医療センター大橋病院

(C) 大森地区 - 医学部・看護学部

位置 東京都大田区大森西5丁目他

校地 59,552.32㎡

(内 所有 58,537.45㎡ 借用 1,014.87㎡)

1,014.87㎡ 平成14年 3月 1日から30年間借用

校舎 120,258.28㎡

(内 所有 120,258.28㎡)



医学部校舎
看護学部校舎
東邦大学医療センター大森病院

JR蒲田駅からバス7分
京急梅屋敷駅から徒歩7分

JR京浜東北線
東京 - 蒲田 19分

至 横浜

(B) 八千代・桑橋校地 - 薬学部・理学部

位置 千葉県八千代市大和田新田他

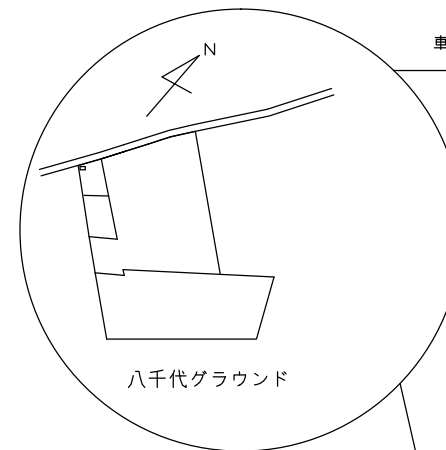
校地 18,256.02㎡

(内 運動場用地 16,481.02㎡)

(内 所有 18,256.02㎡)

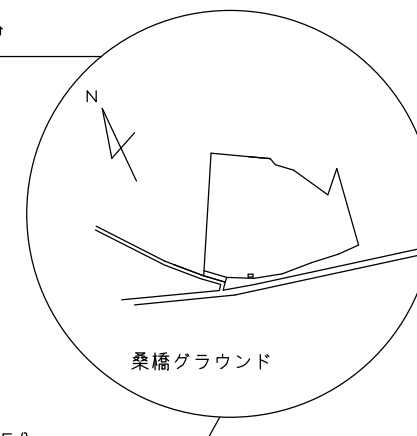
校舎 40.84㎡

(内 所有 40.84㎡)



八千代グラウンド

車利用7分



桑橋グラウンド

車利用15分

(A) 習志野校地 - 薬学部・理学部・健康科学部

位置 千葉県船橋市三山2丁目他

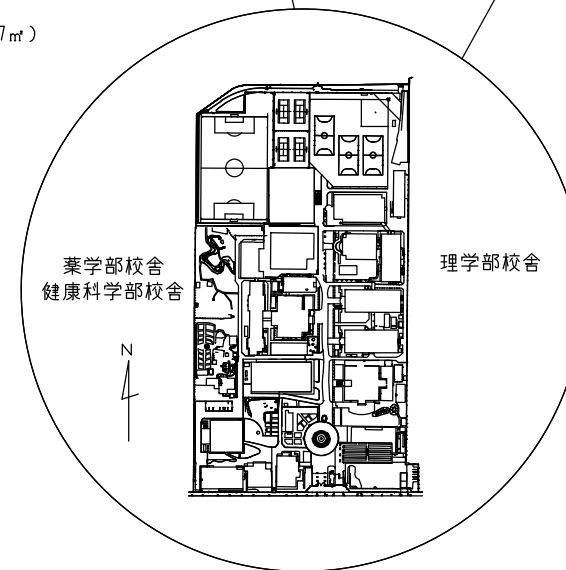
校地 85,609.44㎡

(内 運動場用地 24,575.67㎡)

(内 所有 85,609.44㎡)

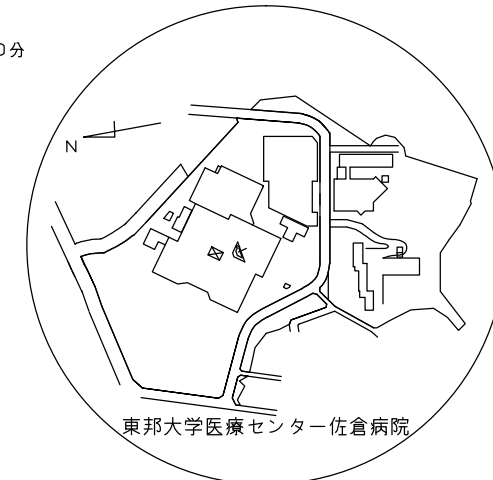
校舎 88,374.17㎡

(内 所有 88,374.17㎡)



薬学部校舎
健康科学部校舎
理学部校舎

車利用20分



(E) 佐倉校地 - 医学部

位置 千葉県佐倉市下志津

校地 45,279.00㎡

(内 運動場用地 2,132.00㎡)

(内 所有 45,279.00㎡)

校舎 53,994.03㎡

(内 所有 53,994.03㎡)

東邦大学医療センター佐倉病院

JR佐倉駅からバス15分
京成ユーカリが丘駅
から徒歩20分

至 成田

佐倉

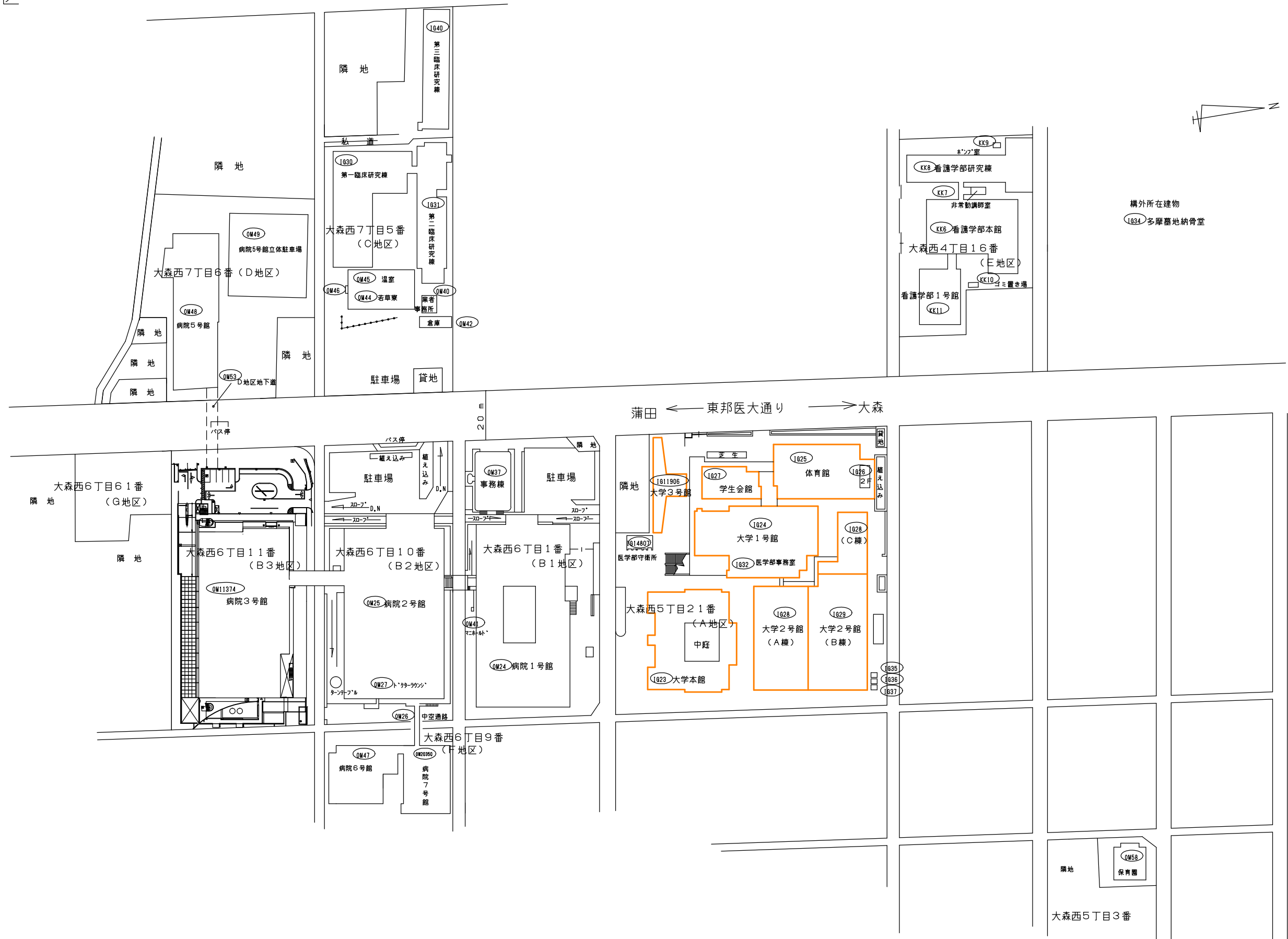
JR津田沼駅からバス15分

JR総武線
東京 - 津田沼 30分

千葉

JR総武線
東京 - 佐倉 60分

(A) 大森地区

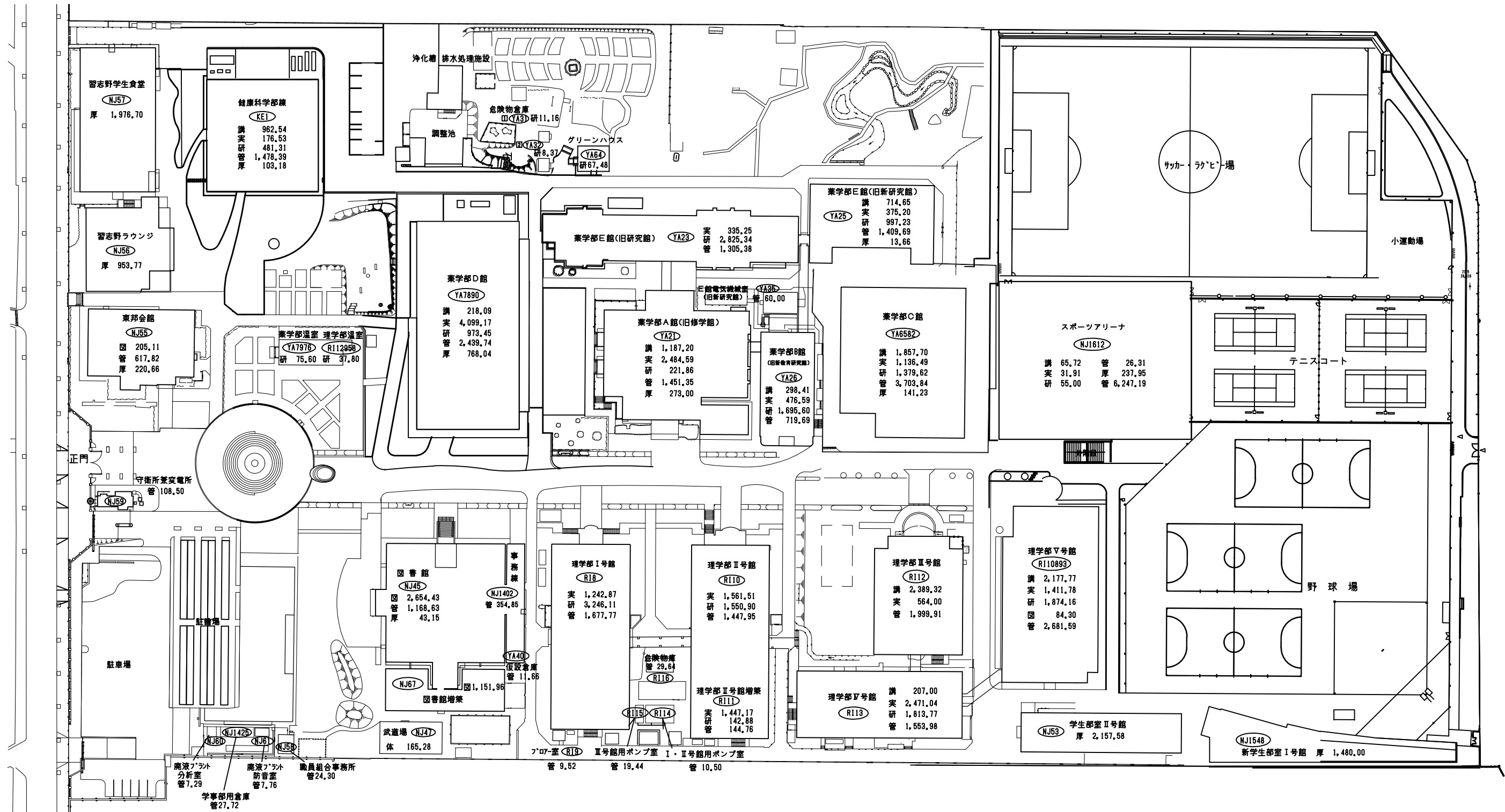


備考

図面名称 大森地区建物配置図

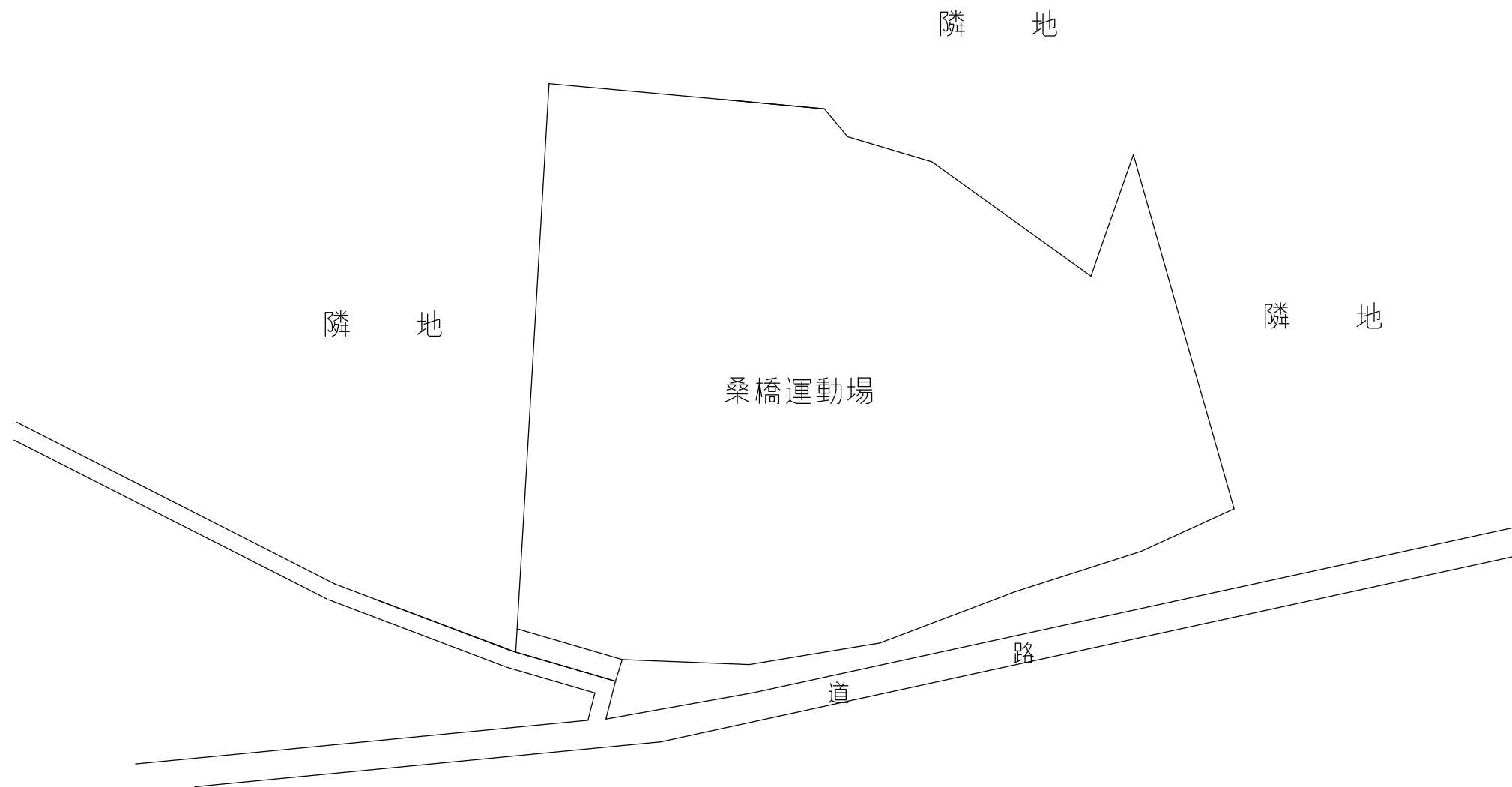
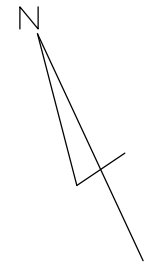
SCALE 1/1600 令和元年 9月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部



備考	合計面積	23049.14	(業学部)	講	4276.05㎡	実	8907.29㎡	研	8255.71㎡	図	0.00㎡	管	11101.35㎡	庫	1195.93㎡	体	0.00㎡	図面名称	習志野三山地区 建物配置図	
			(理学部)	講	4774.09㎡	実	8698.37㎡	研	8665.62㎡	図	84.30㎡	管	9577.29㎡	庫	0.00㎡	体	0.00㎡	SCALE	A1 1/600	
			(健康科学部)	講	962.54㎡	実	176.53㎡	研	481.31㎡	図	0.00㎡	管	1478.39㎡	庫	103.18㎡	体	0.00㎡	他	6.63㎡	令和 4年 3月
			(習志野学部)	講	65.72㎡	実	31.91㎡	研	55.00㎡	図	4011.50㎡	管	2343.18㎡	庫	7069.81㎡	体	6412.47㎡		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

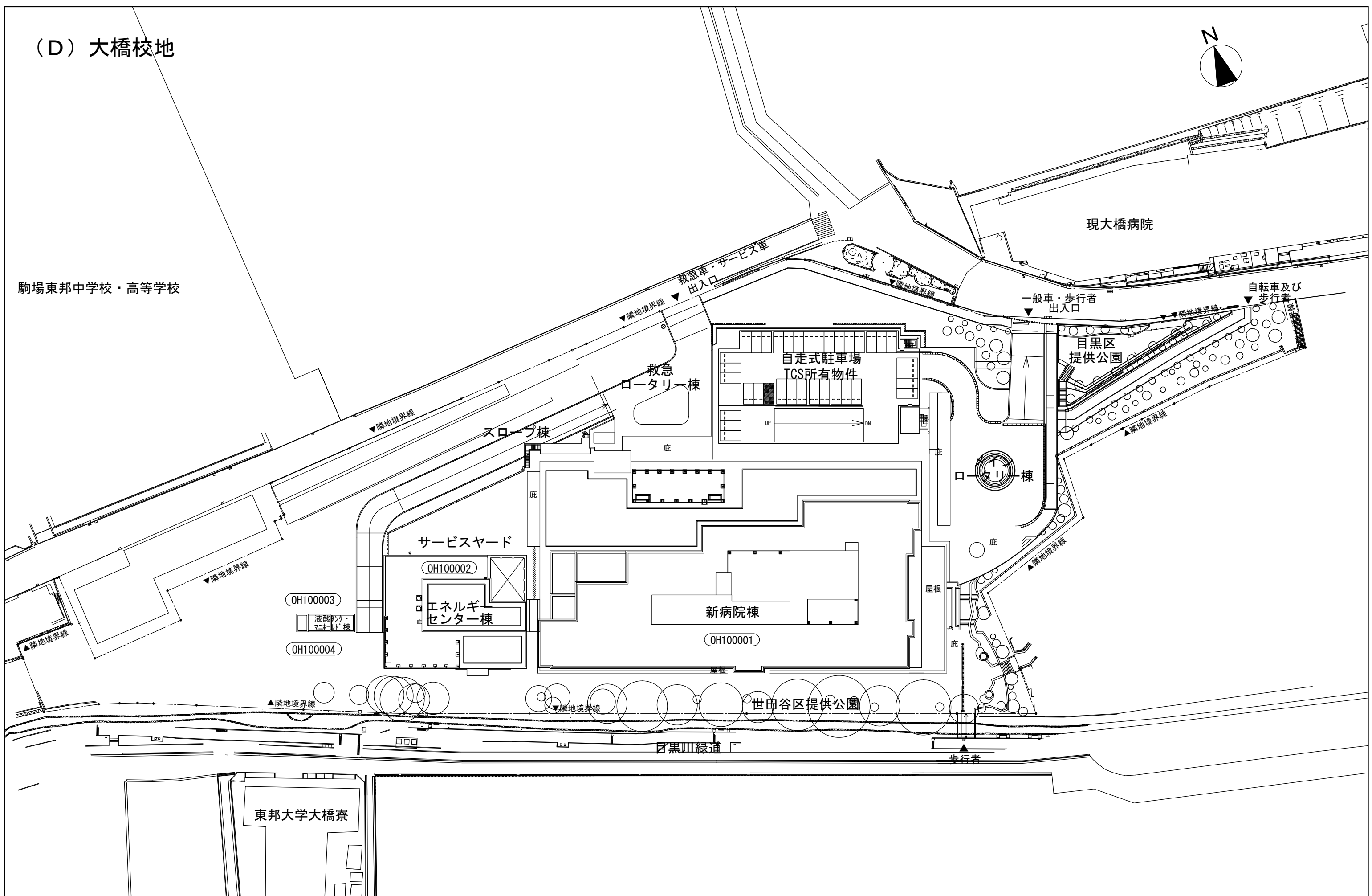
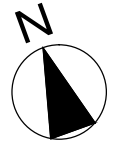
(C) 八千代校地 - 2



運動場敷地 12,170.00㎡

備考	図面名称 桑橋地区土地使用区分図		
	SCALE	1/1000	令和 元年 9月
-図面-6-		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

(D) 大橋校地



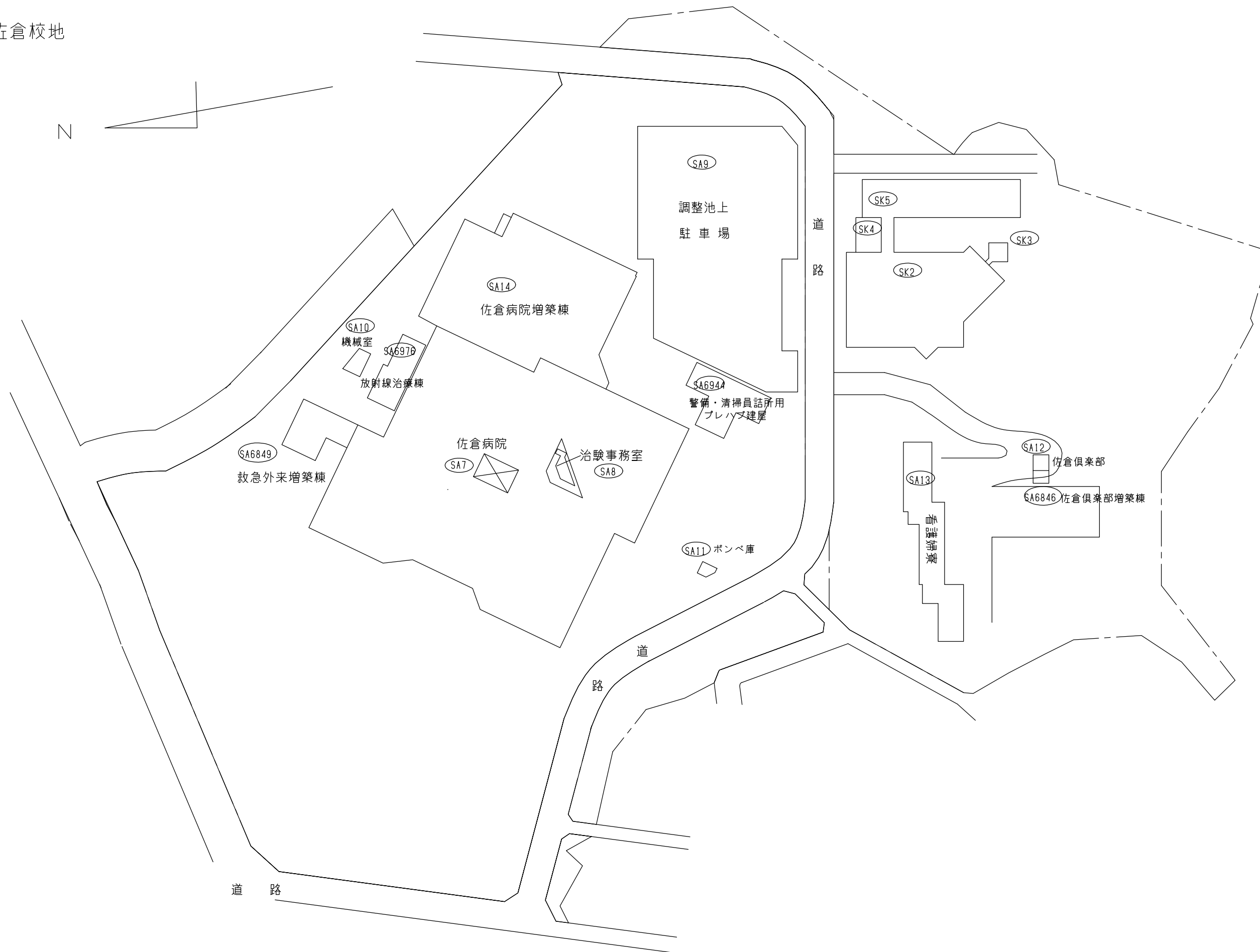
備考

図面名称 新大橋病院 建物配置図

SCALE 1/1600 令和 元年 9月

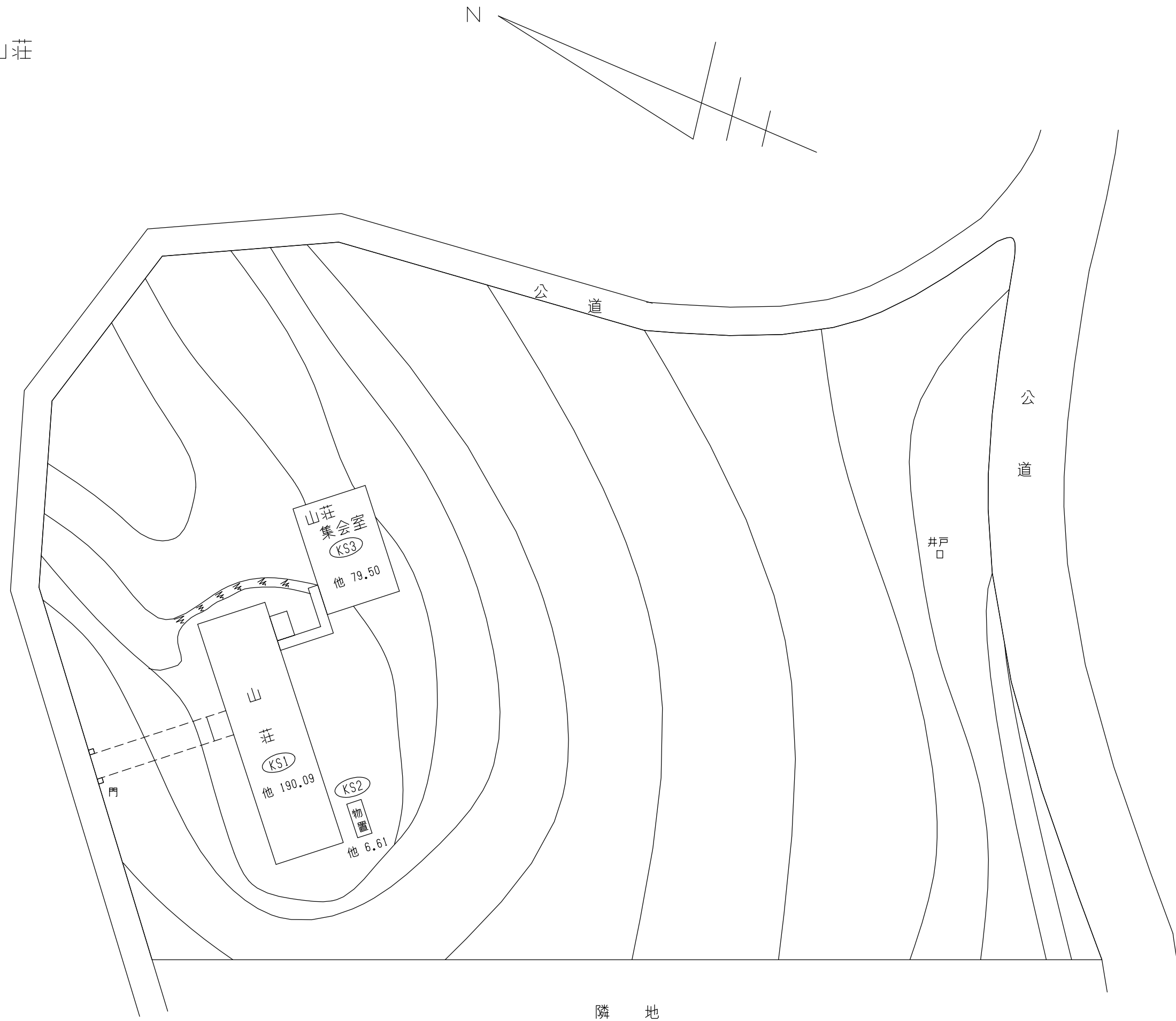
学校法人 東邦大学 法人本部施設部

(E) 佐倉校地

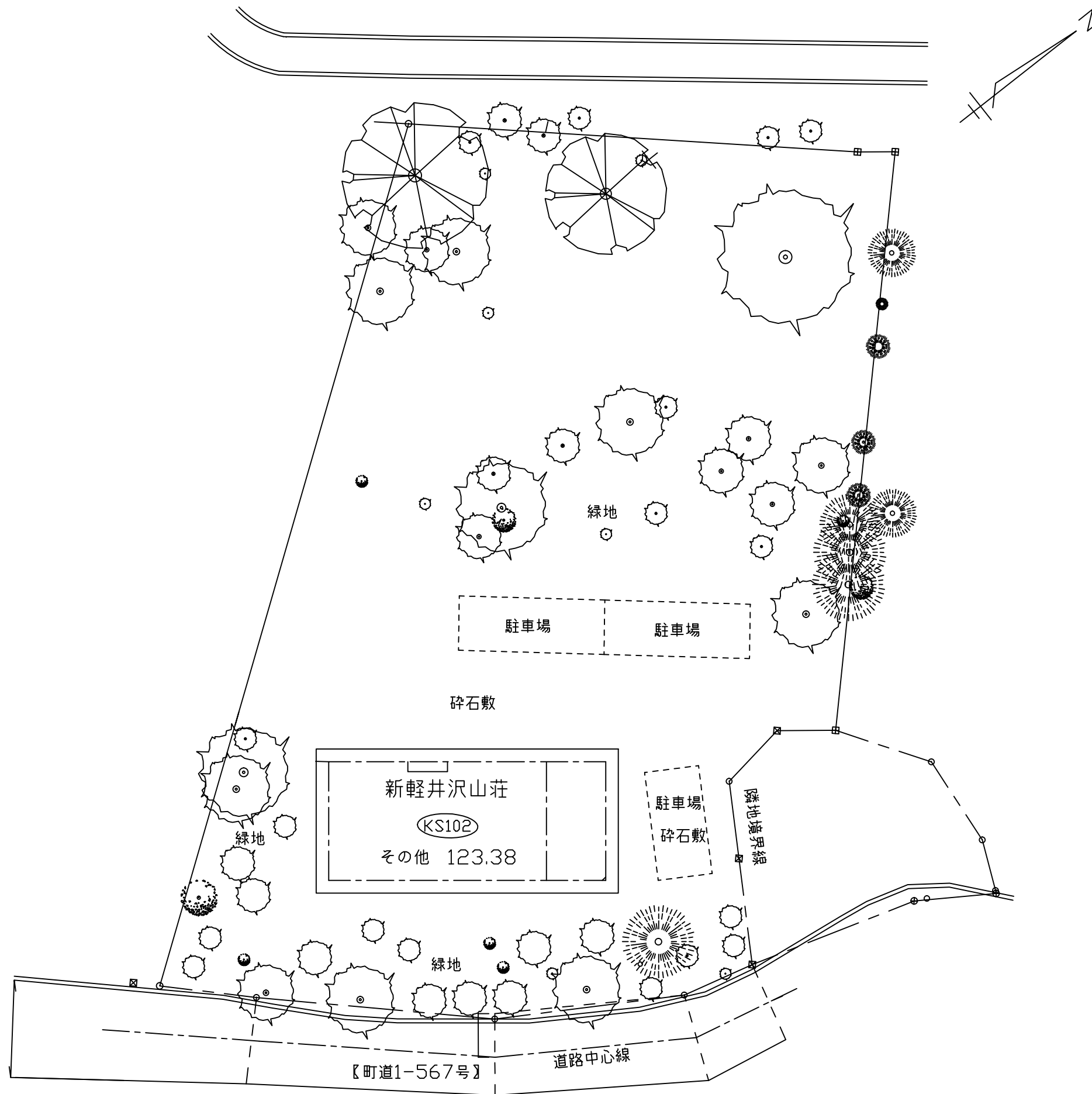


備考	図面名称 佐倉地区建物配置図		
	SCALE	1/1200	令和 元年 9月
-図面-8-		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

(F) 軽井沢山荘



備考	図面名称 軽井沢山荘建物配置図		
	SCALE	1/400	令和 元年 9月
-図面-9-		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	



備考 その他 123.38

図面名称 新軽井沢山荘 建物配置図

SCALE 1/200 令和 3年 3月

東邦大学学則（案）

第1章 総則

（目的及び使命）

第1条 東邦大学（以下「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与することを使命とする。

2 学部学科ごとの人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する規程は別にこれを定める。

（認証評価）

第3条 本学は、前条に規定する措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（学部及び学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

医学部	医学科		
薬学部	薬学科		
理学部	生物学科	化学科	生物分子科学科
	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
看護学部	看護学科		
健康科学部	看護学科		

（学生定員）

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

（学部・学科）	（入学定員）	（収容定員）
医学部		
医学科	110	660
（計）	（110）	（660）
薬学部		
薬学科	220	1,320
（計）	（220）	（1,320）
理学部		
生物学科	80	320

化学科	80	320
生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280
情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)
看護学部		
看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)
健康科学部		
看護学科	60	240
(計)	(60)	(240)
(総計)	(962)	(4,508)

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は別にこれを定める。

第2章 職員組織

(学長)

第7条 本学に学長を置く。

2 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 学長が不在または欠けたときは学長代行者を置き、新しく学長が就任するまでの間、学長代行者が学長の職務を行う。

(副学長)

第8条 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

(学部長)

第9条 本学の学部に学部長を置く。

2 学部長は、学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり所属職員を統率し教育及び研究の責に任ずる。

(教職員)

第10条 本学に学長統督のもとに教育及び研究のため教授、准教授、講師、助教、助手を置きその定員は別にこれを定める。ただし、助手は教育職員としない。

2 本学に事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

3 本学の職員を専任、兼担、兼任に区別しその勤務規程は別にこれを定める。

(大学協議会)

第11条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置き、大学全般にわたる学事の重要事項として、次の各号の一に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究に係る中長期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 学則その他の教育研究に係る重要な規程等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

2 大学協議会に関する規程は別にこれを定める。

(学長・学部長会議)

第12条 本学に学長・学部長会議を置き、各学部及び大学院各研究科間の調整を図るべく、次の各号の一に掲げる事項を企画、検討し、大学協議会に提言する。

- (1) 全学的な諸活動に係る計画、方針
- (2) 各学部及び大学院各研究科に共通する事項
- (3) その他学長が必要と認める事項

2 学長・学部長会議に関する規程は別にこれを定める。

(教授会の設置)

第13条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に所属する教授をもって組織する。但し、学部の定めるところにより、准教授、講師、助教を加えることができる。

3 教授会の規程は、別にこれを定める。

(教授会の審議事項)

第14条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これについて意見を述べる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別にこれを定める事項
- (4) その他、学則に定める事項

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長、学部長の求めに応じ、教育研究に関する事項について審議し、意見を述べることができる。

3 教授会は第1項及び第2項に規定する事項のほか、教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長へ意見を述べるができる。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第15条 本学の学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することができる。

(学期)

第16条 1学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更することができる。

(休業日)

第 17 条 休業日を次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日（6月10日）
- (4) 夏期、冬期及び春期休業日については別に定める

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第 4 章 入学、転入学、編入学、転学部・転学科及び再入学

(入学)

第 18 条 本学の入学は学年の始めとする。ただし、学長が教育上有益と認めるときは、第 16 条の秋学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(出願手続)

第 20 条 入学志願者は入学志願票に所定の入学検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者選考)

第 21 条 前条の入学志願者については、別にこれを定めるところにより選考する。

(入学手続・入学許可)

第 22 条 選考の結果、合格の通知を受けた者は保証人を定め所定の在学誓書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 23 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。なお、その身分及び住所に変更があったとき、あるいは保証人を変更したいときは速やかに届け出なければならない。

(転入学)

第 24 条 他の大学に在学している者が現に在学する大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は別にこれを定める。

(編入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て相当年次に入学を許可することがある。ただし、編入学定員を定めている場合は、審査を経て相当年次に入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 法令により編入学を認められた者
- (5) その他前各号と同等以上の学力があると認められた者

2 編入学に関する規程は別にこれを定める。

(転学部・転学科)

第 26 条 本学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、審査を経て許可することがある。

2 転学部、転学科に関する規程は別にこれを定める。

(再入学)

第 27 条 退学者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。その規程は別にこれを定める。

第 5 章 休学及び退学

(休学)

第 28 条 病気その他止むを得ない事由で引き続き 2 カ月以上授業に出席することができない者は、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる者に対しては、学長は学校医又は専門家及び教授会の意見を参酌し、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 29 条 休学できる期間は、第 15 条に規定する学年末までとする。ただし、正当な事由と認められた時は、当初の休学期間を含めて 2 年間を上限とし、期間延長を許可することがある。

2 通算して休学できる期間は、医学部及び薬学部においては 3 年間、理学部、看護学部及び健康科学部においては 2 年間とする。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者の休学の扱いについては別にこれを定める。

4 休学期間は第 34 条各項に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第 30 条 休学者は、休学事由が消滅した場合、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、復学することができる。

(任意退学)

第 31 条 任意に退学しようとする者は、保証人連署で届け出て学長の許可を受けなければならない。

(措置退学)

第 32 条 次の各号の一に該当する者に対しては退学の措置をとるものとする。

- (1) 在学年限を越えた者
- (2) 休学期間を超えて復学できない者
- (3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者
- (4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者
- (5) 死亡した者

2 措置退学の日付は、次に掲げるとおりとする。

(1) 在学年限を超えた者	在学年限の最終日
(2) 休学期間を超えて復学できない者	休学期間の終了日
(3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者	学費を完納している期の最終日
(4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者	教授会の議を経て学長が決定する日
(5) 死亡した者	死亡日

(懲戒退学)

第 33 条 次の各号の一に該当する者に対しては懲戒による退学を命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第34条 医学部及び薬学部の修業年限は6年とし、12年まで在学することができる。ただし、同一学年に在学できる年数は原則として2年を限度とする。

2 理学部、看護学部及び健康科学部の修業年限は4年とし、8年まで在学することができる。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者については別にこれを定める。

第7章 教育課程

(授業科目及び単位数)

第35条 授業科目及び単位数は、別表第2のとおり定める。

(単位の基準)

第36条 各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第37条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第38条 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

(成績の評価)

第39条 成績は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

2 前項の規定にかかわらず、段階評価に適さない授業科目に係る考査の成績は、合格又は不合格とすることができる。

(単位の授与)

第40条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験の上単位を与えるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

(成績評価基準等の明示等)

第41条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(他学部及び他学科、又は他大学等による指導)

第42条 教育上有益と認めるときは、他学部及び他学科、又は他大学等との協議に基づき、学生に当該他学部等において科目履修に必要な指導を受けさせることができる。

(他の大学等における履修)

第43条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業を履修させることができる。

2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別にこれを定める学修を、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により修得した授業科目の単位数及び前項の規定により与える単位については、合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(入学前の既修得単位等認定)

第44条 本学に入学する前に他の大学又は短期大学で修得した単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したのものとして認定することができる。

2 本学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修を教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により認定した単位及び第2項の規定により与える単位については、再入学、転入学、編入学等の場合を除き、前条により認定した単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(教育職員の免許状)

第 45 条 本学に教員養成課程を置く。

- 2 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 3 教員養成課程に関する専門科目及び単位数は別表第 3 のとおり定める。
- 4 本学において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
理学部	生 物 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	化 学 科		
	生物分子科学科	高等学校教諭一種免許状	理 科
	物 理 学 科		
	生命圏環境科学科		
情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	情 報	

第 8 章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 46 条 進級に関する規程は、別にこれを定める。

(卒業)

第 47 条 第 34 条に定める修業年限以上在学し、別表第 2 のとおり定める所定の単位数を修得した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 前項に加え、医学部では卒業試験に合格した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 3 第 1 項の規定にかかわらず、理学部では卒業単位を優秀な成績で修得したと認めるときは、3年以上在学すれば足りるものとする。

(学位の授与)

第 48 条 卒業を認めた者には、学長が学士の学位を授与する。

- 2 付記する専攻分野の名称は、それぞれ次のとおりとする。

医学部医学科	学士 (医学)
薬学部薬学科	学士 (薬学)
理学部各学科	学士 (理学)
看護学部看護学科	学士 (看護学)
健康科学部看護学科	学士 (看護学)

第9章 入学金、授業料等の学費及び徴収

(学費等)

第49条 本学の入学金、授業料及びその他の学費は、別表第4のとおり定める。

2 学生の実験及び実習に要する経費を定めて別に徴収することがある。

3 授業料及びその他の学費の納入については別にこれを定める。

(学費等の取扱)

第50条 在学中授業料及びその他の学費について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入するものとする。

2 一旦納入した授業料及びその他の学費は、原則として返還しない。

第10章 委託生、科目等履修生、特別聴講生、聴講生及び留学生

(委託生)

第51条 学長は公共団体又はその他の機関より本学に特定の学科目について修学を委託された場合は、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生に関する細則は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第52条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち一又は複数の授業科目の単位を修得することを希望する者がいるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する細則は、別にこれを定める。

(特別聴講生)

第53条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、他の大学との協議に基づき、当該他大学の学生が授業科目の単位を修得することを希望する場合は、特別聴講生として許可することができる。

(聴講生)

第54条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について聴講を希望する者がいるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する細則は、別にこれを定める。

(留学生)

第55条 学長は日本国籍をもたない者で、修学する目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、留学生として入学を許可することがある。

2 留学生は、本学則を準用する。

第11章 附属施設

(メディアセンター)

第56条 本学にメディアセンターを置き、その規程は別にこれを定める。

(附属病院)

第57条 本学医学部に教育及び臨床実習のために附属病院を置く。

2 医学部長のもとに付属病院長を置き、院務をつかさどらしめる。

(付属薬用植物園)

第 58 条 本学薬学部に付属薬用植物園を置き、その規程は別にこれを定める。

(その他教育研究施設)

第 59 条 その他、必要な教育研究施設を置くことができる。

第 12 章 厚生補導及び厚生保健施設

(厚生補導)

第 60 条 本学に、学生の福利厚生をはかり、かつ、学生生活を指導助育するため、学生部を置き、その規程は別にこれを定める。

(厚生保健施設)

第 61 条 本学に厚生保健施設を置き、その規程は別にこれを定める。

第 13 章 賞罰

(表彰)

第 62 条 人物及び学業の優秀な者を表彰することができる。

(懲戒)

第 63 条 本学の学則又はこれに基づいた諸規則に背き、あるいは学生の本分に反する行為をした者は学長の決定に基づき懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学、退学の 3 種とする。

3 懲戒に該当する事項については、別にこれを定める。

第 14 章 雑則

(改廃)

第 64 条 この学則の改正は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和50年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和51年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和52年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和53年4月1日から施行する。

(第19条は昭和52年度以前の入学生については従前の例による。)

この学則は、一部改正のうえ昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和55年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和57年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和58年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和59年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和60年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和61年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和62年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ昭和63年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和71年度までの間、理学部生物学科及び物理学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		昭和・年度								
		63	64	65	66	67	68	69	70	71
生物学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	340	360	380	400	400	400	400	400	400
物理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	280	320	360	400	400	400	400	400	400

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成元年4月1日から施行する。
- 2 第70条及び附則（昭和63年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成元年度から同8年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとし、同生物学科に係る期間を付した定員増加は、昭和63年度をもって停止する。

学科・定員		平成・年度							
		元	2	3	4	5	6	7	8
物理学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	300	320	340	320	320	320	320	320
生物分子科学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	80	160	240	320	320	320	320	320
情報科学科	入学定員	60	60	60	60	60	60	60	60
	総定員	60	120	180	240	240	240	240	240
理学部 総定員		1220	1340	1460	1520	1520	1520	1520	1520

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成2年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成3年7月1日から施行する。
- 2 期間を付した定員増加に係る附則中「総定員」とあるものを「収容定員」に読み替えるものとする。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成3年10月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成4年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成5年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成6年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年12月22日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成9年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成9年度から同11年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度		
		9	10	11
物理学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
生物分子科学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
情報科学科	入学定員	100	100	100
	収容定員	280	320	360
理学部収容定員		1,560	1,600	1,640

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成10年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成12年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成12年度から同18年度までの間、理学部物理学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度						
		12	13	14	15	16	17	18
物理学科	入学定員	78	76	74	72	70	70	70
	収容定員	318	314	308	300	292	286	282
理学部収容定員		1,678	1,674	1,668	1,660	1,652	1,646	1,642

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成12年9月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成13年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成13年9月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成14年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成15年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成16年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成18年4月1日から施行する。
 但し、薬学部平成17年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成19年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成20年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成21年4月1日から施行する。
 この学則は、一部改正のうえ平成22年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（看護学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成23年4月1日から施行する。
 但し、医学部看護学科の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。
- 2 医学部看護学科は、平成23年4月より学生募集を停止し、在学者が卒業次第、廃止する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成24年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成25年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成25年度から同28年度までの間、理学部生命圏環境科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度			
		25	26	27	28
生命圏環境科学科	入学定員	60	60	60	60
	収容定員	300	280	260	240
理学部収容定員		1,940	1,920	1,900	1,880

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成26年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改定に伴う改正を含む）のうえ平成27年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成26年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。

- 2 第47条の規定にかかわらず、平成27年度から同31年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度				
		27	28	29	30	31
医 学 部	入学定員	115	115	115	115	115
	収容定員	665	670	675	680	685

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部・薬学部の各年次の在学年限及び休学に関する取扱いの変更、医学部カリキュラムの改訂に伴う改正を含む）のうえ平成28年4月1日から施行する。

但し、平成27年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成29年4月1日から施行する。

但し、平成28年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 2 第96条の規定にかかわらず、平成29年度から同31年度までの間、健康科学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度		
		29	30	31
健康科学部	入学定員	60	60	60
	収容定員	60	120	180

附 則

- 1 この学則は、一部改正（大学協議会規程制定、薬学部授業料の改定及び理学部の授業科目の変更に伴う改正を含む）のうえ平成30年4月1日から施行する。

但し、平成29年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請並びに医学部卒業要件における文言修正に係る改正）のうえ令和2年4月1日から施行する。

- 2 第47条の規定にかかわらず、令和2年度から同8年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度						
		2	3	4	5	6	7	8
医学部	入学定員	115	115	110	110	110	110	110
	収容定員	690	690	685	680	675	670	665

附 則

- 1 この学則は、一部改正（理学部の入学金、授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

但し、理学部令和2年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。

- 2 この学則は、一部改正（理学部の授業科目の変更に伴う改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		4	5	6	7	8	9
医学部	入学定員	120	110	110	110	110	110
	収容定員	695	690	685	680	675	670

- 4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

別表 1 (第 1 条関係)

本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。

(1) 医学部

本医学部は医学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

人間愛と豊かな人間性を携え、社会に貢献できる「より良き臨床医」を育成、輩出する。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、教養、人間愛と人間性を涵養するとともに、高い専門性をもった課題探求・問題解決能力と、変化に対応できる生涯学習能力を育成することを目的とする。

研究に関しては、研究の高度化とともに重点化・拠点化を目指す。

(2) 薬学部

本薬学部は薬学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて一般教育科目を学ばしめることを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。

研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する。

(3) 理学部

本理学部は理学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて教養教育科目を学ばしめることを目的とする。

[人材の養成に関する目的・教育研究上の目的]

教育については、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てることを目的とする。科学人の基礎的な要件は次の点に要約される。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ。

専門分野における十分な基礎知識・技能と、関連する分野における概括的な知識・技能をもつ。

科学的な推論を行う能力、科学的な手法で実験・実証をする能力、問題の科学的な分析を試みる態度をもつ。

2. 主体的に学ぶ力をもつ。

問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力をもつ。

3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ。

チーム・仲間と協働して解決する力をもつ。

<p>コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力、協働して解決する態度、多様性を受け入れる態度をもつ。</p> <p>社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度をもつ。</p> <p>科学的倫理をわかまえていること、自然に対する畏敬の念・生命の尊重・人間としての謙虚な心をもつ。</p> <p>研究については、理学部を構成する各専門分野の立場から理学の理論と応用を研究し、科学者・技術者からの視点で社会の発展に貢献することを目指す。</p>
<p>生物学科：</p> <p>生物を通して自然・生命・人間を探究することにより、生物と環境の双方に適切な意見を有する科学人を育てる。広範な生物学の基礎科目を基盤とし、分子生物学や環境保全などを取り込んだ総合的な生物学の知識を身につけ、それを活用した課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>化学科：</p> <p>化学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、自然現象を化学の言葉で語ることができ、かつ持続性のある社会の構築に貢献する科学人を育てる。無機化学、分析化学、有機化学、物理化学を基礎的内容の柱とし、講義・演習・実験の効果的な連携によって化学の知識と技能を修得させ、それらを踏まえて、課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養することにより、化学に関わる多様な応用場面に対応できる科学人を育成する。</p>
<p>生物分子科学科：</p> <p>化学と生物学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、生命現象を化学の言葉で語ることができる研究者や技術者の育成を目指す。化学及び生物学の確かな基礎知識を身につけさせ、それを踏まえて課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>物理学科：</p> <p>物理学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然の仕組みを物理的思考から深く理解し、自然に対する畏敬の念をもち、科学及び社会の発展に貢献できる人材を育成する。物理学の基本的な知識と方法を十分に身につけ、それを踏まえて実践的な問題解決力、柔軟な思考力、科学者・技術者倫理、自然・生命・人間を守る態度、豊かな人間性、国際性、創造性、高いコミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>情報科学科：</p> <p>情報科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、常に人間の視点に立って社会貢献できる人材の育成を目指す。情報科学の基本的な理論と技術、ならびに現象を科学的、論理的、かつ数理的に分析・理解して問題を解決できる能力を身につけ、情報科学の多様な応用場面に対して対応できる技術者・科学者を育成する。</p>
<p>生命圏環境科学科：</p> <p>環境科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、環境問題の解決に取り組み、持続性のある社会の構築に貢献できる人材を育成する。自然科学の理解、人文・社会科学的視点の涵養、科学的思考力やコミュニケーション能力の向上を図り、その上で地球科学、環境生態学、環境化学、環境管理・創成科学についてより専門的な教育を行い、豊かな人間性をもって意欲的に活躍できる人材を育成する。</p>

(4) 看護学部

本看護学部は看護の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

長く受け継がれた看護教育の文化や歴史を継承するとともに、知的探究心を持った誠実で思いやりのある調和のとれた看護実践者の育成を図る。さらに、社会の構成員としてその使命を自覚し、自然、生命、人間に対して畏敬の念を持ち、人間の生命の尊厳と権利の尊重を基盤として、医療人としてすべての人々を公正に受容しうる自主の精神に充ちた心身ともに健康で感性豊かな人間性の育成を図り、国際的な感覚を身につけ、地球規模で思考し、保健・医療の発展に貢献できる人材を育成する。

[教育研究上の目的]

深い人間愛を持ち、創造的、全人的見方のできる看護職に必要な品性・知性・感性を養う多様な看護教育及び人間教育を提供すると共に看護学の発展に貢献するため、科学的な研究態度を有し、新たな知的財産の獲得を常に目指した実践と研究を推進する。

(5) 健康科学部

本健康科学部は健康に関する科学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性及び問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。

研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする。

別表 2 (第35条関係)

(1) 医学部医学科 開設科目単位並びに授業時限表

令和4年度以降の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5					
			倫理学						
		社会学							
		心理学Ⅱ							
		法学							
	選択人文・社会学	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1		
			選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾				1		
			選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1		
	選択芸術	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾				1		
			選択芸術Ⅱ ¹⁾				1		
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾				1		
			医学教養Ⅱ ¹⁾				1		
			医学教養Ⅲ ¹⁾					1	
医学教養Ⅳ ¹⁾							1		
医学教養Ⅴ ¹⁾							1		
医学教養Ⅵ ¹⁾						1			
医学教養Ⅶ ¹⁾						1			
選択短期集中講座	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾				1			
		実用医療英語 ¹⁾					1		
		チーム医療演習 ¹⁾					1		
選択地域医療	選択地域医療	データサイエンス実践入門 ¹⁾					2		
		地域医療学Ⅰ ¹⁾					1		
		地域医療学Ⅱ ¹⁾					1		
		地域医療学Ⅲ ¹⁾					1		
外国語科目	英語1	英語1-①	4						
		英語1-②							医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2					
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2					
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1					
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			Listening Skills ¹⁾				1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾					1			
	Writing ¹⁾					1			
	選択英語単位認定科目	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾				1		
英語検定 ¹⁾						1			
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2			
		フランス語Ⅱ ¹⁾				1			
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2			
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1			
		中国語Ⅰ ¹⁾				2			
		中国語Ⅱ ¹⁾				1			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3							
		医用理工学1-②								
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I							
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I							
			生体物質の科学③		代謝生化学 II 遺伝生化学 II					
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾				1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う	
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
			生体の構造1-②		運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
					生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系				
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV					2.5			²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2							
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾					1		
選択生物Ⅰ ¹⁾						1				
選択生物Ⅱ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1				
選択物理 ¹⁾						1				
選択数学Ⅰ ¹⁾						1				
選択数学Ⅱ ¹⁾				1						
臨床医学科目	臨床医学入門	臨床検査・ 生理機能検査演習		1						
		医学総論	内科総論 外科総論		2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
		リハビリテーション医学														
		臨床栄養学														
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2					
臨床実習	臨床実習1 臨床実習2 臨床実習3	基本臨床実習			21					
		必修診療参加型臨床実習			40					
		選択診療参加型臨床実習 ⁶⁾			8				⁶⁾ 選択必修科目	
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
		社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計			80.5	40.5	87	34	12	0	
合 計			208			46			
卒業時必要総単位数			217						

別表2（第35条関係）

(1) 医学部医学科 開設科目単位並びに授業時限表

平成31年度から令和3年度の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教養 教育 科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学 社会学							
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾							
	選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1					
	選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾			1						
	選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾			1						
	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾			1					
		選択芸術Ⅱ ¹⁾			1					
医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾			1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得		
		医学教養Ⅱ ¹⁾			1					
		医学教養Ⅲ ¹⁾				1				
		医学教養Ⅳ ¹⁾				1				
		医学教養Ⅴ ¹⁾				1				
		医学教養Ⅵ ¹⁾			1					
		医学教養Ⅶ ¹⁾			1					
選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾				1					
	実用医療英語 ¹⁾					1				
	チーム医療演習 ¹⁾					1				
外国語 科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②								医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			Listening Skills ¹⁾				1			
	Cross Cultural Communication ¹⁾					1				
	Writing ¹⁾					1				
	選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾				1				
	英語検定 ¹⁾				1					
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2				
		フランス語Ⅱ ¹⁾				1				
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2				
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1				
		中国語Ⅰ ¹⁾				2				
		中国語Ⅱ ¹⁾				1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3							
		医用理工学1-②								
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I							
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I							
			生体物質の科学③		代謝生化学 II 遺伝生化学 II					
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾				1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う	
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
			生体の構造1-②		運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
					生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系				
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV					2.5			²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2							
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾					1		
選択生物Ⅰ ¹⁾						1				
選択生物Ⅱ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1				
選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1				
選択物理 ¹⁾						1				
選択数学Ⅰ ¹⁾						1				
選択数学Ⅱ ¹⁾				1						
臨床医学科目	臨床医学入門	臨床検査・ 生理機能検査演習		1						
		医学総論	内科総論 外科総論		2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学														
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
		泌尿器科学														
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
		整形外科学														
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
			リハビリテーション医学													
			臨床栄養学													
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床 医 学 科 目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
			必修診療参加型臨床実習			40				
Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾							1		⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与	
臨床実習3	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8			⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須		
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
		社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小計			80.5	40.5	87	34	8	0	
合計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

平成28年度から平成30年度の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考			
			講義	演習	実習	講義	演習	実習				
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学① 心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5									
		人文・社会学② 心理学Ⅱ 法学										
	人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1 1 1 1				¹⁾ 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得		
		選択芸術 選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾				1 1						
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾ 医学教養Ⅱ ¹⁾ 医学教養Ⅲ ¹⁾ 医学教養Ⅳ ¹⁾ 医学教養Ⅴ ¹⁾ 医学教養Ⅵ ¹⁾ 医学教養Ⅶ ¹⁾ 医学教養Ⅷ ¹⁾				1 1 1 1 1 1 1	1 1 1				
			選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾ 実用医療英語 ¹⁾ チーム医療演習 ¹⁾				1 1 1	1 1 1			
				英語1	英語1-① 英語1-②	英語総合 医学英語入門	4					
				英語2	英語2	基礎医学英語	2					
			英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
			英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
外国語科目	英語	英会話 ¹⁾ Listening Skills ¹⁾ Cross Cultural Communication ¹⁾ Writing ¹⁾				1 1 1 1			¹⁾ 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得			
		選択英語コミュニケーション 選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾				1 1					
基礎医学統合科目	医用工学1	医用工学1-① 数情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3									
		医用工学1-② 数情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ										
		医用工学1実習	医用工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備・ 基礎 医学 統 合 科 目	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1					
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4					
			生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ						
		生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ						
			生体物質の科学③						
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1				³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	4					
			組織学総論						
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系						
			生体の構造1-③						
	生体の構造1実習	生体の構造1実習Ⅰ ²⁾ 生体の構造1実習Ⅱ 生体の構造1実習Ⅲ 生体の構造1実習Ⅳ			2.5				²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2					
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5			
	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理	4					
			神経筋						
		生体の機能1-②	血液・リンパ 呼吸・循環						
			生体の機能1-③						
生体の機能1実習	生体の機能1実習			1					
生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2						
病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7						
		病態の科学②							病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学
	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学準備・基礎医学統合科目	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾					1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅰ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅱ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択物理 ¹⁾						1	
			選択数学Ⅰ ¹⁾						1	
選択数学Ⅱ ¹⁾						1				
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習			1				
			医学総論	内科総論 外科総論	2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
			腎臓・電解質系							
			感染症学							
	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8					
			脳・神経系	内科 外科						
		臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学							
			膠原病・アレルギー病学							
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科	6					
			臨床医学3-②	臨床遺伝学						
		産科婦人科学		産科 婦人科						
泌尿器科学										
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
		耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科							
		皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科							
		整形外科学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床 医 学 科 目	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	3					
			診断 治療						
			中毒・救急医学						
	臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学	2					
			心身医学						
			精神神経医学						
	臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	4					
			高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療						
			医療安全						
			リハビリテーション医学						
			臨床栄養学						
	移植・再生医療								
	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3			
			臨床検査・ 生理機能検査実習						
シミュレーション実習									
臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾					1	⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与	
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8			⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須	
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	4						
		公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学							
	社会医学1-②	法医学							
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1			
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小 計			82.5	38.5	87	34	8		
合 計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(1) 医学 教育 準備 科目	健康心理学	28						
	英語総合・英語総合基礎	56						
	基礎物理学	21						2科目から1科目選択必修
	基礎生物学	21						
	基礎化学	14						
	生体無機化学	14						
	生体有機化学	14						
	化学実習	30						
	物理学	21						
	物理学実習	30						
	人体生物学	21						
	細胞生物学	21						
	細胞生物学実習	30						
	医学情報学	28						
	数学	14						
	運動科学	14						
	PBLテュートリアル I	19						
(2) 基礎 医学 科目	組織学総論	30						
	細胞生理学	12						
	血液・リンパ系	10						
	内分泌系		18					
	呼吸・循環器系		24					
	消化器系		13					
	腎・泌尿生殖器系		14					
	運動器（骨格）系	20						
	末梢神経・筋系		17					
	中枢神経構造・感覚器系		17					
	中枢神経機能系		24					
	マクロ形態実習		102					
	ミクロ形態実習		45					
	生理機能(生理)実習		39					
	人体発生学		19					
	生化学基礎編	60						
	生化学応用編		28					
	医動物学		10					
	微生物学		80					
	免疫学		40					
	薬理学総論		38					
薬理学各論					※16			
病理学総論		58						
病理学各論 I				※51				
病理学各論 II					※24			
放射線医学（基礎編）		24						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(2) 基礎 医学 科目	東洋医学（基礎編）		8					
	基礎医学英語		22					
	検査医学演習（基礎編）		34					
	先端医科学演習		44					
	PBLテュートリアルⅡ		30					
(3) 臨床 医学 科目	臨床医学入門*†			46				
	臨床医学英語Ⅰ			28				
	臨床医学英語Ⅱ				16			
	臨床推論演習			22				
	外科学総論*			7				
	臨床遺伝学			9				
	呼吸器・乳腺*†			63				
	循環器系*†			81				
	腎臓学・電解質*			43				
	脳・神経系*†			63				
	代謝・内分泌学*†			48				
	消化器系*			72				
	膠原病・アレルギー学†			29				
	感染症学*			15				
	血液学			21				
	腫瘍学			14				
	加齢・高齢医学			9				
	眼科学			18				
	耳鼻咽喉科学			18				
	皮膚科学			18				
	産科婦人科学*					70		
	小児科学*†					69		
	整形外科学†					47		
	精神科学†					40		
	心身医学*					20		
	行動科学					18		
	形成外科学					6		
	泌尿器科学					26		
	救急医学					15		
	麻酔科学					18		
	輸血学					10		
	放射線医学（臨床編）					18		
	東洋医学（臨床編）					8		
	検査医学演習（臨床編）					14		
	栄養学				※14	※4		
リハビリテーション医学				※8	※5			
（*含栄養学）								
（†含リハビリテーション医学）								
診断学実習					49			

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(3) 臨床 医学 科目	症候・病態学演習 PBLテュートリアルⅢ PBLテュートリアルⅣ 総合臨床講義 臨床実習入門 臨床実習 集中臨床講義 選択制臨床実習			※63	12 ※63	36 20 990	42 240	
(4) 社会 医学 科目	E B M入門 衛生学 公衆衛生学 法医学 統合型社会医学実習 (衛生学、公衆衛生学、法医学)				16 20 23 21 34			
(5) 医療 人 教育 科目	全人的医療人教育Ⅰ 全人的医療人教育Ⅱ 全人的医療人教育Ⅲ 全人的医療人教育Ⅳ 全人的医療人教育Ⅴ(C B M)	66	16	11	22	28		
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※「病理学各論Ⅰ」「病理学各論Ⅱ」「薬理学各論」

「栄養学」「リハビリテーション医学」は、統合科目として実施する。

※「PBLテュートリアルⅢ」「PBLテュートリアルⅣ」は、各ユニットに含まれる。

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	①人文科学							
	倫理学	1						
	哲学	1						
	宗教学	1						
	言語学	1						
	②社会科学							
	法学1	1						
	法学2	1						
	経済学	1						
	社会学	1						
	行動分析学入門	1						
	③芸術・健康科学							
	音楽	1						
	美術	1						
	スポーツ科学演習	2						
	ロジカルライティング入門	1						
	教材作成から学ぶ	1						
	④自然・環境科学							
	選択基礎化学	1						
	線形数学入門	1						
	かたちの科学入門	1						
	微分積分学入門	1						
	地球環境科学	1						
	特殊環境の生命を探る	1						
	バイオインフォマティクス入門	1						
	生体関連分子特論	1						
	演習生体有機化学	1						
	応用物理学	1						
	細胞の生物学	1						
	選択基礎物理学	1						
	⑤医療教養学							
	医療人のための日本語表現	1						
	男女共同参画と医療	1						
	役立つ最新の心理療法	1						
	医学生の学術情報活用演習	1						
	⑥基礎医科学							
	基礎免疫学	1						
	からだの化学的調節と循環器疾患	1						
	法医学入門	1						
	感染症の最前線	1						
	分子神経科学	1						
	呼吸を科学する	1						
航空宇宙医学	1							
人体構造学演習	1							

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
	行動神経解剖学 (心理解剖学)	1					
	NEJM Case Recordsを読む	1					
	臨床微生物学・感染症学の基礎と応用	1					
	⑦臨床医科学						
	東洋医学概論	1					
	身体・心理・社会・医療モデル1	1					
	身体・心理・社会・医療モデル2	1					
	医療の変遷と潮流	1					
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅰ	1					
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅱ	1					
	英国疫学の歴史に学ぶEBM看護の機能と役割	1					
	看護の機能と役割	1					
	赤ちゃんを巡るところとからだ	1					
	⑧基礎語学						
	選択英語1	2					
	選択基礎2	2					
	CMESⅠ※	1					
	CMESⅡ※	1					
	CMESⅢ※	1					
	フランス語基礎	2					
	フランス語初級	2					
	MSFを読む1	1					
	MSFを読む2	1					
	ドイツ語基礎	2					
	ドイツ語初級	2					
	中国語基礎1	2					
	中国語基礎2	2					
	⑨言語コミュニケーション学						
	英会話初級1	2					
	英会話初級2	2					
	英会話中級1	2					
	英会話中級2	2					
	英会話上級1	2					
	英会話上級2	2					
	E L 1-Listening	1					
	E L 2-Reading	1					
	E L 3-Reading	1					
	ニュースのME1	2					
	ニュースのME2	2					
	ME医学英語1	2					
	ME医学英語2	2					
	Writing	2					
	C S A	1					
	オックスフォード・イングリッシュ・プログラム	2-3					
	Medical English Vocabulary	2					

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	Speech Shadowing	2						
	Presentation	2						
	⑩語学検定							
	独語検定 1	1						
	独語検定 2	1						
	英語検定 (TOEFLコース)	2						
	⑪テュートリアル							
	インターネットテュートリアル	1						
	学生テュータ養成講座 I	1						
	学生テュータ養成講座 II	1						
	⑫多職種連携							
	チーム医療演習	1						
	実用医療英語	1						
	計 (単位数)	116						
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※ 「CMES I」「CMES II」「CMES III」は英語成績不良者の必修補講科目である。

※ 選択科目は第 4 年次までに18単位以上取得。

*計：授業時間数（1時限は70分）を示す。選択科目は単位数を示す。

別表 2 (第35条関係)

(2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成21年度から平成26年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位		選択単位		備 考
		講義	実習実技	講義	実習実技	
教 養 教 育 科 目	法学	1				選択必修単位(4単位履修する)
	倫理哲学	1				
	心理学	1				
	保健環境論	1				
	現代日本史			1		
	国際関係論			1		
	自己表現論			1		
	民俗学			1		
	経済学			1		
	文章表現論			1		
	薬史学			1		
スポーツ科学			1			
外 国 語 科 目	英語Ⅰ	2				
	英語Ⅱ	2				
	英語Ⅲ	2				
	英語Ⅳ			2		
	英語Ⅴ			2		
	ドイツ語Ⅰ			2		
	ドイツ語Ⅱ			2		
	フランス語Ⅰ			2		
	フランス語Ⅱ			2		
	中国語Ⅰ			2		
中国語Ⅱ			2			
育 保 科 健 目 体	体育実技Ⅰ				1	
	体育実技Ⅱ				0.5	
小 計		10		24	1.5	
合 計		10		25.5		

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

薬学部基礎教育科目、専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
基 礎 教 育 科 目	基礎物理	1						
	薬学応用物理学Ⅰ	1						
	薬学応用物理学Ⅱ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	薬学への招待	1						
	コンピュータ入門		1					
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期体験学習			0.5				
	基礎生物実習Ⅰ			0.5				
基礎生物実習Ⅱ			0.5					
初等物理学演習					1		自由科目	
初等化学演習					0.5		自由科目	
初等数学演習					0.5		自由科目	
専 門 教 育 科 目	物 理 系 薬 学 を 学 ぶ	構造化学Ⅰ	1					
		構造化学Ⅱ	1					
		物理化学Ⅰ	1					
		物理化学Ⅱ	1					
		分析化学Ⅰ	1					
		分析化学Ⅱ	1					
		分析化学Ⅲ	1					
		生体分子解析法Ⅰ	1					
		物理系実習Ⅰ			1.5			
		物理系実習Ⅱ			1			
	生体分子解析法Ⅱ				1			
	薬学応用物理学Ⅲ				1			
	化 学 系 薬 学 を 学 ぶ	薬化学Ⅰ	1					
薬化学Ⅱ		1						
有機化学Ⅰ		1						
有機化学Ⅱ		1						
有機化学Ⅲ		1						
有機構造解析		1						
医薬品合成化学Ⅰ		1						
医薬品合成化学Ⅱ		1						
生物有機化学		1						
医薬品化学		1						
生薬学	1							

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	化 学 系 薬 学 を 学 ぶ	天然物化学	1					
		漢方薬物学	1					
		化学系実習 I			1.5			
		化学系実習 II			1			
		総合化学				1		
		化粧品学				1		
	生 物 系 薬 学 を 学 ぶ	細胞生物学	1					
		人体生理学 I	1					
		人体生理学 II	1					
		微生物学	1					
		生化学 I	1					
		生化学 II	1					
		生化学 III	1					
		生化学 IV	1					
		分子生物学 I	1					
		分子生物学 II	1					
		免疫 I	1					
		免疫 II	1					
		病原微生物学	1					
		生命科学 I	1					
	微生物実習			1				
	生物系実習 I			1				
	生物系実習 II			1				
	生命科学 II				1			
	健 康 と 環 境	健康 I	1					
		健康 II	1					
		環境 I	1					
		環境 II	1					
		環境 III	1					
		衛生薬学実習			1			
		健康 III				1		
		環境 IV				1		
	薬 と 疾 病	薬理学 I	1					
薬理学 II		1						
薬理学 III		1						
薬理学 IV		1						
薬理学 V		1						
薬物動態学 I		1						
薬物動態学 II		1						
薬物動態学 III		1						
病態検査学 I		1						
病態生化学		1						
化学療法学		1						
ウイルス学		1						
腫瘍学		1						
疾患と薬物治療 I	1							

授 業 科 目			必修単位			選択単位			備 考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	薬 と 疾 病	疾患と薬物治療Ⅱ	1						
		疾患と薬物治療Ⅲ	1						
		疾患と薬物治療Ⅳ	1						
		疾患と薬物治療Ⅴ	1						
		疾患と薬物治療Ⅵ	1						
		疾患と薬物治療Ⅶ	1						
		医療情報Ⅰ	1						
		医療情報Ⅱ	1						
		医薬品安全性学	1						
		薬理学実習			1.5				
		薬物動態学実習			1				
		病態検査学Ⅱ				1			
		薬理学Ⅵ				1			
		高齢者医療				1			
	疾患と薬物治療Ⅷ				1				
	医 薬 品 を つ く る	製剤学Ⅰ	1						
		製剤学Ⅱ	1						
		製剤学Ⅲ	1						
		医薬品開発Ⅰ	1						
構造活性相関		1							
治験		0.5							
医療統計		1							
製剤学実習				1					
医療統計演習			0.5						
分子生物学Ⅲ					1				
総合薬剤学				1					
専 門 教 育 科 目	薬 学 と 社 会	薬事関係法規Ⅰ	2						
		薬剤経済	1						
		薬局概論	0.5						
		放射薬品学				1			
		一般用医薬品				1			
		薬事関係法規Ⅱ				1			
		放射薬品学実習						0.5	
	薬 局 病 院 薬 剤 ・ 師	プレ実務実習Ⅰ			1.5				
		プレ実務実習Ⅱ			4.5				
		病院実習			20			病院実習・薬局実習 合計で20単位	
		薬局実習							
	問 題 解 決 能 力 の 醸 成	卒業研究			15				
		薬学演習Ⅰ		1					
薬学演習Ⅱ			2						
薬学総合演習Ⅰ			1						
薬学総合演習Ⅱ			2						
薬物治療演習			1						
処方せん解析Ⅰ		1							
処方せん解析Ⅱ		1							
薬学総合講義Ⅵ	1								

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	薬 学 ア ド バ ン ス ト 教 育	薬学総合講義Ⅰ				1		選択必修科目 (2単位履修する)	
		薬学総合講義Ⅱ				1			
		薬学総合講義Ⅲ					1		
		薬学総合講義Ⅳ					1		
		薬学総合講義Ⅴ					1		
		臨床薬学総論Ⅰ					1		
		臨床薬学総論Ⅱ					1		
		臨床生理学					1		
		薬剤師のためのやさしい英会話					1		
		実用薬学英語					1		
		医用工学概論					1		
		植物療法学					1		
		臨床漢方治療学					1		
		看護学					1		
		臨床心理学					1		
		コミュニケーション							0.5
		臨床栄養学					0.5		
		人体解剖学					0.5		
		地域医療Ⅰ					0.5		
		地域医療Ⅱ					0.5		
		医薬品開発Ⅱ					0.5		
		医薬品開発Ⅲ					0.5		
		臨床医学総論Ⅰ					1		
		臨床医学総論Ⅱ					1		
		形態機能学総論					1		
		薬局管理学					1		
		環境学総論Ⅰ					1		
		環境学総論Ⅱ					1		
		実用医療英語						1	
チーム医療演習						1			
症候学					0.5				
海外実務実習							2		
臨床検査実習							4.5	自由科目	
小 計		84	11.5	55	40.5	4.5	7		
合 計		150.5			52				

注 自由科目の選択単位は卒業所要単位に含まない。

※平成21年度から平成26年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目166.5単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成27年度から平成28年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
	小 計	20	2.5	0.5	20	0.5	2	
	合 計	23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
生薬学実習			1					

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学VI	1						
	薬物治療学VII	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報 I	1						
	医療情報 II	1						
	医療情報 III	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学VI				1				
薬学臨床	1	1						
	プレ実務実習 I (調剤)			1				
	プレ実務実習 I (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習 II (実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習 II (医療情報)			1				
プレ実務実習 II (総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習 I		1					
	薬学演習 II		2					
	薬学総合演習 I		2					
	薬学総合演習 II		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究 I			8				
	薬学総合講義 I				1		*2	
	薬学総合講義 II				1		*2	
	卒業研究 II a					4	*2	
卒業研究 II b					2	*2		
薬学アドバンス	高齢者医療 I	0.5						
	臨床医学総論 I	1						
	臨床医学総論 II	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待 I	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発 I				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学 アド バン スト	医薬銀開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2	8.5	
合計		145			34			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成27年度から平成28年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成29年度から平成30年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
人間と生命				1				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎（物理）	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学基礎（化学）	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
卒業研究Ⅱb						2	*2	
薬学アドバンス	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
社会への招待Ⅱc				0.5			*4	
社会への招待Ⅱd				0.5			*4	
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	24.5	2	8.5	
合計		145			35			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成29年度から平成30年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成31年度から令和3年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
自己表現論				1			*1	
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意 識形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬学アドバンスト	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成31年度から令和3年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【令和4年度以降の入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	データサイエンス実践入門					2		*1
	現代日本史				1			*2
	国際関係論				1			*2
自己表現論				1			*2	
民俗学				1			*2	
経済学				1			*2	
スポーツ科学				1			*2	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	2.5	2	
合 計		23			24.5			

*1 講義、演習を併用する

*2 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人 意 識 形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と 社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基 礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基 礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*3
	薬学総合講義Ⅱ				1			*3
	卒業研究Ⅱa						4	*3
	卒業研究Ⅱb						2	*3
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*4
	社会薬学特別講義				0.5			*4
	社会への招待Ⅱa				0.5			*5
	社会への招待Ⅱb				0.5			*5
	社会への招待Ⅱc				0.5			*5
	社会への招待Ⅱd				0.5			*5
	実用薬学英語					1		
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*3 選択必修単位 (4単位履修する)

*4 選択必修単位 (0.5単位履修する)

*5 選択必修単位 (0.5単位履修する)

※令和4年度以降の入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

別表 2 (第35条関係)

(3-1) 理学部教養教育科目単位表

	授業科目	生物学科		化学科		物理学科		生物分子科学科		情報科学科		生命圏環境科学科		備考
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
人 文 ・ 社 会 科 学 系	哲学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	人文・社会科学系から次の単位を履修する。 情報科学科 12単位以上 生物学科 化学科 物理学科 生物分子科学科 8単位以上
	哲学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	心理学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	心理学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	倫理学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	倫理学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	歴史学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	歴史学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	文学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	文学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	科学史Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	科学史Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	科学技術社会論Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	科学技術社会論Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	科学哲学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	科学哲学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	人類学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	人類学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	社会学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	社会学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	法学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	法学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	経済学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	経済学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	教育学Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	教育学Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	認知行動科学		2		2		2		2		2		2	
	情報化社会論Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	情報化社会論Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	人文科学特論Ⅰ		2		2		2		2		2		2	
	人文科学特論Ⅱ		2		2		2		2		2		2	
	人文科学特論Ⅲ		2		2		2		2		2		2	
社会科学特論Ⅰ		2		2		2		2		2		2		
社会科学特論Ⅱ		2		2		2		2		2		2		
会計学Ⅰ		2		2		2		2		2		2		
会計学Ⅱ		2		2		2		2		2		2		
法学概論												2		
経済学概論												2		

	授業科目	生物学科		化学科		物理学科		生物分子科学科		情報科学科		生命圏環境科学科		備考	
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択		
人文・社会科学系	心理学概論											2	※1	生命圏環境科学科※1を「人間科学系科目」とする。※1から8単位選択必修。	
	社会学概論											2			
	教育学概論											2			
	環境法											2			
	環境倫理学											2			
自然科学系	数学A 1		2	2		2		2				2	※3	自然数理系から必修単位を含めて次の単位を履修する。	
	数学A 2		2	2		2		2			2				
	数学B 1		2		2	2		2	※1			2			
	数学B 2		2		2	2		2				2			
	確率と統計 I		2		2		2			2		2			
	確率と統計 II		2		2		2			2		2			
	物理学概論										2				生物学科 4単位以上
	化学概論										2				化学科 生物分子科学科 8単位以上
	基礎化学					2									物理学科 10単位以上
	生命科学概論								2						情報科学科 4単位以上
	生命科学概論 I				2										
	生命科学概論 II				2										
	情報科学概論								2						
	情報科学概論 I				2					2					
	情報科学概論 II				2					2					
	数理科学特論 A 1		2		2		2		2		2				生物学科はかつこ内から4単位以上、生物分子科学科は※1と※2の計20単位の内から4単位以上を選ぶ。
	数理科学特論 A 2		2		2		2		2		2				
	数理科学特論 B 1		2		2		2		2	※2	2				
	数理科学特論 B 2		2		2		2		2		2				
	環境科学概論 I		2		2		2		2			2			
	環境科学概論 II		2		2		2		2			2			
	一般物理学		2												
	物理学実験		1												
	一般化学		2												
	化学実験		1												
	化学入門				2		2		2		2	2			
	化学入門 A		2												
化学入門 B		2													
生物入門 A		2		2		2		2		2	2				
生物入門 B		2		2		2		2		2	2				
物理入門		2		2				2		2	2				
物理入門 A						2									
物理入門 B						2									
数学入門 A		2		2		2		2		2	2				
数学入門 B		2		2		2		2		2	2				

	授業科目	生物学科		化学科		物理学科		生物分子科学科		情報科学科		生命圏環境科学科		備考
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
自然数理系	基礎地学											4	生命圏環境科学科 ^{※4} を「基礎自然科学系科目」、 ^{※3} 及び ^{※5} を「数理・情報科学系科目」とする。 ^{※4} から14単位選択必修。 ^{※3} 及び ^{※5} から10単位選択必修。	
	基礎化学											4		
	基礎物理学											4		
	基礎生物学											4		
	基礎地学実験											2		
	基礎化学実験											2		
	基礎物理学実験											2		
	基礎生物学実験											2		
	基礎数学演習Ⅰ											1		
	基礎数学演習Ⅱ											1		
	情報リテラシーⅠ											2		
情報リテラシーⅡ											2			
外国語系・コミュニケーション系	英語A1		1	1		1	1		1			1	外国語・コミュニケーション系から必修単位を含めて次の単位を履修する。 ^{※1} 生物学科8単位以上 化学科 英語A1～A4、英語B1、B3の6単位必修/英語B2、B4、日本語文章表現Ⅰから1単位選択必修 生物分子科学科 英語A1、A3の2単位必修/英語A2、A4、科学英語Ⅰ、Ⅱ、日本語文章表現Ⅰから2単位選択必修 英語B1～B4、科学英語Ⅲ、Ⅳ、日本語文章表現Ⅱから2単位選択必修 物理学科 英語B1、B3、科学英語A、Bの4単位必修/英語A1～A4、日本語文章表現Ⅰから4単位選択必修 情報科学科 8単位以上 生命圏環境科学科 9単位以上 生命圏環境科学科 ^{※1} 及び ^{※4} を「外国語系科目」、 ^{※2} 及び ^{※3} を「コミュニケーション系科目」とする。 ^{※1} 及び ^{※4} から6単位選択必修。 ^{※2} 及び ^{※3} から3単位選択必修。	
	英語A2		1	1		1		1	1			1		
	英語A3		1	1		1	1		1			1		
	英語A4		1	1		1		1	1			1		
	英語B1		1	1		1		1	1			1		
	英語B2		1		1		1		1	1		1		
	英語B3		1	1		1		1	1			1		
	英語B4		1		1		1		1	1		1		
	科学英語Ⅰ								1			1		
	科学英語Ⅱ								1			1		
	科学英語Ⅲ								1			1		
	科学英語Ⅳ								1			1		
	科学英語A					1						1		
	科学英語B					1						1		
	ドイツ語A1		1		1		1				1	1		
	ドイツ語A2		1		1		1			1	1	1		
	ドイツ語B1		1		1		1			1	1	1		
	ドイツ語B2		1		1		1			1	1	1		
	フランス語A1		1		1		1			1	1	1		
	フランス語A2		1		1		1			1	1	1		
	フランス語B1		1		1		1			1	1	1		
	フランス語B2		1		1		1			1	1	1		
	中国語A1		1		1		1			1	1	1		
	中国語A2		1		1		1			1	1	1		
	中国語B1		1		1		1			1	1	1		
	中国語B2		1		1		1			1	1	1		
	外国語セミナーⅠ		1		1		1			1	1	1		
外国語セミナーⅡ		1		1		1			1	1	1			
外国語セミナーⅢ		1		1		1			1	1	1			
外国語セミナーⅣ		1		1		1			1	1	1			
外国語セミナーⅤ		1		1		1			1	1	1			
外国語セミナーⅥ		1		1		1			1	1	1			
日本語文章表現Ⅰ		1		1		1			1		1			
日本語文章表現Ⅱ		1		1		1			1		1			

	授業科目	生物学科		化学科		物理学科		生物分子科学科		情報科学科		生命圏環境科学科		備考
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
外国語系・コミュニケーション系	実用医療英語		1		1		1		1		1		1	
	コミュニケーションⅠ											2	※3	
	コミュニケーションⅡ											2		
	コミュニケーションⅢ											1	※4	
	コミュニケーションⅣ											1		
	コミュニケーションⅤ											1		
	コミュニケーションⅥ											1		
		環境科学海外研修											2	
スポーツ健康科学系	スポーツ健康科学		2		2		2		2		2		2 ※1	生命圏環境科学科のみ、※1を「人間科学系科目」に含む。
	スポーツ健康科学実技Ⅰ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅱ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅲ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅳ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅴ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅵ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅶ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅷ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅸ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学実技Ⅹ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅰ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅱ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅲ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅳ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅴ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅵ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅶ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅷ		1		1		1		1		1		1	
	スポーツ健康科学演習Ⅸ		1		1		1		1		1		1	
スポーツ健康科学演習Ⅹ		1		1		1		1		1		1		
総合文化セミナー	総合文化セミナーⅠ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅡ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅢ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅣ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅤ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅥ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅦ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅧ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅨ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩⅠ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩⅡ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩⅢ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩⅣ		2		2		2		2		2		2	
	総合文化セミナーⅩⅤ		2		2		2		2		2		2	

授業科目	生物学科		化学科		物理学科		生物分子科学科		情報科学科		生命圏環境科学科		備考
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
キャリアデザイン 科目	キャリアデザインⅠ		1		1		1		1		1		生命圏環境科学科 1単位以上選択必修。
	キャリアデザインⅡ		1		1		1		1		1		
	キャリアデザインⅢ		1		1		1		1		1		
	キャリアデザインⅣ		1		1		1		1		1		
	キャリアデザインⅤ		1		1		1		1		1		
	人間と生命		1		1		1		1		1		
海外体験 プログラム	海外体験プログラムⅠ		1		1		1		1		1		
	海外体験プログラムⅡ		1		1		1		1		1		
	海外体験プログラムⅢ		1		1		1		1		1		
	海外体験プログラムⅣ		1		1		1		1		1		
	海外体験プログラムⅤ		1		1		1		1		1		
計	0	208	10	198	14	192	2	206	8	188	0	254	
教養教育科目の 卒業所要単位数	20単位 以上		23単位 以上		26単位 以上		22単位 以上		24単位 以上		42単位 以上		左記の数字を超えた分 は自由選択単位として 扱われる。

(3-2) 理学部生物学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考	
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験 実習		
物質生化学				2			専門教育科目の 卒業所要単位数	
基礎細胞生物学				2				
基礎遺伝学				2				
動物生態学				2				専門必修4単位
組織学				2				
基礎生理学				2				専門選択71単位
系統分類学				2				
代謝生化学				2				自由選択
植物生態学				2				教養教育科目余剰分、他学 科専門科目、専門選択科目 余剰分より29単位以上
分子生物学				2				
基礎発生生物学				2				
基礎植物生理学				2				
生物統計学				2				
進化生物学				2				合計104単位以上
基礎免疫生物学				2				
野外基礎実習						1		
生物科学実験法Ⅰ			1					
生物科学実験法Ⅱ			1					
生化学実習						1		
細胞・組織学実習						1		
野外生態学実習Ⅰ						1		
系統分類学実習						1		
発生学実習						1		
遺伝学実習						1		
遺伝子工学実習						1		
植物バイオテクノロジー実習						1		
免疫生物学実習						1		
野外生態学実習Ⅱ						1		
微生物学実習						1		
植物生理学実習						1		
学外実習						1		
生物学序論Ⅰ				2				
情報リテラシー				2				
基礎生物科学演習Ⅰ					1			
基礎生物科学演習Ⅱ					1			
動物系統学				2				
植物系統学				2				
多様性生物学				2				
分子内分泌学				2				
免疫生物学				2				
細胞生物学				2				

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験 実習	
応用生化学				2			
植物生理学				2			
分子遺伝学				1			
発生生物学				2			
生理学				2			
微生物学Ⅰ				1			
微生物学Ⅱ				1			
分子細胞生物学				2			
レドックス生物学				2			
生命科学方法論				2			
分子生理学				2			
遺伝学セミナー					1		
放射線生物学				2			
高山生態学				2			
動物行動学				2			
分子発生生物学				2			
形態測定学				2			
動物形態進化学				2			
行動生理学				2			
動物生体情報学				2			
科学倫理				1			
バイオテクノロジー-研究法				2			
生物学序論Ⅱ				2			
分子進化学				1			
幹細胞生物学				2			
生物学特論Ⅰ				1			
生物学特論Ⅱ				1			
生物学特論Ⅲ				1			
生物学特論Ⅳ				1			
生物学特論Ⅴ				1			
生物学特論Ⅵ				1			
生物学演習Ⅰ					1		
生物学演習Ⅱ					1		
生物学演習Ⅲ					1		
卒業研究Ⅰ						2	
卒業研究Ⅱ						3	
卒業研究Ⅲ						4	
学外講義				2			
地学				2			
地学実験						1	

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験 実習	
生理学実習						1	臨床検査技師 課程関連科目
血液学実習						1	
医用電子工学概論実習						0.5	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床病態学				2			
解剖学				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
病理解剖学実習						1	
臨床検査学実習 I						0.7	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
栄養学				1			
薬理学				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
病理学 I				1			
臨床検査学実習 II						0.4	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床栄養学				1			
病態薬理学				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
公衆衛生学				2			
医学概論				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
医用電子工学概論				2			
検査機器総論				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床情報科学概論				1			
血液学				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床血液学				2			
病理学 II				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
病理検査学				3			
病理検査学実習						1	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
一般検査学				1			
一般検査学実習						0.5	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
医動物学				1			
医動物学実習						0.5	学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床生化学 I				2			
臨床生化学 II				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床検査学実習 III						0.4	
輸血移植検査学				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
病原微生物学				2			
微生物検査学				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床生理学 I				2			
臨床生理学 I				2			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
生理検査学 I				2			
生理検査学 II				3			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
生理検査学実習						1	
臨床検査総合管理学 II				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする
臨床検査総合管理学 III				1			
臨床検査総合管理学 IV				1			学部臨床検査技師 課程規程のとおり とする

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験 実習	
臨床検査総合管理学 I				3			}
医療安全管理学				2			
臨地実習						12	
チーム医療演習					1		
臨床特別講義				2			
小 計	0	0	2	155	7	44	
合 計	2			206			

(3-3) 理学部化学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習		講義	演習	実験実習	
分析化学Ⅰ	2						専門教育科目の 卒業所要単位数
分析化学Ⅱ				2			
分析化学Ⅲ				2			
無機化学Ⅰ	2						専門必修53単位 専門選択19単位
無機化学Ⅱ	2						
無機化学Ⅲ	2						
有機化学Ⅰ	2						自由選択 教養教育科目余剰分、他 学科専門科目、資格申請 科目、専門選択科目余剰 分より29単位以上
有機化学Ⅱ	2						
有機化学Ⅲ	2						
有機化学Ⅳ				2			
物理化学Ⅰ	2						合計101単位以上
物理化学Ⅱ	2						
物理化学Ⅲ	2						
物理学Ⅰ	2						
物理学Ⅱ				2			
物理学Ⅲ				2			
一般化学Ⅰ	2						
一般化学Ⅱ	2						
有機化学演習Ⅰ		1					
有機化学演習Ⅱ		1					
物理化学演習Ⅰ		1					
物理化学演習Ⅱ		1					
無機・分析化学演習Ⅰ		1					
無機・分析化学演習Ⅱ		1					
無機・分析化学演習Ⅲ					1		
基礎化学英語					1		
化学文献講読Ⅰ		1					
化学文献講読Ⅱ		1					
化学輪講Ⅰ		1					
化学輪講Ⅱ		1					
基礎化学実験			2				
無機・分析化学実験			4				
有機化学実験			4				
物理化学実験			4				
物理学実験			2				
化学セミナー		1					
無機化学特論				2			
分析化学特論				2			
結晶化学				2			
機器分析Ⅰ				2			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習		講義	演習	実験実習	
機器分析Ⅱ				2			
放射化学				2			
放射化学概論				2			
錯体化学				2			
構造有機化学				2			
有機化学反応機構				2			
有機化学特論				2			
生物有機化学				2			
基礎計算有機化学				2			
量子化学				2			
固体化学				2			
物理化学特論				2			
物理化学特論第一				2			
光化学				2			
反応速度論				2			
生物無機化学				2			
界面・コロイド化学				2			
卒業研究						10	
機能性有機材料化学				2			
機能性無機材料化学				2			
化学工学				2			
環境化学Ⅰ				2			
環境化学Ⅱ				2			
高分子化学				2			
機能性高分子科学				2			
地球化学				2			
微生物学Ⅰ				1			
微生物学Ⅱ				1			
生物化学Ⅰ				2			
生物化学Ⅱ				2			
環境計量学				2			
化学特論				2			
生物化学実験						1	
生物学				2			
生物学実験						1	
地学				2			
地学実験						1	
学外実習						2	

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習		講義	演習	実験実習	
基礎生理学				2			臨床検査技師 課程関連科目
基礎生理学実習						1	
動物生理学				1			
組織学				2			
免疫学				2			
免疫検査学				2			
免疫学実習						1	
血液学実習						1	
微生物学実習						1	
分子生物学 I				2			
医用電子工学概論実習						0.5	
臨床病態学				2			
解剖学				2			
病理解剖学実習						1	
臨床検査学実習 I						0.7	
栄養学				1			
薬理学				1			
病理学 I				1			
臨床検査学実習 II						0.4	
臨床栄養学				1			
病態薬理学				1			
公衆衛生学				2			
医学概論				2			
医用電子工学概論				2			
検査機器総論				1			
臨床情報科学概論				1			
血液学				2			
臨床血液学				2			
病理学 II				1			
病理検査学				3			
病理検査学実習						1	
一般検査学				1			
一般検査学実習						0.5	
医動物学				1			
医動物学実習						0.5	
臨床生化学 I				2			
臨床生化学 II				2			
臨床検査学実習 III						0.4	
輸血移植検査学				2			
病原微生物学				2			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習		講義	演習	実験実習	
微生物検査学				2			
臨床生理学Ⅰ				2			
臨床生理学Ⅱ				2			
生理検査学Ⅰ				2			
生理検査学Ⅱ				3			
生理検査学実習						1	
臨床検査総合管理学Ⅱ				1			
臨床検査総合管理学Ⅲ				1			
臨床検査総合管理学Ⅳ				1			
臨床検査総合管理学Ⅰ				3			
医療安全管理学				2			
臨地実習						12	
特別問題研究						2	
チーム医療演習					1		
小 計	26	11	16	147	3	39	
合 計	53			189			

(3-4) 理学部物理学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
力学ⅠA	2						専門教育科目の 卒業所要単位数
力学ⅠB	2						
力学ⅠC	2						
力学ⅠD	2						
力学ⅡA	2						
力学ⅡB	2						
電磁気学ⅠA	2						
電磁気学ⅠB	2						
電磁気学ⅡA	2						
電磁気学ⅡB	2						
電磁気学ⅡC	2						
電磁気学ⅡD	2						
基礎数学演習Ⅰ		1					
基礎数学演習Ⅱ		1					
物理数学A	2						
物理数学B	2						
物理数学C				2			
物理数学D				2			
熱・統計力学Ⅰ	2						
熱・統計力学ⅡA	2						
熱・統計力学演習A		1					
熱・統計力学ⅡB				2			
熱・統計力学演習B					1		
原子物理学	2						
量子力学A	2						
量子力学演習A		1					
量子力学B				2			
量子力学演習B					1		
物理学実験ⅠA			1.5				
物理学実験ⅠB			1.5				
物理学実験ⅡA			1				
物理学実験ⅡB			1				
物理学実験ⅢA			1				
物理学実験ⅢB			1				
卒業研究A			5				
卒業研究B			5				
物理学序説				2			
物理学概論				2			
情報科学概論A				2			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
情報科学概論B				2			
技術者倫理A				2			
技術者倫理B				2			
数値計算法				2			
相対性理論				2			
計測工学				2			
原子核物理学				2			
物理光学				2			
レーザー物理学				2			
銀河天文学				2			
素粒子物理学				2			
高エネルギー物理学				2			
固体物理学A				2			
固体物理学B				2			
放射線物理学				2			
電子工学				2			
化学物理学				2			
原子物理学II				2			
表面物理学				2			
宇宙物理学				2			
物理学特別講義I				2			
物理学特別講義II				2			
物理学特別講義III				2			
物理学特別講義IV				2			
物理学特論I				2			
物理学特論II				2			
物理学特論III				2			
物理学特論IV				2			
物理学特論V				2			
物理学特論VI				2			
物理学特論VII				1			
物理学特論VIII				2			
化学				2			
化学実験						1	
生物学				2			
生物学実験						1	
地学				2			
地学実験						1	
小 計	36	4	17	83	2	3	
合 計	57			88			

(3-5) 理学部生物分子科学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
一般化学	2						専門教育科目の 卒業所要単位数
有機化学Ⅰ	2						
基礎生理学	2						専門必修28単位
細胞生物学	2						
基礎生化学	2						専門選択36単位
生物分子科学実験Ⅰ			1				
物理化学Ⅰ	2						自由選択 教養教育科目余剰分、他学科 専門科目専門選択科目余剰分 より38単位以上
生化学Ⅰ	2						
分子生物学Ⅰ	2						
生物分子科学実験Ⅱ			1				
生物分子科学実験Ⅲ			1				
細胞組織学	2						
遺伝子工学Ⅰ	2						
生物分子科学実験Ⅳ			1				
生物分子科学実験Ⅴ			1				
外国語文献講読		1					
生物分子科学演習Ⅰ		1					合計102単位以上
生物分子科学演習Ⅱ		1					
基礎化学演習					1		
基礎細胞生物学				2			
基礎遺伝学				2			
基礎進化生物学				2			
生物分子科学セミナーⅠ					1		
分析化学				2			
有機化学演習Ⅰ					1		
基礎生物学				2			
野外実習						1	
臨床遺伝学				2			
有機化学Ⅱ				2			
基礎物理学				2			
物理化学演習					1		
生理学Ⅰ				2			
地学				2			
物理化学Ⅱ				2			
生化学Ⅱ				2			
植物生理学				2			
有機化学Ⅲ				2			
有機分析法				2			
分子生物学Ⅱ				2			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
発生生物学				2			
生物無機化学				2			
放射線管理学演習					1		
生体分子構造論				2			
生物有機化学				2			
機器分析化学				2			
放射化学				2			
免疫学				2			
生理学Ⅱ				2			
微生物学Ⅰ				1			
微生物学Ⅱ				1			
遺伝子工学Ⅱ				2			
情報生物学				2			
放射線生物学				2			
分子医学概論				2			
生物分子科学実験Ⅵ						1	
有機化学演習Ⅱ					1		
機能性材料化学				2			
分子医学Ⅰ				2			
分子医学Ⅱ				2			
分子医学Ⅲ				2			
分子生理学				2			
応用ゲノム科学				2			
神経生物学				2			
応用微生物学				2			
生物物理化学				2			
生物分子科学特論Ⅰ				2			
生物分子科学特論Ⅱ				2			
生物分子科学特論Ⅲ				2			
生物分子科学特論Ⅳ				2			
生物分子科学セミナーⅡ					1		
物理学実験						1	
学外実習						2	
卒業研究						8	
生物分子科学演習Ⅲ					1		
地学実験						1	

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
医用電子工学概論実習						0.5	臨床検査技師 課程関連科目
臨床病態学				2			
解剖学				2			理学部臨床検査 技師課程規程の とおりとする
病理解剖学実習						1	
臨床検査学実習 I						0.7	
栄養学				1			
薬理学				1			
病理学 I				1			
臨床検査学実習 II						0.4	
臨床栄養学				1			
病態薬理学				1			
公衆衛生学				2			
医学概論				2			
医用電子工学概論				2			
検査機器総論				1			
臨床情報科学概論				1			
血液学				2			
臨床血液学				2			
病理学 II				1			
病理検査学				3			
病理検査学実習						1	
一般検査学				1			
一般検査学実習						0.5	
医動物学				1			
医動物学実習						0.5	
臨床生化学 I				2			
臨床生化学 II				2			
臨床検査学実習 III						0.4	
輸血移植検査学				2			
病原微生物学				2			
微生物検査学				2			
臨床生理学 I				2			
臨床生理学 II				2			
生理検査学 I				2			
生理検査学 II				3			
生理検査学実習						1	
臨床検査総合管理学 II				1			
臨床検査総合管理学 III				1			
臨床検査総合管理学 IV				1			
臨床検査総合管理学 I				3			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
医療安全管理学 臨地実習				2		12	
チーム医療演習 臨床特別講義				2	1		
小 計	20	3	5	140	9	32	
合 計	28			181			

(3-6) 理学部情報科学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
代数・幾何 I	2						専門教育科目の 卒業所要単位数
代数・幾何 II	2						
基礎解析 I	2						専門必修 数理コース51単位
基礎解析 II	2						
確率論入門	2						マイコース1単位
情報数理 I A	2						
情報数理 I B	2						専門選択 数理コース39単位
情報数理 II A	2						
情報数理 II B	2						マイコース39単位
情報数理演習 I A		1					
情報数理演習 I B		1					自由選択 教養教育科目余剰分、 他学科専門科目、専門 選択科目余剰分より10 単位以上
情報数理演習 II A		1					
情報数理演習 II B		1					
プログラミング A	2						合計100単位以上
プログラミング B	2						
プログラミング C	2						
プログラミング演習 A		1					合計100単位以上
プログラミング演習 B		1					
プログラミング演習 C		1					
データ活用概論	2						自由選択 教養教育科目余剰分、 他学科専門科目、専門 選択科目余剰分より10 単位以上
データ活用演習		1					
データ科学基礎				2			合計100単位以上
データ科学演習					1		
コンピュータ数学	2						合計100単位以上
コンピュータ数学演習		1					
コンピュータアーキテクチャ	2						合計100単位以上
データ解析 I	2						
情報理論	2						合計100単位以上
社会情報学	2						
UNIXとネットワーク	2						合計100単位以上
アルゴリズムとデータ構造	2						
アルゴリズムとデータ構造演習		1					合計100単位以上
情報科学実験 I A						1	
情報科学実験 I B			1				合計100単位以上
情報科学実験 II			1				
プロジェクト I A			1				合計100単位以上
プロジェクト I B						1	
プロジェクト II A			1				合計100単位以上
プロジェクト II B						1	
情報科学セミナー A		1					合計100単位以上

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
情報科学セミナーB		1					
卒業研究A			5				
卒業研究B			5				
確率過程論				2			
微分方程式論				2			
グラフ理論				2			
複素関数論				2			
実関数論				2			
関数解析学				2			
確率解析学				2			
情報代数学				2			
符号理論				2			
応用幾何学				2			
形式論理学				2			
信号処理				2			
データ解析Ⅱ				2			
メディア情報処理				2			
数理計画法				2			
ファイナンス数学				2			
実験計画法				2			
社会調査法				2			
行動計量学				2			
人工知能				2			
自然言語処理				2			
コンピュータビジョン				2			
音声処理				2			
情報産業論				2			
コンピュータネットワーク				2			
オペレーティングシステム				2			
計算とオートマトン				2			
コンパイラとプログラミング言語				2			
データベース論				2			
ソフトウェア工学				2			
オブジェクト指向プログラミング				2			
暗号と情報セキュリティ				2			
数値解析				2			
パターン認識				2			
コンピュータグラフィックス				2			
線形システム				2			
神経回路理論				2			
電子回路				2			
医学概論				2			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
生命科学概論				2			
医療情報学				2			
基礎生化学				2			
基礎分子生物学				2			
薬学情報学				2			
生体情報工学				2			
バイオインフォマティクス基礎論				2			
シミュレーション				2			
情報科学講究Ⅰ				2			
情報科学講究Ⅱ				2			
情報科学講究Ⅲ				2			
コンピュータメディア科学特論				2			
コンピュータ生命医科学特論				2			
コンピュータ環境科学特論				2			
教職数学Ⅰ				2			
教職数学Ⅱ				2			
教職数学Ⅲ				2			
メディア創作概論				2			
CGクリエーション						1	
CGクリエーション演習					1		
CGプログラミング					1		
情報テクノロジー				2			
情報ストラテジ				2			
情報マネジメント				2			
社会調査演習Ⅰ					1		
社会調査演習Ⅱ					1		
生命医科学情報ネットワーク論				2			
入門数学演習					1		
小 計	40	12	14	124	6	4	
合 計	66			134			

(3-7) 理学部生命圏環境科学科専門教育科目単位表

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考	
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習		
自然環境科学概論				2			専門教育科目の 卒業所要単位数	
生命環境科学概論				2				
人間環境科学概論				2			専門教育科目には、コア選 択科目中の「基盤科目」 「応用自然科学系科目」及 びコア必修科目、コース科 目を含む。	
地球環境科学概論				2				
環境科学セミナー				2				
環境科学体験実習						1		
水環境学				2				
生物資源科学				2				
環境科学プロジェクト実習						2		
地球システム論				2				
電気・エネルギー工学				2				専門必修9単位
環境情報システム				2				専門選択39単位
卒業研究Ⅰ			3				自由選択 教養教育科目余剰分、他学 科専門科目、資格申請科 目、専門選択科目余剰分よ り34単位以上	
卒業研究Ⅱ			3					
生命圏環境科学特論Ⅰ				2				
生命圏環境科学特論Ⅱ				2				
生命圏環境科学特論Ⅲ				2				
生命圏環境科学特論Ⅳ				2				
生命圏環境科学特論Ⅴ				2				
生命圏環境科学特論Ⅵ				2				
生命圏環境科学特論Ⅶ				2				
生命圏環境科学特論Ⅷ				2				合計82単位以上
環境科学野外実習Ⅰ						1		
環境科学野外実習Ⅱ						1		
環境科学野外実習Ⅲ						1		
環境科学野外実習Ⅳ						1		
環境科学野外実習Ⅴ						1		
環境科学野外実習Ⅵ						1		
環境科学応用演習Ⅰ					1			
環境科学応用演習Ⅱ					1			
環境科学応用演習Ⅲ					1			
環境分析化学Ⅰ				2				
環境分析化学Ⅱ				2				
リモートセンシング				2				
環境化学ユニット科目		3						
環境化学Ⅰ				2				
環境化学Ⅱ				2				
物質科学Ⅰ				2				
物質科学Ⅱ				2				

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
熱力学				2			
地球・惑星科学Ⅰ				2			
地球・惑星科学Ⅱ				2			
環境マネジメント				2			
環境生態学ユニット科目		3					
保全生態学				2			
湖沼生態学				2			
海洋生態学				2			
エネルギー管理論				2			
地球科学ユニット科目		3					
プログラミング				3			
環境政策				2			
環境経済				2			
環境管理・創成科学ユニット科目		3					
環境経済基礎				2			
放射化学				2			
微生物学Ⅰ				1			
微生物学Ⅱ				1			
生物化学Ⅰ				2			
生物化学Ⅱ				2			
生物化学実験						1	
基礎生理学				2			
基礎生理学実習						1	
動物生理学				1			
組織学				2			
免疫学				2			
免疫検査学				2			
免疫学実習						1	臨床検査技師 課程関連科目
血液学実習						1	
微生物学実習						1	
分子生物学Ⅰ				2			理学部臨床検査 技師課程規程の とおりとする
医用電子工学概論実習						0.5	
臨床病態学				2			
解剖学				2			
病理解剖学実習						1	
臨床検査学実習Ⅰ						0.7	
栄養学				1			
薬理学				1			
病理学Ⅰ				1			
臨床検査学実習Ⅱ						0.4	
臨床栄養学				1			

授 業 科 目	必修単位			選択単位			備 考
	講義	演習	実験実習	講義	演習	実験実習	
病態薬理学				1			
公衆衛生学				2			
医学概論				2			
医用電子工学概論				2			
検査機器総論				1			
臨床情報科学概論				1			
血液学				2			
臨床血液学				2			
病理学Ⅱ				1			
病理検査学				3			
病理検査学実習						1	
一般検査学				1			
一般検査学実習						0.5	
医動物学				1			
医動物学実習						0.5	
臨床生化学Ⅰ				2			
臨床生化学Ⅱ				2			
臨床検査学実習Ⅲ						0.4	
輸血移植検査学				2			
病原微生物学				2			
微生物検査学				2			
臨床生理学Ⅰ				2			
臨床生理学Ⅱ				2			
生理検査学Ⅰ				2			
生理検査学Ⅱ				3			
生理検査学実習						1	
臨床検査総合管理学Ⅱ				1			
臨床検査総合管理学Ⅲ				1			
臨床検査総合管理学Ⅳ				1			
臨床検査総合管理学Ⅰ				3			
医療安全管理学				2			
臨地実習						12	
チーム医療演習					1		
臨床特別講義				2			
小 計	0	12	6	150	4	32	
合 計		18			186		

別表2 (第35条関係)

(4) 看護学部看護学科開設科目単位表

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1	17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1		
		死生表象論		1	
		文学		1	
		文化人類学		1	
		法学（日本国憲法）	1		
		法律と医療		1	
		社会学		1	
		教育学		1	
		心理学	1		
		臨床心理学		1	
		医療人間論	1		
		コミュニケーション・スキル		1	
		自然科学の基礎	1		
		化学		1	
		生物学	1		
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		人と芸術	1		
		チームビルディングと自然体験	1		
	異文化理解Ⅰ		1		
	異文化理解Ⅱ		1		
	データサイエンス実践入門		2		
	視野を広げる	英語Ⅰa	1		10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から 最低1単位必要)
		English Communication		1	
		英語Ⅰb	1		
		英語Ⅰc	1		
		英語Ⅱa	1		
		英語Ⅱb	1		
		Medical English	1		
		第2外国語 a	1		
		第2外国語 b	1		
		English Communication for Nurses a/b		1	
英語集中講座 a (海外)			2		
英語集中講座 b (国内)			1		
Advanced Reading Ⅰ			1		
Advanced Reading Ⅱ			1		
English Proficiency Test Ⅰ			1		
English Proficiency Test Ⅱ		1			
実用医療英語		1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生化学と栄養	1		
		遺伝学	1		
		病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		感染と防御	2		
		感染制御学	1		
		人体と薬物	2		
		運動科学		1	
		東洋医学		1	
		音楽療法		1	
		公衆衛生学	1		
		疫学と保健統計	2		
		地域共生社会論		1	
		健康支援と社会保障	1		
探究	アカデミック・スキルⅠ	1		必修 8単位	
	アカデミック・スキルⅡ	1			
	基礎統計学	1			
	研究方法論	2			
	卒業研究	3			
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1		必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	2		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2			
	看護の展開	看護管理学	2		必修 3単位
		看護倫理学	1		
		成人看護学概論	1		必修 5単位
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
		成人看護学実習	4		必修 4単位
高齢者看護学概論		1		必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ	1				
高齢者看護学Ⅱ	2				
高齢者看護学実習	3		必修 3単位		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門分野	看護の展開	小児看護学概論	1		必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		
		小児看護学実習	2		必修 2単位
		母性看護学概論	1		必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		必修 2単位
		精神看護学概論	1		必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
		精神看護学実習	2		必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1		必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1		
		がん看護学実習	2		必修 2単位
		在宅看護学概論	2		必修 6単位
		在宅看護学方法論	2		
		地域看護学概論	1		
		地域看護学活動論	1		
	地域・在宅看護学実習	2		必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1		必修 1単位	
	看護の応用	国際看護学	2		必修 2単位
		国際看護学演習		1	
チーム医療演習			1		
統合実習		3		必修 3単位	
		合計	113	32	卒業所要単位数は、必修113単位、 選択13単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和3年度以前入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
一 般 教 育 領 域	基 礎 自 然 を 科 学 を 学 ぶ の	化学		1	4単位以上
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		自然科学の基礎	1		
		生物学	1		
	視 野 を 広 げ る	English for Communication I	2		10単位以上
		English for Communication II	2		
		English for Communication III	1		
		English for Communication IV	1		
		Medical English I	1		
		Medical English II		1	
		夏期英語集中講座		1	
		Advanced Reading I		1	
		Advanced Reading II		1	
		English for Communication V		1	
		第2外国語 I	1		
		第2外国語 II	1		
		実用医療英語		1	
	人 間 性 を 養 い 培 う	日本文化研修	1		
		文化講座	1		
		自然体験学習	1		
		運動科学	1		
		人間論	1		
	人 間 の 営 み を 理 解 す る	心理学	1		4単位以上 但し、保健師国家試験受資格を得るためには法学を必修とする。
		社会学		1	
		教育学		1	
		法学（日本国憲法）		1	
		文化人類学		1	
手話			1		
文学			1		
海外研修 I			1		
海外研修 II			1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎 領域	人体を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		13単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生体の化学	1		
		栄養と代謝	1		
		遺伝学	1		
	人間と健康	病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		病態と治療Ⅳ	2		
		感染と防御	2		
		人体と薬物	2		
		東洋医学		1	
		臨床心理学		1	
	音楽療法		1		
	健康と環境	医療人間論	1		
		保健・医療・福祉と行政	1		
		公衆衛生学	2		
		疫学と保健統計	2		
		情報と統計学	2		
		法律と医療	1		
研究	研究方法論	1			
	卒業研究	4			
専門 領域Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	1		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
	実基礎 習	看護学基礎実習	1		
		基礎看護学実習	3		
専門 領域Ⅱ	看護学 成人	成人看護学概論	1		
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
	看護学 高齢者	高齢者看護学概論	1		
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		
	看護学 小児	小児看護学概論	1		
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 領 域 II	看護学 母性	母性看護学概論	1		
		母性看護学 I	2		
		母性看護学 II	1		
	看護学 精神	精神看護学概論	1		
		精神看護学 I	1		
		精神看護学 II	2		
	看護学 がん	がん看護学 I	1		
		がん看護学 II	1		
	専門 実習	成人看護学実習	4		
		高齢者看護学実習	3		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
がん看護学実習		2			
統 合 領 域	看護学 在宅	在宅看護学概論	2		
		在宅看護方法論	2		
	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	2		2単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学 I・II は必修とする。
		公衆衛生看護学 I		2	
		公衆衛生看護学 II		2	
	看護学 国際	国際看護学	2		
	看護 の 統 合 と 実 践	看護管理学	2		6単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、健康政策論は必修とする。
		看護倫理学	1		
		感染制御学	1		
		死生表象論		1	
		健康政策論		1	
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
		看護専門分野実践入門		1	
	実 統 合	在宅看護学実習	2		
統合実習		2			
保 健 師 課 程	保健・医療・福祉行政論		2	保健師課程選択者（保健師国家試験受験資格を得るため）は、13単位の履修を必要とする。	
	公衆衛生看護管理論		2		
	公衆衛生看護活動展開論 I		2		
	公衆衛生看護活動展開論 II		2		
	公衆衛生看護学実習 I		2		
	公衆衛生看護学実習 II		3		
合 計		118	42	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上（保健師課程は除く）、計126単位以上とする。	

別表2 (第35条関係)

(5) 健康科学部看護学科科目単位表

令和4年度以降の入学者に適用

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1					**自由選択 講義、演習を併用する
		データサイエンス		1				
		データサイエンス実践入門**				2		
		化学	1					
		生物学	1					
		看護のための物理学	1					
	語学	実用英語 I A					1	選択1単位以上
		実用英語 I B					1	
		実用英語 II		1				
		医療英語A					1	選択1単位以上
		医療英語B					1	
		実用英語III					1	選択1単位以上
		実用英語IV					1	
		実用医療英語					1	
		ドイツ語入門					1	選択1単位以上
		フランス語入門					1	
	中国語入門					1		
	健康 科学	健康科学概論	1					選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		コミュニケーション論	1					
		プレゼンテーション論	1					
		人間と生命				1		
		千葉県の地域医療				1		
		スポーツ健康科学※				1		
		スポーツ健康科学実技※					1	
	人文 科学	心理学	1					選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		社会学	1					
		倫理学	1					
		教育学				1		
		組織論※				1		
		経済学				1		
法学（日本国憲法を含む）※					2			
文学					1			
人類学					1			
哲学					1			

科目 区分	授業科目	必修			選択			備考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	人体の構造と機能Ⅰ	2					
		人体の構造と機能Ⅱ	2					
		人体の構造と機能Ⅲ	2					
		生化学	1					
		臨床栄養学	1					
		微生物学		1				
		疾病と治療Ⅰ	2					
		疾病と治療Ⅱ	2					
		疾病と治療Ⅲ	2					
		疾病と治療Ⅳ	2					
		疾病と治療Ⅴ	2					
		薬理学	2					
		薬剤学	1					
		リハビリテーション論	1					
	臨床遺伝学				1			選択1単位以上
	臨床心理学				1			
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2					
		社会保障制度	2					
		保健統計	1					
		公衆衛生	1					
疫学Ⅰ(基礎編)※					1			
疫学Ⅱ(応用編)※					1			
健康生活支援論※					1			
政策形成過程論※				1				
専門 教育 科目	臨床 看護 学	看護学概論	1					
		臨床看護学概論	1					
		看護倫理学	1					
		看護理論・看護展開論		1				
		機能障害のある患者の看護	2					
		周手術期看護・急性重症患者看護	2					
		リスクマネジメント		1				
		看護の基本技術1 (療養環境の整備技術)		1				
		看護の基本技術2 (ヘルスアセスメント)		1				
		看護の基本技術3 (日常生活援助技術)		2				
		看護の基本技術4 (診療の補助技術)		2				
		看護の基本技術5 (慢性期看護技術)		1				
		看護の基本技術6 (急性期看護技術)		1				
	臨床 実習	看護入門実習Ⅰ			1			
		臨床看護学実習Ⅰ			3			
		臨床看護学実習Ⅱ			3			
		臨床看護学実習Ⅲ			2			

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1					
			ファミリーヘルス看護論		1				
			援助の人間関係論	1					
		看護学 小児	小児看護学概論	1					
			小児看護学方法論	1					
			看護の基本技術7 (小児看護技術)		1				
		看護学 母性	母性看護学概論	1					
			母性看護学方法論	1					
			看護の基本技術8 (母性看護技術)		1				
		看護学 精神	精神看護学概論	1					
			精神看護学方法論	1					
			看護の基本技術9 (精神看護技術)		1				
	臨地 実習	小児看護学実習			2				
		母性看護学実習			2				
		精神看護学実習			2				
	コミュニティヘルス看護領域	科目 II 基礎	コミュニティヘルス看護概論	1					
			コミュニティヘルス看護展開論		1				
		看護学 老年	老年看護学概論	1					
			老年看護学方法論	2					
			看護の基本技術10 (老年看護技術)		1				
		地域・在宅 看護論	地域・在宅看護概論	1					
			地域・在宅看護方法論	1					
			看護の基本技術11 (在宅看護技術)		1				
		看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	1					
			看護の基本技術12 (地区診断)		1				
		臨地 実習	老年看護学実習			3			
			看護入門実習Ⅱ			1			
			在宅看護実習			1			
			コミュニティヘルス看護実習			1			
		ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門		1			
	看護研究				2				
	看護の役割と実践の探究				1				
	臨床実践技術の探究				1				
看護管理論	1								
エンドオブライフケア	1								
国際保健論 (災害看護論を含む) ※						1			
専門看護への招待						1			
がん看護						1			
チーム活動論※						1			
チーム医療演習							1		
国際看護						1			
臨地実習	看護実践の探究				2				

選択2単位以上
※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術※					2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	
リメディアル教育科目			生物学入門				1		卒業所要単位に含めない	
			化学入門				1			
専門基盤科目	初年次教育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ		1					選択1単位以上	
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1							
	アキヤ教育リ	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ				1				
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ				1				
小 計			63	27	23	29	17	4	卒業所要単位は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする	
合 計			113			50				

令和3年度以前の入学者に適用

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育 科 目	自然科学	自然科学概論	1					
		情報科学概論	1					
		化学	1					
		生物学	1					
		看護のための物理学	1					
	語 学	実用英語 I A					1	選択1単位以上
		実用英語 I B					1	
		実用英語 II		1				
		医療英語 I A					1	選択1単位以上
		医療英語 I B					1	
		実用英語 III					1	選択1単位以上
		実用英語 IV					1	
		医療英語 II					1	
		実用医療英語					1	
		ドイツ語入門					1	選択1単位以上
	フランス語入門					1		
	中国語入門					1		
	健 康 科 学	健康科学概論	1					
		コミュニケーション論	1					
		プレゼンテーション論	1					
		スポーツ健康科学※				1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		スポーツ健康科学実技※					1	
	人 文 科 学	心理学	1					
		教育学	1					
		組織論※				1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		経済学				1		
		社会学				1		
法学(日本国憲法を含む)※					2			
文学					1		選択2単位以上	
人類学					1			
哲学				1				
倫理学				1				
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能 I	2					
		人体の構造と機能 II	2					
		人体の構造と機能 III	2					
		生化学	1					
		臨床栄養学	1					
		微生物学		1				
		疾病と治療 I	2					
		疾病と治療 II	2					

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	疾病と治療Ⅲ	2							
		疾病と治療Ⅳ	2							
		疾病と治療Ⅴ	1							
		薬理学	2							
		薬剤学	1							
		リハビリテーション論	1							
		臨床遺伝学				1				選択1単位以上
		臨床心理学				1				
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2							
		社会保障制度	2							
		研究方法の基礎	1							
		保健統計と情報処理	1							
		疫学と公衆衛生	2							
		健康生活支援論※ 政策形成過程論※				1 1				選択1位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
専門 教育 科目	トランス レー シ ョ ナ ル 看護 領域	臨床 看護 学	看護学概論	1						
			臨床看護学概論	1						
			看護倫理学	1						
			看護理論	1						
			トランスレーショナルへの挑戦	1						
			看護展開論		1					
			機能障害のある患者の看護	2						
			周手術期看護・急性重症患者看護	2						
			がん看護・緩和ケア	1						
			感染看護	1						
			臨床 看護 学	看護の基本技術Ⅰ		1				
	看護の基本技術Ⅱ			2						
	看護の基本技術Ⅲ			2						
	看護の基本技術Ⅳ			1						
	臨床 実 習	看護入門実習Ⅱ			1					
		看護実践の基礎			2					
		臨床実践Ⅰ			2					
		臨床実践Ⅱ			2					
		臨床実践Ⅲ			2					
	ファミ リー ヘル ス 看護 領域	基 盤 科 目 Ⅰ	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助的人間関係論	1						
	小児 看護 学	小児看護学概論	1							
		小児看護学方法論	1							
		看護の基本技術Ⅴ		1						

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術VI		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	2						
			小児看護学実習			2				
		臨地実習	母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
	コミュニティヘルス看護領域	基盤科目II	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
			国際保健論（災害看護論を含む）	1						
			ターミナルケア	1						
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			看護の基本技術VII		2					
		看護学 在宅	在宅看護概論	1						
			看護の基本技術VIII		1					
		生公衆衛 学看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術IX		1					
		臨地実習	老年看護学実習 I			2				
			老年看護学実習 II			1				
			老年看護学実習 III			1				
			看護入門実習 I			1				
			在宅看護実習			1				
	コミュニティヘルス看護実習				1					
	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門	1						
			看護研究		2					
看護の役割と実践の探究			1							
臨床実践技術の探究				1						
看護安全論※						1			選択3単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
看護管理論※						1				
看護哲学						1				
チーム活動論※					1					
実習 臨地		チーム医療演習					1			
		看護実践の探究			2					
保健師専門科目	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学の技術※					1		選択9単位 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
		公衆衛生看護学活動論※				2				
		学校保健・産業保健※				1				
		公衆衛生看護管理論※				1				
	実習 臨地	公衆衛生看護学実習 I ※						2		
公衆衛生看護学実習 II ※							2			

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
自由 科目	生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
	化学入門				1			
	文章表現入門				1			
	千葉県の地域医療				1			
	倫理ことはじめ				1			
	小 計	67	20	24	27	14	4	卒業所要単位は、必修111単位、選択14単位以上、計125単位以上とする
	合 計	111			45			

別表 3 (第35条関係)

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (1)

理学部生物学科、同化学科、同物理学科、同生物分子科学科、同生命圏環境科学科

授業科目	必修科目			選択科目			備考
	講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教職論	2						1科目以上を選択必修とする
教育原理	2						
教育心理学	2						
特別支援教育概論	2						
教育社会学	2						
教育制度論	2						
教育課程総論	2						
理科指導法Ⅰ	2						
理科指導法Ⅱ	2						
理科指導法Ⅲ	2						
理科教育法Ⅰ	2						
理科教育法Ⅱ	2						
理科教育法Ⅲ	2						
理科実験指導法	2						
理科授業論	2						
道徳教育論	*2						
総合的な学習の時間の指導法	1						
特別活動論	2						
教育方法論	2						
生徒・進路指導論	2						
教育相談	2						
教職実践演習		2					
教育実習Ⅰ			1				
教育実習Ⅱ			2				
教育実習Ⅲ			4				
介護等体験Ⅰ			*1				
介護等体験Ⅱ			*1				
総合演習Ⅰ		1					
総合演習Ⅱ		1					
総合演習Ⅲ		1					
総合演習Ⅳ		1					
総合演習Ⅴ		1					
総合演習Ⅵ		1					
総合演習Ⅶ		1					
総合演習Ⅷ		1					
教職体験			1				
学校インターンシップ			2				
教育学概説				2			
教育心理学特論				2			
教育法規				2			

授業科目	必修科目			選択科目			備 考
	講義	演習	実習	講義	演習	実習	
学級づくりの基礎と方法				2			
理科教育演習Ⅰ					1		
理科教育演習Ⅱ					1		
理科教育演習Ⅲ					1		
人間関係論				2			
教職特別問題研究Ⅰ						4	免許申請課目外とする
教職特別問題研究Ⅱ						4	免許申請課目外とする
小 計	41	10	12	10	3	8	
合 計	63			21			

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (2)

理学部情報科学科

授業科目	必修科目			選択科目			備 考
	講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教職論	2						1 科目以上を選択必修とする
教育原理	2						
教育心理学	2						
特別支援教育概論	2						
教育社会学	2						
教育制度論	2						
教育課程総論	2						
数学科指導法	*2						
数学教育概論	*2						
数学科教育法	*2						
数学科教材論	*2						
情報科教育法	*2						
情報科授業論	*2						
道徳教育論	*2						
総合的な学習の時間の指導法	1						
特別活動論	2						
教育方法論	2						
生徒・進路指導論	2						
教育相談	2						
教職実践演習		2					
教育実習Ⅰ			1				
教育実習Ⅱ			2				
教育実習Ⅲ			4				
介護等体験Ⅰ			*1				
介護等体験Ⅱ			*1				
総合演習Ⅰ		1					
総合演習Ⅱ		1					
総合演習Ⅲ		1					
総合演習Ⅳ		1					
総合演習Ⅴ		1					
総合演習Ⅵ		1					
総合演習Ⅶ		1					
総合演習Ⅷ		1					
教職体験			1				
学校インターンシップ			2				
教育学概説				2			
教育心理学特論				2			
教育法規				2			

授業科目	必修科目			選択科目			備 考
	講義	演習	実習	講義	演習	実習	
学級づくりの基礎と方法				2			
数学教育演習Ⅰ					1		
数学教育演習Ⅱ					1		
数学教育演習Ⅲ					1		
人間関係論				2			
教職特別問題研究Ⅰ						4	免許申請課目外とする
教職特別問題研究Ⅱ						4	免許申請課目外とする
小 計	37	10	12	10	3	8	
合 計	59			21			

別表4 (第49条関係)

(単位円)

学部	入学金	授業料		教育充実費		施設設備費	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
医学部	1,500,000	2,500,000		(900,000) 500,000		(800,000) 300,000	
薬学部	400,000	(670,000) 560,000	(670,000) 560,000	(355,000) 355,000	(355,000) 355,000		
理学部	250,000	531,000	531,000	(250,000) 160,000	(250,000) 160,000		
看護学部	500,000	550,000	550,000	(150,000) 150,000	(150,000) 150,000	(250,000) 250,000	(250,000) 250,000
健康科学部	300,000	475,000	475,000	(400,000) 150,000	(400,000) 350,000		

- 備考1 医学部の在学中の授業料は、初年度と同額とする。
- 2 薬学部の在学中の授業料の括弧書きは、2年次以降の納付額を示す。
- 3 教育充実費及び施設設備費欄の括弧書きは、2年次以降の年間納付額（薬学部・理学部・看護学部・健康科学部は春学期・秋学期の納付額）を示す。
- 4 教育充実費については、入学試験の総合成績の優秀なものについては全額または一部を免除することがある。ただし、初年度分に限りこれを適用する。

変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づく平成 22 年度から平成 31 年度までの医学部定員の暫定増の取扱いに伴い、本学医学部は平成 27 年度より千葉県の医師修学支援制度を利用した臨時定員 5 名の増員を行った。令和 2 年度及び同 3 年度の 2 年間についても臨時定員 5 名の再申請を行い、承認されている。さらに令和 4 年度には、文部科学省より暫定的な医学部入学定員の取扱いに則り、これまでの実績に基づき千葉県医師修学資金貸付制度を利用した臨時定員 5 名に加え、新たに医師偏在指標全国順位 47 位である新潟県から打診を受け、新潟県医師養成修学資金貸与制度を活用した臨時定員 5 名の増員を行った。

令和 5 年度の取扱いについては、文部科学省より再度の増員申請を認める方針が出されたため、実績に基づき千葉県枠として 5 名の臨時定員を、また、新潟県枠として新潟県と協議のうえ 7 名の臨時定員の申請を行うものである。

千葉県及び新潟県の医師修学資金制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意思を持った学生の選抜枠を設定し医師定着を図ることを目的としている。

2. 変更点

(1) 附則

臨時定員の増加が恒久定員の増加と誤認さないよう、本則には恒久定員を記載し、臨時定員を含めた収容定員については附則に記載するため改正するものである。

東邦大学学則の変更部分の新旧対照表

改正後			現 行		
《略》			《略》		
(学生定員)			(学生定員)		
第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。			第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。		
(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)
医学部			医学部		
医学科	110	660	医学科	110	660
(計)	(110)	(660)	(計)	(110)	(660)
薬学部			薬学部		
薬学科	220	1,320	薬学科	220	1,320
(計)	(220)	(1,320)	(計)	(220)	(1,320)
理学部			理学部		
生物学科	80	320	生物学科	80	320
化学科	80	320	化学科	80	320
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280	物理学科	70	280
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)	(計)	(470)	(1,880)
看護学部			看護学部		
看護学科	102	408	看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)	(計)	(102)	(408)
健康科学部			健康科学部		
看護学科	60	240	看護学科	60	240
(計)	(60)	(240)	(計)	(60)	(240)
(総計)	(962)	(4,508)	(総計)	(962)	(4,508)
以下省略			以下省略		
附 則			附 則		
この学則は、昭和48年4月1日から施行する。			この学則は、昭和48年4月1日から施行する。		
《略》			《略》		
附 則			附 則		
1 この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規			1 この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規		

改正後		現 行																																													
<p>則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改正に伴う改正を含む) のうえ、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>但し、薬学部平成 26 年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。</p> <p>2 第 47 条の規定にかかわらず、平成 27 年度から同 31 年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>		<p>則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改正に伴う改正を含む) のうえ、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>但し、薬学部平成 26 年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。</p> <p>2 第 47 条の規定にかかわらず、平成 27 年度から同 31 年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成・年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>665</td> <td>670</td> <td>675</td> <td>680</td> <td>685</td> </tr> </tbody> </table>		平成・年度		27	28	29	30	31	医学部	入学定員	115	115	115	115	115	収容定員	665	670	675	680	685	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成・年度</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>665</td> <td>670</td> <td>675</td> <td>680</td> <td>685</td> </tr> </tbody> </table>						平成・年度		27	28	29	30	31	医学部	入学定員	115	115	115	115	115	収容定員	665	670	675	680	685
平成・年度		27	28	29	30	31																																									
医学部	入学定員	115	115	115	115	115																																									
	収容定員	665	670	675	680	685																																									
平成・年度		27	28	29	30	31																																									
医学部	入学定員	115	115	115	115	115																																									
	収容定員	665	670	675	680	685																																									
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請）のうえ、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 第 47 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から同 8 年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>		<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請）のうえ、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 第 47 条の規定にかかわらず、令和 2 年度から同 8 年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>690</td> <td>690</td> <td>685</td> <td>680</td> <td>675</td> </tr> </tbody> </table>		令和・年度		2	3	4	5	6	医学部	入学定員	115	115	110	110	110	収容定員	690	690	685	680	675	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>115</td> <td>115</td> <td>110</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>690</td> <td>690</td> <td>685</td> <td>680</td> <td>675</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度		2	3	4	5	6	医学部	入学定員	115	115	110	110	110	収容定員	690	690	685	680	675
令和・年度		2	3	4	5	6																																									
医学部	入学定員	115	115	110	110	110																																									
	収容定員	690	690	685	680	675																																									
令和・年度		2	3	4	5	6																																									
医学部	入学定員	115	115	110	110	110																																									
	収容定員	690	690	685	680	675																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>670</td> <td>665</td> </tr> </tbody> </table>		令和・年度		7	8	医学部	入学定員	110	110	収容定員	670	665	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和・年度</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>入学定員</td> <td>110</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>収容定員</td> <td>670</td> <td>665</td> </tr> </tbody> </table>						令和・年度		7	8	医学部	入学定員	110	110	収容定員	670	665																		
令和・年度		7	8																																												
医学部	入学定員	110	110																																												
	収容定員	670	665																																												
令和・年度		7	8																																												
医学部	入学定員	110	110																																												
	収容定員	670	665																																												
<p>《略》</p>		<p>《略》</p>																																													
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和 4 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>3 第 5 条の規定にかかわらず、令和 4 年度から同 9 年</p>		<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和 4 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>3 第 5 条の規定にかかわらず、令和 4 年度から同 9 年</p>																																													

改正後							現 行												
度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。							度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。												
学部・定員		令和・年度		4	5	6	7	8	学部・定員		令和・年度		4	5	6	7	8		
		医学部	入学定員	120	110	110	110	110			医学部	入学定員	120	110	110	110	110		
				収容定員	695	690	685	680	675					収容定員	695	690	685	680	675
学部・定員		令和・年度		9			学部・定員		令和・年度		9								
		医学部	入学定員	110					医学部	入学定員	110								
				収容定員			670							収容定員			670		
4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。							4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。												
附 則							附 則												
1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。							1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。												
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。							但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。												
2 この学則は、一部改正(医学部の地域枠臨時定員増の申請)のうえ、令和5年4月1日から施行する。							《追記》												
3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。																			
学部・定員		令和・年度		5	6	7	8	9	学部・定員		令和・年度		5	6	7	8	9		
		医学部	入学定員	122	110	110	110	110			医学部	入学定員	122	110	110	110	110		
				収容定員	702	697	692	687	682					収容定員	702	697	692	687	682
学部・定員		令和・年度		10			学部・定員		令和・年度		10								
		医学部	入学定員	110					医学部	入学定員	110								
				収容定員			672							収容定員			672		

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

東邦大学医学部の入学定員並びに収容定員は以下の通りである。

学部・学科	入学定員	収容定員
医学部医学科	110	660

令和5年度の入学定員増（12名）に伴い、令和5年度から令和10年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は以下の通りとする。

学部・定員		令和・年度					
		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

「経済財政改革の基本方針 2009」及び「新成長戦略」に基づき平成 22 年度から平成 31 年度までの医学部定員の暫定増の取扱いに伴い、本学医学部は平成 27 年度より千葉県医師修学資金貸付制度を利用した臨時定員 5 名の増員を行った。令和 2 年度及び同 3 年度の 2 年間に ついても臨時定員 5 名の再申請を行った。

令和 4 年度は、文部科学省より暫定的な措置として、再度の増員申請を認める方針が出されたため、千葉県地域枠 5 名、新潟県地域枠 5 名、計 10 名の地域枠臨時定員の申請を行った。

令和 5 年度は、令和 4 年度に続き文部科学省より暫定的な措置として、再度の増員申請を認める方針が出されたため、千葉県地域枠 5 名、新潟県地域枠 7 名、計 12 名の地域枠臨時定員を申請するものである。 (資料 1) (資料 2)

千葉県地域枠においては、平成 27 年度から令和 4 年度の 8 年間、募集定員 5 名を充足し、令和 3 年 3 月には地域枠学生初の卒業生 5 名を輩出し、令和 4 年 3 月にも 5 名を輩出した。現在、千葉県内の研修病院にてこの 10 名が初期臨床研修を開始し地域貢献の第一歩を踏み出している。内訳は、本学医学部附属病院である東邦大学医療センター佐倉病院 5 名、国立国際医療研究センター国府台病院 2 名、船橋市立医療センター、国立病院機構千葉医療センター、千葉大学医学部附属病院に 1 名ずつ在籍している。令和 5 年度に向けて千葉県の医師不足、地域偏在の現状を鑑み、継続して千葉県医師修学資金貸付制度を活用した医師確保の要請があり、千葉県と協議のうえ、千葉県地域枠 5 名の入学定員増を再申請する。

新潟県地域枠においては、令和 4 年度に向けて新潟県から打診を受けて、新潟県の医師不足や地域偏在の状況が全国の中でも極めて深刻であることを確認のうえ、本学が臨時定員増を行うことで解決の一助となり、社会貢献に繋がると確信し、新潟県との協議を経て、新潟県医師養成修学資金貸与制度を活用した臨時定員 5 名を増員した。令和 4 年度の実績から新潟県の医療に対する受験生、入学者の関心度が高いことが示された。令和 5 年度に向けて新潟県から更なる医師の育成と確保の要請があったことを踏まえ、改めて新潟県と協議のうえ、新潟県医師養成修学資金貸与制度を活用した新潟県地域枠 7 名の入学定員増を再申請する。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程の変更内容について

今回の臨時定員増加申請に伴い、現在の教育課程に変更はない。ただし、千葉県地域枠並びに新潟県地域枠で入学した学生に対して、5年次で行う「診療参加型臨床実習」における「地域医療実習」で、両県内の医療機関を選択することを義務づける。また、令和4年度に、1年次から3年次にて履修する選択科目に地域医療に特化した科目である『地域医療学』を新設した。地域医療の概要と千葉県および新潟県の地域医療における現状の理解のための座学と演習からなる科目であり、両県地域枠入学学生への履修を選択必修化する。

千葉県地域枠の学生は、夏期休暇期間に東邦大学医療センター佐倉病院で開催する『千葉県地域枠学生のための研修会』に参加し、印旛地区における地域中核病院である佐倉病院の地域医療提供体制について学ぶ。また、千葉県地域枠学生として本学を卒業した、現在研修中の初期研修医との意見交換会や千葉県キャリア形成プログラムに関する講演会への参加を求める。

新潟県地域枠の学生は、新潟県が行う新潟県地域医療夏季実習への参加が義務付けられるほか、新潟県の医療行政担当者、医師などから新潟県の地域医療についての現状と課題などを学べるよう新潟県地域医療セミナーへの参加を求める。

なお、新潟県地域枠入学学生が5年生となって臨床実習を行うのは令和8年度以降であるが、新潟県における学生受入れ病院として、新潟県立中央病院、新潟県立柿崎病院、長岡赤十字病院を確保し、新潟県地域枠最初の学生が臨床実習を迎える時期に先立ち、今年度からこれらの病院で5年次生4名が地域医療実習を行う。令和5年度以降も、地域枠学生以外にも新潟県の地域医療を学べる環境を整備・拡充することとしている。

(資料3)

[現在の教育課程の編成の考え方及び特色]

① 学部・学科の理念目的や教育目標との対応関係におけるカリキュラムの体系的性

本学部の教育目標「医学を通じて人類の福祉に貢献するために豊かな知性と深い医の倫理感に基づいた全人的医療が行える人間愛に満ちた『より良き臨床医』を育成する」を達成するためのカリキュラム編成としている。医学を学ぶための基礎を固めるため、1年次、2年次に医学準備・基礎医学統合科目を、2年次から3年次に臓器別臨床医学科目、4年次では臓器にとらわれない横断的臨床科目、3年次、4年次に社会医学科目を配置している。4年次より始まる「基本臨床実習」と「シミュレーション実習」並びに「臨床推論演習」を一体化することで、5年次から始まる「診療参加型臨床実習」を有効に実践するためのカリキュラム体制を整えている。

② 医師としての基本的な資質・能力の育成

医師としての倫理性・人間性を涵養するために、全学年を通して全人的医療人教育プログラムを導入している。1年次の早期から高齢者施設での体験実習、様々な臨床課題を用いた能動的学修を導入し、医療人としての自覚を高めるとともに倫理性を培っている。2年次では本学付属病院での臨床体験実習を導入し、臨床医学を学ぶための準備教育を充実させている。また、将来チーム医療に必要な医療従事者の相互理解やコミュニケーション力育成を目的に、多職種連携教育を推進している。5学部の4年次が合同で取り組む「チーム医療演習」や「生命倫理シンポジウム」を開講しているほか、薬学部や健康科学部との合同授業など学部間連携の充実を図っている。

人文系教養科目に関しては、「心理学」のみならず、「倫理学」、「法学」、「社会学」を必修科目として、幅広い視野を涵養するようなカリキュラムとしている。また、文理を問わない幅広い教養科目に関しては、1年次から3年次に選択科目制を取り入れ、学生のニーズに合った学修環境を提供している。年5単位を上限として9単位以上履修することができ、全学年を通じて、水曜日の午前が当てられ、学年を越えて選択でき、学修効果が上がるように配慮している。

(資料4)

医学・医療の国際化が進む中、本学は英語教育を重視している。1年次から4年次まで英語教育を配置し、一般的な英会話などの英語能力の修得から始まり、医学英語、診療現場で用いる実用医療英語へとスパイラル教育を行っている。4年次ではEnglish OSCEによる実用医療英語能力評価を導入している。

また、科学的探究心を涵養するために、本邦の医学部で初めて卒業論文を必修単位として導入している。昨今話題になっている数理データサイエンス教育に関しては、従前より数理情報学を必修として実施している。

③ 診療参加型臨床実習前医学専門教育

専門教育授業科目は、モデル・コア・カリキュラムに準拠し十分内容を満たす内容となっている。

医学準備科目と基礎医学科目を水平・垂直統合し、講義と実習を効率よく実施できるように構成し、従来から行ってきたPBLチュートリアルの実習も充実も図っている。また、臨床医学においても可能な限り水平統合を図り、効率の良い授業を行い、3年次末までに共用試験(CBTとOSCE)に充分対応できる能力の修得を図っている。5年次から始まる「診療参加型臨床実習」のための準備として、4年次から全科ローテーション型の「基本臨床実習」

(18週間相当)で医療現場の理解を深めながら、実地修練に必要な能力の向上ができるように、診療科だけでなく他職種の臨床現場(看護実習や医療安全、感染管理など)を経験できるように配慮している。また、「シミュレーション実習」で現場に即した臨床技能の向

上、「臨床推論演習」で診療参加に必須な臨床推論能力を高めるよう工夫している。

(資料 5)

④ 診療参加型臨床実習

「診療参加型臨床実習」は、5年次に必修診療科で32週行う実習と5年次末から6年次に選択診療科で16週行う実習とからなる。

「必修診療参加型臨床実習」(32週)では、付属病院コア診療科と地域医療を含めた8診療科を必修診療科と定め、臨床実習で医療チームの一員として活躍できるよう1診療科あたり4週間の期間での実習を実施している。特に、地域医療の実践能力を高められるように4週間の「地域医療実習」を確保していることは特徴的な点である。(資料6)

「選択制診療参加型臨床実習」(16週)では、付属病院の全ての診療科に加え、国内外の医療施設、研究施設での実習が可能であり、学生のキャリア形成支援に配慮した体制を作っている(ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度以降、国外の医療機関での実習は実施できていない)。

このような実践の場での学修機会を多く確保したカリキュラムにより、人間愛に満ちた『より良き臨床医』の育成を目指している。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容について

今回の臨時定員増加申請に伴い、現在の教育方法及び履修指導方法に変更はない。

[現在の教育方法]

学修成果基盤型教育に基づいて、学生には修得すべき能力を明示し、学生が自ら学修するような教育環境構築を目指している。

新型コロナウイルス感染症蔓延下での経験を受けて、大学における教育の在り方も変わりつつある。講義はオンライン授業(オンデマンド型)と双方向性授業を組み合わせ実施している。また、オンラインのオフィスアワーを設け、学生からの質問等に対応している。演習、実習は双方向性を担保するために可能な限り少人数を基本とし、全て対面形式で実施している。演習科目においては、アクティブラーニングを積極的に導入し、TBL(グループディスカッション)、PBLテュートリアルなどを取り入れている。

[履修指導方法]

全学生を対象とした履修指導として、1年次には入学式翌日に新入生ガイダンス、2年次から6年次には新学期初日に新学年ガイダンスを実施している。各学年次の担当責任

者（年次部会長）が、当該学年の履修科目、講義・演習・実習予定、履修基準・出席要件、評価方法の概略と試験予定、進級基準等を説明し、これらが格納されている学事システム（教育ポータル）、電子シラバス、出席管理システム、成績管理システム等の利用方法について説明している。また、教員は自主的にオフィスアワーを設定し電子シラバスに公開し、講義時間外にも学生からの接触に積極的な対応を心掛けている。

個々の学生への履修指導として、約 10 名に一人の教員をメンターとして配置し、定期的に面談を繰り返しながら、履修指導、生活指導など総合的な修学指導を行っている。また、年一回は、当該学生の保護者との面談を必須とし情報を共有することで、問題事象への早期対応を心掛けている。

（3）教員組織の変更内容について

令和 4 年 5 月 1 日現在の教員数は、専任教員 659 名（教授 97 名、准教授 72 名、講師 126 名、助教 364 名）、非常勤教員 20 名であり、令和 5 年度の入学定員が 122 名で収容定員が 702 名に達した場合においても、教員 1 名に対する学生数（ST 比）が 1.07 であり、本学医学部教育のための教員数は十分確保されており、現在の教員組織に変更はない。

[現在の教員組織の編成の考え方及び特色]

教員組織は、医学準備教育を担う一般教育系と、医学専門教育を担う基礎医学系（社会医学系を含む）と臨床医学系の大きく 3 つの系で編成している。

一般教育系：医学教育に直結する自然科学（物理学、化学、生物学）、心理学、英語学の医学部専任教員を配置している。これら専任教員は、多様化する入学者の資質に合わせ、個性を伸ばし、不足を補い、医学教育への導入教育に当たっている。教員が不在の教育領域については兼任または非常勤教員で補っている。

基礎医学系：教育上必要とされる全ての科目に対して 17 の講座・研究室・分野が配置され、学生数に十分に見合った教員数が定員化されており、充足されている。

臨床医学系：3 つの付属病院の診療科を母体として診療・教育・研究面から 34 の講座・研究室・分野とする組織体制としている。教育課程に必要とされる教育分野が置かれ、学生数に対して必要な教員数が定員化されており、各講座・研究室・分野ともに定員はほぼ充足している。

上記 3 つの系に加え、臨床実習運営管理センター、卒後臨床研修／生涯教育センターを置き、卒前教育から卒後教育のシームレスな教育を行うとともに、学部教育の目標達成、質の向上のため、医学教育センター、教育 IR センターを置き、これらが一体となって活動している。

(4) 施設、設備の変更内容について

今回の臨時定員増加申請に伴い、現在の施設、設備等は変更することなく、令和 5 年度の入学定員 122 名、収容定員 702 名の学修環境は整備されている。

今年度末までに ICT を活用した学修や小グループ学修の更なる強化を目指し、小グループ討論用教室 (SGDR) の拡張整備を行う予定である。 (資料 7)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

- 資料 1 令和 5 年度入学定員増員計画（写し）
- 資料 2 地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書（写し）
- 資料 3 カリキュラムマップ
- 資料 4 2022 選択科目一覧・地域医療学 I シラバス
- 資料 5 基本臨床実習シラバス等
- 資料 6 必修診療参加型臨床実習シラバス等
- 資料 7 教育施設一覧

大学名	国公立
東邦大学	私立

1. 現在(令和4年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
120	0	0	695

↑
(収容定員計算用)

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(ア)入学定員	115	115	115	115	115	120	695
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	115	115	115	115	120	695

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和5年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	660

↑
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	110	110	110	110	110	110	660
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	110	660
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

3. 令和5年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
122	0	0	672

↑
(収容定員計算用)

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	計
(ア)入学定員	122	110	110	110	110	110	672
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	122	110	110	110	110	110	672
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

増員希望人数	12
--------	----

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	12
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
計	12

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 12

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県		
大学所在地以外の都道府県	千葉県	5
	新潟県	7
計		12

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R3とR4の貸与者数のうち多い方の数
千葉県	5	5	5	5	5
新潟県	0	0	5	5	5
					0
					0
					0
計	5	5	10	10	10

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和5年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和3年度に実施した地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
一般入試(千葉県地域枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	5	5	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	・入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。	R1	
推薦入試(公募制-新潟県地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	3	3	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者。 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2~3日間程度)に毎年(1~5年生まで)必ず参加すること。	R3	
一般入試(新潟県地域枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者。 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2~3日間程度)に毎年(1~5年生まで)必ず参加すること。	R3	
合計			10	10				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和4年度に実施する地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
				うち臨時定員分				
推薦入試(公募制—千葉県地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	3	3	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	・入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	R4	
一般入試(千葉県地域枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	・入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	R1	
推薦入試(公募制—新潟県地域枠)	(i)学校推薦型選抜	別枠(先行型)	5	5	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2～3日間程度)に毎年(1～5年生まで)必ず参加すること。	R3	
一般入試(新潟県地域枠)	(iii)一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者。 ・入学を確約できる者。 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名立てることができる者。 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2～3日間程度)に毎年(1～5年生まで)必ず参加すること。	R3	
合計			12	12				

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和5年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には選択科目で開講している「地域医療学」の受講を義務付けており、地域医療の実態を学ぶプログラムを組んでいる。4年次に行う全科ローテーション型の「基本臨床実習」では、医療現場の理解を深めながら千葉県北東部の地域医療の拠点である東邦大学医療センター佐倉病院で実習を行う。5年次には「必修診療参加型臨床実習」において地域医療の実践能力を高められるように4週間に渡る地域医療実習を実施し、地域枠学生においては千葉県、新潟県の教育関連病院、診療所における実習を義務付ける。

(参考:記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成27年度から千葉県地域枠による増員を開始し、令和4年度までに40名の地域枠学生を確保した。そのうち10名が初期臨床研修医として千葉県内の研修病院に在籍している。令和4年度からは新潟県地域枠による増員も開始し、5名の地域枠学生を確保した。

(参考:記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	地域医療学 I	全員	選択必修	選択	実習	1	R4
4	基本臨床実習	全員	必修	必修	実習	21	R1
5	必修診療参加型実習	全員	必修	必修	実習	40	R2

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。)
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和4年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合) その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
千葉県	5	新入生	200,000	14,400,000	大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間(義務年限)所定の医療機関に勤務したとき。	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	×		大学が貸与者(=入学者)を選抜
新潟県	7	新入生	300,000	21,600,000	・卒業後2年以内に医師免許を取得すること。 ・医師免許取得後、直ちに県内の病院で臨床研修に従事すること。 ・臨床研修修了後、直ちに指定する医療機関に勤務すること。 ・指定勤務期間:9年間(臨床研修の2年間を含む)	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	×		大学が貸与者(=入学者)を選抜 診療科については内科・総合診療科等を推奨

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例:在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1～2に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

・本学付属校(千葉県)にて入試説明会を実施し、地域枠制度を周知しているほか、新潟県主催のオンライン地域枠入試説明会に参加し、志願者確保に努めている。
・新潟県内の高校や予備校での進学相談会に参加するとともに、本学志望者へのDM送付を予定している。

医第1213号
令和4年8月16日

厚生労働省医政局長 様

千葉県健康福祉部長
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和4年8月10日付け4文科高第627号、医政発0810第4号に基づき、下記のとおり、令和5年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

34名

- ・千葉大学医学部における地域枠 : 15名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 5名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 2名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 5名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 7名

千葉県健康福祉部医療整備課
医師確保・地域医療推進室 渡辺
電話 : 043-223-3883
FAX : 043-221-7379
E-mail : d-chibank@mz.pref.chiba.lg.jp



医 看 第 234 号
令和4年8月18日

厚生労働省医政局長 様

新潟県福祉保健部長

地域の医師確保ための入学定員増に係る誓約書

令和4年8月10日付け4文科高第627号、医政発0810第4号に基づき、下記のとおり、令和5年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

○増員数

70名

- ・新潟大学医学部における地域枠 : 40名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 1名
- ・関西医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・昭和大学医学部における地域枠 : 7名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 7名
- ・東京医科大学医学部における地域枠 : 3名
- ・杏林大学医学部における地域枠 : 3名
- ・北里大学医学部における地域枠 : 3名
- ・日本医科大学における地域枠 : 2名
- ・日本大学医学部における地域枠 : 2名

新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課

担当：医師確保係長 岡村

電話：025-280-5960

メール：ngt040290@pref.niigata.lg.jp

東邦大学医学部 学習要項 (2022年度)

東邦大学医学部教育目標 > 各学年の学修目標 >

履修について >

カリキュラム >

評価と試験について >

資料 >

履修について

履修について

1年次 > 2年次 > 3年次 > 4年次 > 5年次 > 6年次 >

東邦大学 履修規程

東邦大学 履修規程 (東邦大学HP) [🔗](#)

試験日程について

- 1年次
I期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ II期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ III期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ 最終 [📄](#) [2022/06/01 更新]
- 2年次
I期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ II期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ III期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ 最終 [📄](#) [2022/06/01 更新]
- 3年次
I期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ II期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ III期 [📄](#) [2022/06/01 更新] ・ 最終 [📄](#) [2022/06/01 更新]
- 4年次
本試・再試 [📄](#) [2022/06/01 更新]
- 5年次
- 6年次

カリキュラム

1年次 > 2年次 > 3年次 > 4年次 > 5年次 > 6年次 >

選択科目概要 > 選択科目一覧 > 履修系統図 (カリキュラム・ツリー) [📄](#)

ユニットの科目達成レベルについて [📄](#)

ナンバリング制度 (東邦大学HP) [🔗](#)

医学部授業科目 (ユニット) ナンバリング一覧表 [📄](#) (PDFファイル・199KB) [2022/05/18 更新]

出席制度について > FTと自主学習の促進 >

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
医学準備・基礎医学統合科目	臨床医学科目		基本臨床実習	必修診療 参加型 臨床実習	選択診療 参加型 臨床実習	統合型臨床 医学演習
人文・社会学	社会医学科目					統合型社会 医学演習
英語						
全人的医療人教育科目						
能動的学習科目						
医学系自由選択科目/卒業論文						
教養科目 (選択科目)						
	2年次総合試験		CBT OSCE	4年次総合試験 English OSCE	5年次総合試験	卒業試験 臨床実習後OSCE

評価と試験について

評価について

[教育の評価](#) >

[GPA制度について（東邦大学HP）](#) [🔗](#)

[東邦大学医学部におけるGPA（Grade Point Average）の実施について](#) >

試験について

[受験の心得](#) >

定期試験日程

- 1年次 I期・II期・III期・最終
- 2年次 I期・II期・III期・最終
- 3年次 I期・II期・III期・最終
- 4年次 本試・最終・再試

資料

[医師国家試験関連、モデルコアカリキュラムおよび共用試験ならびに体験プログラム、教育関連資料（文科省など）](#) >

(C) COPYRIGHT TOHO-UNIVERSITY ALL RIGHTS RESERVED.

2022年度選択科目一覧表

16カリ 科目名	サブタイトル	授業形態	単位	学期		16カリ対象 (学年)	定員	教員 (非常勤、兼担)	備考
				春	秋				
選択人文・社会学Ⅰ	哲学	講義	1	○		1～3年生	60	大沢(非)	
選択人文・社会学Ⅱ	宗教学	講義	1	○		1～3年生	60	奥山(非)	
選択人文・社会学Ⅲ	言語学	演習	1		○	1～3年生	20	伊藤(非)	
選択人文・社会学Ⅳ	経済学	講義	1	○	○	1～3年生	20	田倉(非)	
選択芸術Ⅰ	音楽	講義	1		○	1～3年生	40	井上(非)	
選択芸術Ⅱ	美術	講義	1	○	○	1～3年生	40	細野(非)	
医学教養Ⅰ	NEJM Case Recordsを読む	演習	1		○	3年生	8	三上	11/30のみ大学院講堂で行う。
医学教養Ⅱ	航空宇宙医学	講義	1	○		1～3年生	40	三井(非)	
医学教養Ⅲ	新・赤ちゃんを巡るところとからだ	講義	1		○	1～3年生	40	増本	
医学教養Ⅳ	感染症領域におけるトランスレーショナルリサーチTopics	講義	1	○		1～3年生	40	石井	
医学教養Ⅴ	脳の都市伝説を検証する	演習	1	○		3年生	10	武井、中瀬古	
医学教養Ⅵ	臨床医学に役立つ複雑系科学入門	講義	1	○		1～3年生	40	瓜田	
医学教養Ⅶ	スポーツ科学演習	演習	1		○	1～3年生	20	只野	
医学教養Ⅷ	東洋医学概論	講義	1	○	○	1～3年生	20	田中	
選択化学Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	岡	
選択化学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	池崎	
選択生物Ⅰ		講義	1	○		1年生	40	平	
選択生物Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	中村(真)	
選択物理		講義	1		○	1～3年生	40	能川	
選択数学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	津熊	
選択数学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	津熊	
選択環境科学Ⅰ		講義	1	○		1～3年生	40	大越、脇、安立(兼)	
選択環境科学Ⅱ		講義	1		○	1～3年生	40	平	
英会話		演習	1	○	○	1～3年生	30	Fialka、Leyte、堀川(非)	
Listening Skills		演習	1	○	○	1～3年生	15	Fialka(非)	
Cross Cultural Communication		演習	1	○	○	1～3年生	15	Leyte(非)	
Writing		演習	1	○	○	1～3年生	10	堀川(非)	
フランス語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	伊藤(非)	
フランス語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	伊藤(非)	
ドイツ語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	井口(非)	
ドイツ語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	井口(非)	
中国語Ⅰ		演習	2	○(通年)		1～3年生	20	小澤(非)	
中国語Ⅱ		演習	1	○	○	1～3年生	20	小澤(非)	
海外英語集中コース*集*外		-	(注)	○		単位認定科目		佐々木	
英語検定		-	1	○	○	単位認定科目		武井	
学生テュータ養成講座*集		演習	1		○	2年生	27	池崎	
実用医療英語*受*集		演習	1	○		2～3年生	5	富田	
チーム医療演習*受*集*外		演習	1	○		2～3年生	7	廣井	
データサイエンス実践入門*受*集		演習	2	○		1年生	6	廣井	新規追加科目
地域医療学Ⅰ*受*集*外		演習	1	○(通年)		1年生	15	中村(陽)	新規追加科目

注意事項

- *集: 集中講義や土曜日開講科目など水曜日選択科目開講時間外に設定されている科目
当該科目の講義計画(日付)で確認すること
- *外: 学外履修
- *受: 履修登録において、選択科目システムを利用しない

その他の注意事項

- ・英語検定/英語検定(TOEFLコース)は16カリでは1単位となります
- ・海外英語集中コースは16カリでは1単位となります

・16カリにおいて、他大学で取得した単位の振替え、実用医療英語、チーム医療演習、データサイエンス実践入門、地域医療学Ⅰ、英語検定、海外英語集中コースの単位は学年の上限登録単位に含まない

| ユニット名称：[MM620-101] 地域医療学Ⅰ (2022年度)

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	1	科目授業期間	春学期	科目時限数	15	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県・千葉県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県・千葉県における医療現場における、多職種役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県・千葉県における救急医療、在宅医療及び離島・僻地医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県・千葉県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, 1h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2022年4月入学以後の地域枠学生は選択科目の中で、「選択」として1、2、3を受講することができる。通年での開催として各県の特別プログラム以外に前期1回、後期2回+aの土曜日の演習形式での授業とする（各県の特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。45時間の学修で1単位）。なお地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県・千葉県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

地域医療各県プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。各県プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。

発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

ユニット名称：[MM621-403J] 基本臨床実習（実践的教育から構成する授業科目）（2022年度）

ユニット責任者	並木 温					
ユニット対象学年	4	ユニット授業期間	ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

ユニットの学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 実習を通して医師としての職責を理解し、医師として必要とされる態度・思考を身につける。	3-e
02 患者をはじめ、医療チームとの信頼関係の構築のためのコミュニケーションの重要性を理解する。	3-h
03 患者中心の医療システムを理解する。	3-d
04 医療現場での多職種連携（チーム医療）の重要性を理解する。	3-f
05 安全な医療の提供に向けた院内のシステムと各部署の取り組みを理解する。	1-f, 2-j
06 個人情報の取扱いの重要性を理解する。	3-a,b
07 基本的な診察法、検査法、手技を、臨床現場で円滑かつ適切に実践できるようにする。	2
08 実習を通して、自分に不足している知識、技能、態度を認識し、自己学修の課題にすることができる。	1,3-e, 4-f
09 進むグローバル化に向けて、異文化・宗教にも配慮し、患者・家族と良好なコミュニケーションをとることができる。	6-a,b

ユニットの科目達成レベル

ユニットについて

基本臨床実習は、患者と接しながら知識や技能を、そして医療の在り方を学ぶ実習である。医学部3年生までに学んだ知識を基盤として展開される。

東邦医療センター3病院の36診療科・部門で実習する（3日間/1診療科・部門）。診療科のみならず病院におけるいくつかの部門での実習も計画されており、多職種の関与する医療の在り方も学ぶことを期待している。

基本臨床実習は、5年生から開始される診療参加型臨床実習に向けた準備実習の位置付けとなる。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

3年生までに学修した各臨床科目、全人的医療人教育などの知識・技能・態度が身につけていることが求められる。

ユニットの評価について（フィードバック含む）

実習全体に関わる評価（5項目：時間遵守に関する態度、積極性・協調性に関する実習中の態度、患者との関係構築に関する実習中の態度、学習意欲に関する評価）を、ルーブリック評価表を用いて5段階で評価する。また各診

療領域に関わる評価（3～5項目）を、ルーブリック評価表を用いて5段階で評価する。

両者合わせて100点満点であり、全ての診療科・部門での平均点数が60点以上であることが合格基準となる
さらに概略評価を7段階で行う（医師にはいけないレベル：0点 不合格：1点 学生としてボーダーレベル：2点 学生として合格点：3点 学生として優れている：4点 研修医として合格点：5点 研修医（医師）として優れている：6点。

合格基準はすべての診療科・部門の平均点が3点以上であること、かつ1点が1つ以下で0点がないことである。
最終的な評価はS,A,B,C,F,F-で判定する。

フィードバックは臨床現場においては適時指導医から、また各診療科・部門での実習終了時に行われる。

指定教科書他

各診療科・部門ごとに指定される。詳しくは電子シラバスの「実習一覧」から参照すること。

ユニット名称：[MM621-501J] 必修診療参加型臨床実習（実践的教育から構成する授業科目）

ユニット責任者	並木 温						
ユニット対象学年	5	ユニット授業期間		ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

ユニットの学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 病歴を聴取して身体診察を行うことができる。	2-a,b
02 鑑別診断を想定することができる。	2-c
03 基本的な検査の結果を解釈することができる。	2-d
04 処方計画を行うことができる。	2-e
05 診療録（カルテ）を記載することができる。	2-h
06 患者の状況について口頭でプレゼンテーションすることができる。	2-h
07 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集することができる。	5-e
08 患者の申し送りを行い、受け取ることができる。	3-i
09 多職種チームで協働することができる。	3-f
10 緊急性の高い患者の初期対応を行うことができる。	2-g
11 インフォームド・コンセントを得ることができる。	3-i
12 基本的臨床手技を実施することができる。	2-b
13 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献することができる。	2-i

ユニットの科目達成レベル

ユニットについて

5年生における診療参加型臨床実習は、医師という職業者について、医師が行うことを手伝えること（assistantship）で、医師になるために必要な能力を養う実習である。学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的としている。単なる知識・技術の修得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立ったときに必要とされる診断および治療等に関する思考・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。必修診療参加型実習は、内科A（大森病院内科系診療科）4週、内科B（大橋病院または佐倉病院内科系診療科）4週、外科（大森病院または大橋病院または佐倉病院外科系診療科）4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、総合診療科2週/救急科2週の8診療科と地域医療実習4週で構成される（計32週）。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

4年生までに学修した各臨床科目、全人的医療人教育などの知識・技能・態度が身につけていることが求められる。

ユニットの評価について（フィードバック含む）

臨床現場における形成評価として、内科系診療科ではMini-CEXとCbD、外科系診療科ではDOPSとCbD、地域医療ではP-MEXが施行されてその都度フィードバックされる。

総括評価としては、項目評価5項目（知識、実技技能、考察、プレゼンテーション、プロフェショナリズム）を各々6段階評価で100点満点、概略評価は7段階で行う（医師にしてはいけないレベル：0点 不合格：1点 学生としてボーダーレベル：2点 学生として合格点：3点 学生として優れている：4点 研修医として合格点：5点 研修医（医師）として優れている：6点）。

合格基準は、全ての診療科の項目評価の平均点が60点以上であり、また全ての診療科の概略評価平均点が3点以上であること、かつ1点が1つ以下で0点がないことである。

フィードバックは臨床現場においては適時指導医から、また各診療科・部門での実習終了時に行われる。

指定教科書他

基本的なものは各診療科・部門ごとに指定される。詳しくは電子シラバスの「実習一覧」から参照すること。

症例についての学修は教科書にないものが多くなる。その場合、指導医から提示されるもの、メディアセンターの資料・文献を利用する、UpToDateなどのメディアセンターで契約しているWeb上のDatabaseを利用する、などがあげられる。

令和4(2022)年度M5診療参加型臨床実習日程表

Table with columns for Group (グループ), Date (Date), and various medical specialties (e.g., Internal Medicine, Surgery, Pediatrics). It details the schedule for the 5th year of the M5 program from April to June 2022, and the 6th year from April to June 2023. The table is organized into blocks for each year and includes specific dates and specialty assignments.

★大森小児科：1週間は犬森新生児(2名ずつ)
※大森内科：1週間は美芝立病院(非之浦病院)
※大森精神：3週目は美芝立病院(非之浦病院)
※東部病院：2週目は西井病院(武田病院)

※休日の取扱い
※1日1科目は原則実習は行わない
但し、創立記念日等は実習実施地にあわせると

医学部医学科の施設等

医学科教育用施設等一覧表

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m ²)	用 途	備 考
講義室					
第 1	2号館M3F	156	241	講 義	
第 2	2号館M2F	156	241	講 義	クリッカー
第 3	3号館地下1F	130	135	講 義	
第 4	3号館地下1F	130	135	講 義	
大学院講堂 (共用)	本館3F	103	186	講 義	
多目的室					
第 1	2号館M2F	56	198	多目的	
第 2	2号館M3F	35	92	多目的	
第 3	2号館M3F	35	74	多目的	
第 4	3号館2F	38	63	多目的	
第 5	本館3F	60	106	多目的	
第 6	本館3F	35	63	多目的	
実習室					
第 1	2号館M2F	124	448	学生実習	顕微鏡130台
第 2	2号館M2F	128	451	学生実習	
第 3	2号館M3F	134	376	学生実習	パソコン130台、顕微鏡130台
第 4	2号館M3F	120	571	学生実習	
解剖実習室	2号館7F	132	450	学生実習	解剖台22台
SDL室					
1	本館1F	8	17.7	多目的	
2	本館1F	8	13.4	多目的	
3	本館1F	8	16.3	多目的	
4	本館1F	8	15.4	多目的	
5	本館1F	8	15.9	多目的	
6	本館1F	8	15.4	多目的	
7	本館1F	8	15.4	多目的	
8	本館1F	8	15.4	多目的	
9	本館1F	8	15.4	多目的	
10	本館1F	8	14.9	多目的	

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m ²)	用 途	備 考
S D L室センター					
S601～S612 (12室)	1号館6F	8	18	多目的	
N601～N615 (15室)	1号館6F	8	18	多目的	
S T L室					
STL (10室)	学生会館 4F	6	18	多目的	
臨床技能学修センター					
模擬診察室 (6室)	2号館M2F	10	22～23	多目的	
セルフトレーニングスペース	2号館M2F	10	130	多目的	各種シミュレーター
医学メディアセンター					
自習ブース (セルフラーニング)	2号館M1F	96	248	多目的	
自習ブース (リサーチスクエア)	2号館M1F	84	1035	多目的	

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

① 定員の充足の見込み

千葉県地域枠の選抜は、平成 27 年度から令和元年度までは入学後に希望者を募集し選抜する方法（手上げ方式）としていたが、令和 2 年度以降は一般入試（別枠-区別型）に変更した。結果、令和 2 年度 93 名、令和 3 年度 132 名、令和 4 年度 87 名の志願者が得られ、地域医療に貢献したいという強い意志を持った学生を確保することができている。また、本学は千葉県船橋市に薬学部、理学部、健康科学部からなるキャンパスを置き、千葉県内に従事する医療人材教育に当たっている。さらに、本学医学部付属の医療センター佐倉病院は、千葉県印旛二次保健医療圏八街地区の中核施設（地域医療支援病院）として地域医療に貢献している。これらのことから今後も安定した地域枠学生を確保できる訴求力を有している。

（資料 8）

新潟県地域枠の選抜は、令和 4 年度から推薦入試（別枠-先行型）および一般入試（別枠-区別型）で実施し、令和 4 年度は推薦入試で 34 名、一般入試で 48 名の志願が得られた。資料 9、資料 10 の通り、過去 5 年間の新潟県出身の入学者数並びに令和 4 年度在学学生数は決して多くはないが、令和 4 年度は新潟県内の志願者数が増加している。新潟県地域中核病院と連携し本年度から先行実施する診療参加型臨床実習など、新潟の地域医療と本学部の特徴を積極的に広報することにより、新潟県からの志願者はもとより他の地域からの志願者確保も努める。

（資料 9）（資料 10）

地域枠以外の学生の中にも、千葉県医師修学資金貸付制度（長期支援コース（一般枠））に志願する学生が令和 2 年度 4 名、令和 3 年度 4 名、令和 4 年度 2 名いることから、少しずつではあるが地域医療に関心の高い学生が増えている状況も、今後地域枠入試の志願に結び付く要因になると考えている。

（資料 8）

令和 5 年度の入試選抜方法は、千葉県、新潟県ともに一般入試（別枠-区別型）で選抜するほか 11、12 月に学校推薦型入試（別枠-先行型）を実施することで本学に対する志望度が高く、かつ地域医療に対する意識の高い学生を確保する見込みである。

（資料 11）

○推薦入試（公募制-千葉県地域枠、新潟県地域枠）

募集定員：千葉県 3 名、新潟県 5 名

1 次試験：令和 4 年 11 月 18 日（金）、2 次試験：12 月 3 日（土）

試験科目：基礎学力、適性試験（1 次）、面接（2 次）

○一般入試（千葉県地域枠、新潟県地域枠）

募集定員：千葉県 2 名、新潟県 2 名

1 次試験：令和 5 年 2 月 7 日（火）

2 次試験：令和 5 年 2 月 15 日（水）・16 日（木）のいずれか 1 日

試験科目：理科、数学、外国語、基礎学力（1 次）、面接（2 次）

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

本学医学部の過去 5 年間における志願者数の推移は、資料 9 の通りである。毎年一般入試では、2,500 名程度の志願者を得ており、高い倍率を維持している。令和 3 年度から導入した総合入試、同窓生子女入試においても、十分な志願者を得て、アドミッション・ポリシーに則った多様で優秀な学生を確保することができている。（資料 12）

また、入学定員に対する充足率は資料 13 の通りで、6 年間の平均入学定員超過率は 1.0 倍である。（資料 13）

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

学生募集に際し、医学部ホームページによる情報発信（入試情報、地域枠医師修学資金貸与制度に関する詳細な情報、教育内容、学納金など）に努めている。また、医学部系予備校や受験業者主催の進学相談会への積極的な参加、本学資料請求者への DM 送付（全国）、高等学校及び予備校への広報として資料の送付（関東圏）を計画しているほか、認可申請提出後にはプレスリリースを行う予定である。（資料 14）

新潟県に特化した広報活動としては、8 月中旬に新潟県が主催したオンライン入試説明会に参加した。今後も新潟県が主催するオンラインでの高校教員向け説明会に参加する予定である。

オープンキャンパスでの情報発信にも努めている。毎年夏期に開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年は以前のような形式で実施できていない。令和 4 年度は、令和 3 年度に引き続き、事前予約制で人数制限を行った。可能な限り来場者枠を増やし、実体験できるような企画を多く取り入れ、本学の教育に関心を持ってもらえるよ

う工夫して実施した。今後、10月と12月には施設見学会を開催し、大学の教育環境や雰囲気
を直接確認できる機会を設けるとともに、見学会後には個別相談会も開催し、地域
枠入試の周知に努める予定である。 (資料 15)

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的

〔人材の養成に関する目的〕

人間愛と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる「より良き臨床医」を育成、輩出する。

〔教育研究上の目的〕

教育に関しては、教養、人間愛と人間性を涵養するとともに、高い専門性をもった課題探求・問題解決能力と、変化に対応できる生涯学習能力を育成することを目的とする。

研究に関しては、研究の高度化とともに重点化・拠点化を目指す。

(2) 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

地域における医師不足の解消は喫緊の課題であり、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月15日閣議決定）及び「令和4年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について（通知）」（令和3年10月13日付け3文科高第632号文部科学省高等教育局長、医政発1013第1号厚生労働省医政局長通知）を踏まえ、地域の医師確保の観点から、令和5年度の医学部入学定員の増加について取り扱う旨の通知が発出された。これを受けて、本学医学部は、地域の医師確保のための入学定員増により、千葉県及び新潟県と連携して、地域医療に貢献する明確な意思を持った人材を養成することとしている。このような確固たる医療の実践能力と人間愛と豊かな人間性を携え、社会に貢献できる「より良き臨床医」を育成し、優秀な人材を輩出することを掲げる本学の目的と合致するもので、正に社会的、地域的な人材需要に応えることができると考える。 (資料16)

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 資料 8 千葉県医師修学支援資金受給者の状況
- 資料 9 過去 5 年間の志願者数（千葉県・新潟県出身者数）
- 資料 10 令和 4 年度東邦大学医学部在学学生数（千葉県・新潟県出身の在学学生数）
- 資料 11 東邦大学医学部学生募集要項（地域枠のみ）2023 抜粋（案）
- 資料 12 入学志願者等の推移
- 資料 13 医学部医学科の定員充足率等
- 資料 14 地域枠入試チラシ
- 資料 15 オープンキャンパス・入試説明会・施設見学会参加者状況
- 資料 16 地域の医師確保等の観点からの令和 5 年度医学部入学定員の増加について（通知）

千葉県医師修学支援資金貸付制度対象学生の状況

年度	一般入試（地域枠）		長期支援コース （一般枠） 志願者数	「東邦大学医学 部千葉県地域枠 学生のための研 修会」 出席者数	千葉県 就職者数
	定員 （受給者）	志願者数			
令和4年度	5	87	2	13	5
令和3年度	5	132	4	オンライン研修会 17	5
令和2年度	5	93	4	新型コロナの影響で 中止	—

年度	長期支援コース（地域枠）		長期支援コース （一般枠） 志願者数	「東邦大学医学 部千葉県地域枠 学生のための研 修会」 出席者数	千葉県 就職者数
	定員 （受給者）	志願者数			
令和元年度	5	6	1	10	—
平成30年度	5	5	0	15	—
平成29年度	5	8	0	8	—
平成28年度	5	15	—	10	—
平成27年度	5	8	—	5	—

- 千葉県医師修学支援資金貸付制度の対象学生は、平成27年度～令和4年度の8年間で40名であり、一定基準の成績を収め、留年者は1名に留まっている。
- 1～3年生の対象学生に対しては、毎年夏に佐倉病院において「千葉県地域枠学生のための研修会」を実施しており、令和4年度入学生からは選択科目「地域医療学」のプログラムとして履修を義務付けている。
- 長期支援コース（一般枠）の志願者も毎年一定数いる。

過去5年間の志願者数と入学者数（千葉県、新潟県出身者）

(人)

年度	志願者数								入学者数	
	一般入試	一般入試 (千葉県地域枠)	一般入試 (新潟県地域枠)	総合入試	同窓生子女入試	推薦入試 (公募制) 新潟県地域枠)	【内訳】 千葉県出身者数	【内訳】 新潟県出身者数	【内訳】 千葉県出身者数	【内訳】 新潟県出身者数
令和4年度	2,169	87	48	69	55	34	193	66	10	1
令和3年度	2,415	132	—	92	65	—	224	29	5	1
令和2年度	2,696	93	—	—	—	—	228	34	4	1
令和元年度	2,673	—	—	—	—	—	185	27	6	0
平成30年度	3,193	—	—	—	—	—	209	39	3	0

※推薦入試（付属校制）を除く

令和4年度 東邦大学医学部在学学生 千葉県/新潟県出身の在学学生数

(人)

年次	学生数	千葉県出身者数 [※]	新潟県出身者数
1年次	129	27	1
2年次	114	17	1
3年次	119	23	0
4年次	113	21	0
5年次	115	17	0
6年次	119	21	0
計	709	126	2

※推薦入試（付属校制）による入学者を含む

(抜粋・案)

2023年度

学生募集要項

医学部

推薦入試(公募制—千葉県地域枠)

推薦入試(公募制—新潟県地域枠)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、選抜方法等が変更になる場合があります。
変更があった場合には本学ホームページにて告知いたしますので、必ずご確認ください。



東邦大学

2023年度 医学部入学試験概要

募集人員・試験日程

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
総合入試	約10名	郵便受付： 2022年11月1日(火)～ 2022年11月4日(金)必着 窓口受付： 2022年11月4日(金) 9：00～17：00	1次試験： 2022年11月18日(金) 試験場：大森キャンパス 2次試験： 2022年12月3日(土) 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2022年11月25日(金) 正午 2次試験： 2022年12月7日(水) 正午
同窓生 子女入試	約5名			
推薦入試 (公募制- 千葉県 地域枠)	3名			
推薦入試 (公募制- 新潟県 地域枠)	5名			
推薦入試 (付属校制)	約25名	学校長を經由して出願		学校長を經由して 発表
一般入試	約70名*	郵便受付： 2023年12月12日(月)～ 2023年1月27日(金)必着 窓口受付： 2023年1月26日(木)・27日(金) 9：00～17：00	1次試験： 2023年2月7日(火) 試験場：五反田TOCビル 大森キャンパス 2次試験： 2023年2月15日(水)・16日(木) のいずれか1日 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2023年2月10日(金) 正午 2次試験： 2023年2月18日(土) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名*			
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名*			

※総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試の募集人員に充てます。

※推薦入試（公募制-千葉県地域枠）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（千葉県地域枠）の募集人員に充てます。

※推薦入試（公募制-新潟県地域枠）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（新潟県地域枠）の募集人員に充てます。

入試についてのお問い合わせ

東邦大学医学部入試係

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号 電話 03-5763-6670（直通）

入試当日の電車遅延等の緊急対応については
ホームページのトップに情報を逐次公開します。

<https://www.toho-u.ac.jp/>

医 学 部

建 学 の 精 神

「自然・生命・人間」

教 育 の 理 念

「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」

アドミッション・ポリシー

本学の建学の精神である「自然・生命・人間」を礎に、自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間としての謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るため、豊かな人間性と均衡のとれた知識と技能を有する「より良き臨床医」の育成を医学部の教育目標に掲げています。

医学部は、この教育目標を達成するために、医学知識および技能の教育にとどまらず、患者中心の医療を実践するための幅広い教養教育に基づいた豊かな人間性を涵養します。そして、少人数グループによる課題解決型学習を通して、進歩し続ける医学・医療に対応できるだけでなく、患者やその家族、他職種からの深い信頼を得られる医師を養成します。さらに、多様な語学教育を通じて、異なる文化・民族的背景を持つ人々への医療を提供できる人材の育成に努めます。

そこで、本学部は、以下のような資質を備えた人材を積極的に受け入れます。

入学者に求める能力

医学的知識：医学的知識を修得するために必要な基礎学力を有している。

実践能力：医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。
自らの行動を振り返り、主体的に自身の行動を改善する姿勢を有している。

患者対応能力：他者の価値観を尊重する姿勢を有している。

他者と良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を有している。

科学的探究心：自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。

事実や意見、データなどから、適切な情報を読み解く力と、問題意識に基づいてまとめる力を有している。

社会・地域への貢献：社会情勢に対する強い興味・関心を有している。

地域・社会における医療の役割を積極的に考える姿勢を有している。

国際性：異なる文化・民族的背景を持つ人に配慮する姿勢を有している。

外国語の修得に熱心である。

カリキュラム・ポリシー

医学部は、成熟社会の健康医療を推進できる人間的な温かさと高い実践能力を持った『より良き臨床医』の育成を目指しています。2016年度から導入される新しいカリキュラムでは、臨床実習を4年次から行い、実習内容を量・質ともに充実させ、医師としての基礎力の向上を図ります。また増大する医学的知識に対応するためには、能動学習を生涯にわたり継続する姿勢が必須です。そこで新しいカリキュラムでは授業時間を1コマ60分に短縮するとともに、統合型の講義・実習を取り入れて全授業時間を縮小します。代わりに自学自習時間を大幅に増やすことで、学生の自己研鑽能力を高め生涯学習の姿勢を養います。この新しいカリキュラムは医学教育の国際基準にも対応しています。

医学的知識と実践能力

一貫した理解を促すために医学準備科目と基礎医学を統合型とし、さらに、PBLテュートリアルを組み込んだハイブリッド型のカリキュラムを提供することにより、効率的かつ能動的に学習するとともに、省察力の育成を目指します。1年次から2年次前半では「生体の構造」「生体の機能」「生体物質の科学」「医用理工学」の4系統に分類し、正常人体の構造・機能を総合的に学びます。2年次では「病態の科学」として、疾病時の人体の構造・機能の変化を学びます。臨床医学では、3年次までに臨床医学の基礎を臓器別に学ぶとともに、社会医学の基本を学び、3年次末に全国統一試験である共用試験を受験します。合格後、4年次では全診療科で実施する基本臨床実習で実臨床を学びつつ、医療の実践に必要な横断的な臨床知識と臨床推論能力を修得します。5年次から6年次にかけて、付属病院はもとより国内外の医療施設で診療参加型臨床実習を行い、医師としての実践能力を高めます。6年次後半には、統合型臨床医学演習を行い知識の統合化を図ります。

患者対応能力

全人的医療人教育科目を1年次から6年次まで配置し、医学の学びに合わせて、医療人として必要な態度や責任感、倫理観、コミュニケーション能力を醸成します。早期より医療現場において体験実習を行うことにより、医学生としての自覚を促します。4年次から6年次では臨床実習を通じて、医師としてあるべき姿を学びます。人文・社会学系科目、選択科目で、幅広い教養と豊かな人間性を涵養します。

科学的探究心

1年次から3年次に約20%のフレキシブルタイムを設けることで、自学自習の姿勢を育み、医学の進歩に対応するための能動学習の重要性について自覚を促します。1年次から6年次までの間、基礎および臨床医学研究室への自由なアクセスを可能にし、卒業までに学術論文を書き上げることで科学的思考体系を身につけます。早期から医学研究への関心を高めるとともに、臨床実習においても問題意識を持って学び、実践する重要性を理解し、生涯にわたる科学的探究心を醸成します。

社会・地域への貢献

1年次の全人的医療人教育実習では地域の介護施設実習を、5年次には地域の診療所および中核医療施設での臨床実習を行い、地域医療について実践を通じて学びます。3年次の社会医学科目において、日本や世界の医療・社会保障制度と、様々なライフステージにおける保健の役割について学びます。多職種連携教育に関する科目では、地域・社会においてチーム医療の果たす役割について他学部の学生と共に学びます。

国際性

1年次から4年次まで英語を必修とし、4年次末に英語による医療面接試験を行います。また選択科目には、英語以外の外国語科目を導入しています。自分と文化的背景の異なる他者を理解する視点を、全人的医療人教育、選択科目、人文・社会学系科目によって養います。休暇期間中には短期外国語科目研修プログラム、6年次には国外医療施設での選択制臨床実習を設定し、すべての学生に履修を推奨しています。また、国外から積極的に受け入れている臨床実習学生と共に学ぶことで、国際的視野を養います。

ディプロマ・ポリシー

医学部

学士（医学）

医学部において、所定の履修過程を修了し、以下に示すコンピテンシーを身に付けた者に学士（医学）の学位を授与します。

医学的知識

医療の基盤となっている基礎医学・臨床医学・社会医学の知識を修得し、的確な思考過程と判断力に基づいて、それらを医療現場で生かすことができる。

実践能力

医師としての職責を十分に自覚し、倫理的配慮の下に患者個人や多職種の専門性を尊重した態度をとることができる。また、適切で効果的な診療を行うための基本的な技能を実践できる。

患者対応能力

患者やその家族の尊厳・意志を尊重し、かつ、医療従事者の信頼を得られる思考と態度を身に付け、相互理解と信頼の下に、適切な情報のやり取りができる。

科学的探究心

医学領域での研究の意義を理解し、論理的・批判的な思考に基づいて問題点を見出し追求できる素養を身に付け、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有している。

社会・地域への貢献

有限な保健・福祉・医療の資源を適切に活用することで、社会・地域で求められる医療を実践し、その改善に努めることができる。

国際性

語学力の修得に加え、医学に偏らない幅広い教養を身に付けることにより、国・人種・文化の違いに配慮した医療を実践できる。

入学者選抜方法の趣旨

本入学試験では、優れた学力のみならず、主体的・能動的に行動することのできる力を持ち合わせ、変化の著しい現代社会において問題を発見し、解決に向かうための方向性を見出す思考力・判断力に富む受験生を選抜します。

選抜においては、適性試験において将来医師として必要な思考力、判断力を有していることを確認します。基礎学力の試験では、文章や図表の内容の理解度やそれらを論理的に表現する力、科学的判断力を確認します。面接では、自分の考えを他者に明確に伝えることができるコミュニケーション能力、異なる意見を持つ他者の意見を尊重する態度を有していることを確認します。日常の成績や態度に関しては高校の調査書より、医学を学ぶための基礎学力・語学力を有していること、コミュニケーション能力や向学心を有していることを確認します。

〈推薦入試（公募制—千葉県地域枠）〉

千葉県地域枠入試は、千葉県の医師修学資金制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

千葉県修学資金制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、千葉県で医師として働こうとする者に対し、修学資金を貸与する制度です。

制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 20万円
6年間合計 1,440万円
 - (2) 貸与期間：令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで
 - (3) 免除要件：大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間（義務年限）所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除します。
- ※在学中は、キャリア形成卒前支援プランが適用されます。

詳細は、千葉県のホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryoku/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

〈推薦入試（公募制－新潟県地域枠）〉

新潟県地域枠入試は、新潟県の医師養成修学資金貸与制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

新潟県の医師養成修学資金貸与制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、修学資金を貸与する制度です。

制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 30万円
6年間合計 2,160万円
- (2) 貸与期間：令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで
- (3) 免除要件：大学を卒業した後、2年以内に医師免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること。（9年間には初期臨床研修の2年間を含む。）

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。

詳細は、医師ナビにいがたのホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

〈推薦入試（公募制－千葉県地域枠）〉

募集について

1. 募集人員

医学部 3名

※入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（千葉県地域枠）の募集人員に充てます。

2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (4) 入学後に「千葉県医師修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム（※）」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (5) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

（※）千葉県ホームページ参照

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryou/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

また、総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）、推薦入試（公募制－新潟県地域枠）との併願はできません。

3. 出願期間

Web出願登録：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）13：00

検定料支払い期間：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）15：00

郵送受付：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）（必着）

窓口受付：2022年11月4日（金）9：00～17：00

4. 出願書類と入学検定料

(1) Web志願票

顔写真データ（JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。）

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。入学後に学生証の写真とするため、高校の制服着用不可。

- (2) 出身高等学校調査書 1通
高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。（2022年10月1日以降発行のもの）
- (3) 出身高等学校推薦書 1通
Web出願サイトから印刷、高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。
- (4) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通（該当者のみ）
- (5) 自己アピールシート
- (6) 志望理由書
- (7) 誓約書（本学提出用）（記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。）
- (8) 修学資金申請書（千葉県提出用）
- (9) 誓約書（千葉県提出用）
- (10) 同意書（千葉県提出用）
※(5)～(10)はWeb出願サイトから様式（A4用紙1枚）を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。
- (11) 入学検定料 60,000円
18ページの「Web出願手順」に従って支払いを完了してください。

（注意）いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係に連絡してください。

医学部入試係：電話 03-5763-6670

試験について

1. 試験日・試験科目・時間割

試験日	試験科目	時間割	試験時間
1次試験 2022年11月18日(金)	基礎学力	9:45～10:45	60分
	適性試験	11:30～12:30	60分
2次試験 2022年12月3日(土)	面接	1次試験合格発表時に 通知します	約30分／1人

2. 合格発表

(1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2022年11月25日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間：11/25(金)正午～12/3(土)17:00) 併せて2次試験の集合時間も発表します。
2次試験	2022年12月7日(水)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間：12/7(水)正午～12/9(金)17:00) 合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

- (2) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (3) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

3. 試験会場

1次試験、2次試験共に東邦大学大森キャンパス：23ページの案内図を参照してください。

〈推薦入試（公募制—新潟県地域枠）〉

募集について

1. 募集人員

医学部 5名

※入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（新潟県地域枠）の募集人員に充てます。

2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校または中等教育学校（文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を卒業した者、および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 出身学校長の推薦を受けた者
- (3) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (4) 入学後に「新潟県医師養成修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (5) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることができる者
- (6) 新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること。

（※）地域枠に関するWebサイト（医師ナビにいがた）

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

また、総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）、推薦入試（公募制—千葉県地域枠）との併願はできません。

3. 出願期間

Web出願登録：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）13：00

検定料支払い期間：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）15：00

郵送受付：2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金）（必着）

窓口受付：2022年11月4日（金）9：00～17：00

4. 出願書類と入学検定料

(1) Web志願票

顔写真データ（JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。）

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。入学後に学生証の写真とするため、高校の制服着用不可。

- (2) 出身高等学校調査書 1通
高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。（2022年10月1日以降発行のもの）
- (3) 出身高等学校推薦書 1通
Web出願サイトから印刷、高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。
- (4) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通（該当者のみ）
- (5) 自己アピールシート
- (6) 志望理由書
- (7) 誓約書（本学提出用）（記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。）
- (8) 新潟県医師養成修学資金貸与申請書・所信書（新潟県提出用）
- (9) 誓約書（新潟県提出用）
- (10) 同意書（新潟県提出用）
※(5)～(10)はWeb出願サイトから様式（A4用紙1枚）を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。
なお、(8)の申請書・所信書はA4用紙1枚に両面印刷してください。
- (11) 入学検定料 60,000円
18ページの「Web出願手順」に従って支払いを完了してください。

（注意）いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係に連絡してください。

医学部入試係：電話 03-5763-6670

試験について

1. 試験日・試験科目・時間割

試験日	試験科目	時間割	試験時間
1次試験 2022年11月18日(金)	基礎学力	9:45～10:45	60分
	適性試験	11:30～12:30	60分
2次試験 2022年12月3日(土)	面接	1次試験合格発表時に 通知します	約30分／1人

2. 合格発表

(1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2022年11月25日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間：11/25(金)正午～12/3(土)17:00) 併せて2次試験の集合時間も発表します。
2次試験	2022年12月7日(水)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。 (掲示期間：12/7(水)正午～12/9(金)17:00) 合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

- (2) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (3) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

3. 試験会場

1次試験、2次試験共に東邦大学大森キャンパス：23ページの案内図を参照してください。

注意事項（全区分共通）

1. 出願上の注意

(1) 受験票について

「受験票」は出願書類を受理した後、登録したメールアドレス宛に受験票の印刷についての案内を送ります。マイページに再度ログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日必ず持参してください。

(2) 窓口受付について

下記受付期間のみ医学部入試係にて出願書類の受付を行います。

受付期間 2022年11月4日（金）9：00～17：00

窓口受付では出願書類の受取りのみを行います。Web出願の登録および検定料の払込を済ませたうえで、書類一式を揃えてお持ちください。手続きや持ち込み書類に不備があった場合は受付できません。

(3) 出願手続きについて

Web出願の登録だけではなく、検定料の支払いを済ませ、出願書類提出までを出願手続とします。

(4) 受験上の配慮および修学上の配慮希望について

本学に入学を希望する方で、病気や障がい等のために受験上の配慮や修学上の配慮を希望する場合は、本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」を参照のうえ、申請してください。

申請が行われた場合、病気や障がい等の程度に応じて必要な配慮を行います。すべてのご希望に沿えるとは限りませんので、予めご承知おきください。

申請方法：本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」に掲載している「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内（PDF）」を熟読のうえ、「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム（Googleフォーム）^{*}」より申請を行ってください。

【受験上の配慮および修学上の配慮希望についてURL】

https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/hairyo/index.html

^{*}「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム」を使用する際には、予めGoogleアカウントの作成が必要です。Googleアカウントをお持ちでない方は、「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内」の「Googleアカウントの作成手順」にそって作成してください。

(5) 全面禁煙について

東邦大学医学部では敷地内全面禁煙としています。入学後はこれを遵守してください。

2. 試験当日の注意

(1) 受験票を必ず持参してください。受験票のない場合は、試験を受けられない場合があります。

(2) 受験者は試験開始時刻の30分前までに、試験場への入室を完了してください。開場前に来校した場合は、学生ラウンジ（医学部1号館1階）にてお待ちください。

(3) 試験開始後20分以上遅刻した場合は、入室できません（受験できません）。

(4) 試験開始後は原則として途中退室は認めません。

(5) マークシート方式および記述の試験を行いますので、HBのシャープペンシルもしくはHBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください（受験者間での貸借禁止）。

(6) 英文字がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。

- (7) 不正行為を行った場合は、その場で受験中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。
- ① 次のことをすると不正行為となります。
- (a) 志願票、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - (b) カンニング（試験の教科・科目に関係なくメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (d) 問題冊子、解答用紙を試験会場から持ち出すこと。
 - (e) 指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (f) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (g) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - (h) 試験時間終了後に、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
- (a) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (b) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・震動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (8) 試験会場ではマスクを着用してください。試験中に本人確認をする際はマスクを外してもらいます。試験監督者の指示に従ってください。
- (9) 交通は電車・バスを利用してください。
- (10) 試験会場には受験者以外の立ち入りは出来ません。
- (11) 試験会場は全面禁煙です。

3. その他

〈体調管理について〉

以下のいずれかに該当する場合は受験をご遠慮いただきます。

- ・受験生本人に発熱（37.5℃以上）がみられる場合
- ・受験生本人が海外から帰国して2週間以内である場合
- ・受験生本人または同居する家族がPCR検査対象となり、検査結果が未定の場合
- ・受験生本人が新型コロナウイルス感染症の罹患者または疑いと診断されている場合

入学の手続きについて（全区分共通）

1. 入学手続

- (1) 合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。
- (2) 入学手続期間は2022年12月13日（火）15：00までとします。
- (3) 入学手続には下記のものが必要です。
 - (a) 誓約書・保証書1通
 - (b) 個人情報の取扱いに関する同意書1通
 - (c) 東邦大学青藍会会員届1通
 - (d) 所定の学納金および委託徴収金の納付
 - (e) 千葉県医師修学資金における連帯保証人2名の印鑑証明書（千葉県提出用）
 - (f) 千葉県医師修学資金における貸付申請者及び連帯保証人2名の戸籍謄本（千葉県提出用）
※(e)、(f)は、推薦入試（公募制－千葉県地域枠）のみ
 - (g) 修学資金振込先等連絡用紙（新潟県提出用）
※(g)は、推薦入試（公募制－新潟県地域枠）のみ

2. 入学時納付金等

(1) 「学納金」

項目	金額	備考
入 学 金	1,500,000円	初年度のみ徴収
授 業 料	2,500,000円	年 額
医学教育充実費	500,000円	2年次以降900,000円を徴収
施 設 設 備 費	300,000円	2年次以降800,000円を徴収
合 計	4,800,000円	

(2) 「委託徴収金」

項目	金額	備考
学生教育研究災害傷害保険料	4,800円	初年度のみ徴収
学研災付帯賠償責任保険料	3,000円	初年度のみ徴収
青 藍 会 費（父母会）	300,000円	初年度のみ徴収
学生自治会費	90,000円	初年度のみ徴収
東 邦 会 会 費（同窓会）	100,000円	初年度のみ徴収
合 計	497,800円	

- (3) 在学中の授業料は教育経費の動向を勘案し、改定する場合があります。
- (4) 医学教育充実費は医学教育に必要な経常費の不足額の一部を特別納付金の形で徴収するものです。
- (5) 2年次以降の学納金は授業料・医学教育充実費・施設設備費になります。

3. その他

(1) 特待生制度

2年次から6年次までの前学年次の学業成績が優秀で、且つ心身ともに健全な学生を対象に、当該年度に納める授業料のうち1人最高100万円（各学年200万円限度）を免除します。

(2) 奨学金制度

奨学金を希望する学生のために、医学部独自の奨学金制度、日本学生支援機構等の公的制度および地方自治体・民間団体等の奨学金制度が設けられています。

奨学金の詳細については本学ホームページを確認してください。

東邦大学青藍会貸与奨学金（貸与）

東邦大学医学部東邦会給付奨学金（給付）

千葉県医師修学資金（貸与）

日本学生支援機構奨学金（貸与）

東京都育英資金（貸与）

東京都交通遺児資金（貸与）

川崎市大学奨学金（貸与）

大田区奨学金（貸与）

丸和育英会奨学金（給付）

颯田医学奨学会奨学金（給付）

(3) 学費ローンについて

本学では授業料等の納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。

詳細については、(株)ジャックス コンシューマーデスクまでお問い合わせください。

フリーダイヤル0120-338-817（受付時間／平日9:30～17:30 土日祝日10:00～18:00）

※学費ローンを利用された場合でも、**手続期限日は厳守となります**のでご注意ください。

(4) 寄付金について

入学後、本学の医学振興のため、任意の寄付金をお願いしています。

(抜粋・案)

2023年度

学生募集要項

医学部

〈一般入試〉

〈一般入試(千葉県地域枠)〉

〈一般入試(新潟県地域枠)〉

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、選抜方法等が変更になる場合があります。
変更があった場合には本学ホームページにて告知いたしますので、必ずご確認ください。



東邦大学

2023年度 医学部入学試験概要

募集人員・試験日程

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
総合入試	約10名	郵便受付： 2022年11月1日(火)～ 2022年11月4日(金)必着 窓口受付： 2022年11月4日(金) 9：00～17：00	1次試験： 2022年11月18日(金) 試験場：大森キャンパス 2次試験： 2022年12月3日(土) 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2022年11月25日(金) 正午 2次試験： 2022年12月7日(水) 正午
同窓生 子女入試	約5名			
推薦入試 (公募制- 千葉県 地域枠)	3名			
推薦入試 (公募制- 新潟県 地域枠)	5名			
推薦入試 (付属校制)	約25名	学校長を經由して出願		学校長を經由して 発表
一般入試	約70名*	郵便受付： 2023年12月12日(月)～ 2023年1月27日(金)必着 窓口受付： 2023年1月26日(木)・27日(金) 9：00～17：00	1次試験： 2023年2月7日(火) 試験場：五反田TOCビル 大森キャンパス 2次試験： 2023年2月15日(水)・16日(木) のいずれか1日 試験場：大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験： 2023年2月10日(金) 正午 2次試験： 2023年2月18日(土) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名*			
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名*			

※総合入試、同窓生子女入試、推薦入試(付属校制)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-千葉県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(千葉県地域枠)の募集人員に充てます。

※推薦入試(公募制-新潟県地域枠)の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試(新潟県地域枠)の募集人員に充てます。

入試についてのお問い合わせ

東邦大学医学部入試係

〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号 電話 03-5763-6670 (直通)

※1次試験当日のお問い合わせ先 電話 080-3575-4151(2月7日のみ通話可能)

入試当日の電車遅延等の緊急対応については
ホームページのトップに情報を逐次公開します。

<https://www.toho-u.ac.jp/>

医 学 部

建 学 の 精 神

「自然・生命・人間」

教 育 の 理 念

「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るための、豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」

アドミッション・ポリシー

本学の建学の精神である「自然・生命・人間」を礎に、自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間としての謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るため、豊かな人間性と均衡のとれた知識と技能を有する「より良き臨床医」の育成を医学部の教育目標に掲げています。

医学部は、この教育目標を達成するために、医学知識および技能の教育にとどまらず、患者中心の医療を実践するための幅広い教養教育に基づいた豊かな人間性を涵養します。そして、少人数グループによる課題解決型学習を通して、進歩し続ける医学・医療に対応できるだけでなく、患者やその家族、他職種からの深い信頼を得られる医師を養成します。さらに、多様な語学教育を通じて、異なる文化・民族的背景を持つ人々への医療を提供できる人材の育成に努めます。

そこで、本学部は、以下のような資質を備えた人材を積極的に受け入れます。

入学者に求める能力

医学的知識：医学的知識を修得するために必要な基礎学力を有している。

実践能力：医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。
自らの行動を振り返り、主体的に自身の行動を改善する姿勢を有している。

患者対応能力：他者の価値観を尊重する姿勢を有している。

他者と良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を有している。

科学的探究心：自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。

事実や意見、データなどから、適切な情報を読み解く力と、問題意識に基づいてまとめる力を有している。

社会・地域への貢献：社会情勢に対する強い興味・関心を有している。

地域・社会における医療の役割を積極的に考える姿勢を有している。

国際性：異なる文化・民族的背景を持つ人に配慮する姿勢を有している。

外国語の修得に熱心である。

カリキュラム・ポリシー

医学部は、成熟社会の健康医療を推進できる人間的な温かさと高い実践能力を持った『より良き臨床医』の育成を目指しています。2016年度から導入される新しいカリキュラムでは、臨床実習を4年次から行い、実習内容を量・質ともに充実させ、医師としての基礎力の向上を図ります。また増大する医学的知識に対応するためには、能動学習を生涯にわたり継続する姿勢が必須です。そこで新しいカリキュラムでは授業時間を1コマ60分に短縮するとともに、統合型の講義・実習を取り入れて全授業時間を縮小します。代わりに自学自習時間を大幅に増やすことで、学生の自己研鑽能力を高め生涯学習の姿勢を養います。この新しいカリキュラムは医学教育の国際基準にも対応しています。

医学的知識と実践能力

一貫した理解を促すために医学準備科目と基礎医学を統合型とし、さらに、PBLテュートリアルを組み込んだハイブリッド型のカリキュラムを提供することにより、効率的かつ能動的に学習するとともに、省察力の育成を目指します。1年次から2年次前半では「生体の構造」「生体の機能」「生体物質の科学」「医用理工学」の4系統に分類し、正常人体の構造・機能を総合的に学びます。2年次では「病態の科学」として、疾病時の人体の構造・機能の変化を学びます。臨床医学では、3年次までに臨床医学の基礎を臓器別に学ぶとともに、社会医学の基本を学び、3年次末に全国統一試験である共用試験を受験します。合格後、4年次では全診療科で実施する基本臨床実習で実臨床を学びつつ、医療の実践に必要な横断的な臨床知識と臨床推論能力を修得します。5年次から6年次にかけて、付属病院はもとより国内外の医療施設で診療参加型臨床実習を行い、医師としての実践能力を高めます。6年次後半には、統合型臨床医学演習を行い知識の統合化を図ります。

患者対応能力

全人的医療人教育科目を1年次から6年次まで配置し、医学の学びに合わせて、医療人として必要な態度や責任感、倫理観、コミュニケーション能力を醸成します。早期より医療現場において体験実習を行うことにより、医学生としての自覚を促します。4年次から6年次では臨床実習を通じて、医師としてあるべき姿を学びます。人文・社会学系科目、選択科目で、幅広い教養と豊かな人間性を涵養します。

科学的探究心

1年次から3年次に約20%のフレキシブルタイムを設けることで、自学自習の姿勢を育み、医学の進歩に対応するための能動学習の重要性について自覚を促します。1年次から6年次までの間、基礎および臨床医学研究室への自由なアクセスを可能にし、卒業までに学術論文を書き上げることで科学的思考体系を身につけます。早期から医学研究への関心を高めるとともに、臨床実習においても問題意識を持って学び、実践する重要性を理解し、生涯にわたる科学的探究心を醸成します。

社会・地域への貢献

1年次の全人的医療人教育実習では地域の介護施設実習を、5年次には地域の診療所および中核医療施設での臨床実習を行い、地域医療について実践を通じて学びます。3年次の社会医学科目において、日本や世界の医療・社会保障制度と、様々なライフステージにおける保健の役割について学びます。多職種連携教育に関する科目では、地域・社会においてチーム医療の果たす役割について他学部の学生と共に学びます。

国際性

1年次から4年次まで英語を必修とし、4年次末に英語による医療面接試験を行います。また選択科目には、英語以外の外国語科目を導入しています。自分と文化的背景の異なる他者を理解する視点を、全人的医療人教育、選択科目、人文・社会学系科目によって養います。休暇期間中には短期外国語科目研修プログラム、6年次には国外医療施設での選択制臨床実習を設定し、すべての学生に履修を推奨しています。また、国外から積極的に受け入れている臨床実習学生と共に学ぶことで、国際的視野を養います。

ディプロマ・ポリシー

医学部

学士（医学）

医学部において、所定の履修過程を修了し、以下に示すコンピテンシーを身に付けた者に学士（医学）の学位を授与します。

医学的知識

医療の基盤となっている基礎医学・臨床医学・社会医学の知識を修得し、的確な思考過程と判断力に基づいて、それらを医療現場で生かすことができる。

実践能力

医師としての職責を十分に自覚し、倫理的配慮の下に患者個人や多職種の専門性を尊重した態度をとることができる。また、適切で効果的な診療を行うための基本的な技能を実践できる。

患者対応能力

患者やその家族の尊厳・意志を尊重し、かつ、医療従事者の信頼を得られる思考と態度を身に付け、相互理解と信頼の下に、適切な情報のやり取りができる。

科学的探究心

医学領域での研究の意義を理解し、論理的・批判的な思考に基づいて問題点を見出し追求できる素養を身に付け、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有している。

社会・地域への貢献

有限な保健・福祉・医療の資源を適切に活用することで、社会・地域で求められる医療を実践し、その改善に努めることができる。

国際性

語学力の修得に加え、医学に偏らない幅広い教養を身に付けることにより、国・人種・文化の違いに配慮した医療を実践できる。

入学者選抜方法の趣旨

数学・理科（生物・物理・化学より2科目選択）・英語の筆記試験を行い、これらの科目の基礎知識と応用力を確認します。基礎学力の試験では、文章や図表の内容の理解度やそれらを論理的に表現する力、科学的判断力を確認します。面接では、自分の考えを他者に明確に伝えることができるコミュニケーション能力、異なる意見を持つ他者の意見を尊重する態度を有していることを確認します。また医学・医療に関する強い興味や向学心、自主性や積極性などを有していることも確認します。日常の成績や態度に関しては高校の調査書により、医学を学ぶための基礎学力・語学力を有していること、コミュニケーション能力や向学心を有していることを確認します。

〈一般入試（千葉県地域枠）〉

千葉県地域枠入試は、千葉県の医師修学資金制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

千葉県修学資金制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、千葉県で医師として働こうとする者に対し、修学資金を貸与する制度です。

制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 20万円
6年間合計 1,440万円
 - (2) 貸与期間：令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで
 - (3) 免除要件：大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間（義務年限）所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除します。
- ※在学中は、キャリア形成卒前支援プランが適用されます。

詳細は、千葉県のホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryoushi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

〈一般入試（新潟県地域枠）〉

新潟県地域枠入試は、新潟県の医師養成修学資金貸与制度による医師修学資金貸与を希望する学生を選抜する入試区分です。

新潟県の医師養成修学資金貸与制度は、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする意志を持つ医学生を対象に、将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、修学資金を貸与する制度です。

制度の概要

- (1) 貸与金額：月額 30万円
6年間合計 2,160万円
- (2) 貸与期間：令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで
- (3) 免除要件：大学を卒業した後、2年以内に医師免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること。（9年間には初期臨床研修の2年間を含む。）

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。

詳細は、医師ナビにいがたのホームページ等で必ず確認し出願してください。

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

〈一般入試〉

募集について

1. 募集人員

医学部 約70名

※総合入試、同窓生子女入試、推薦入試（付属校制）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試の募集人員に充てます。

2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者（以下「有資格者」という）
 - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - (c) 文部科学大臣の指定した者
 - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者および2023年3月31日までに合格見込みの者
 - (e) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。

3. その他

- (1) 一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）と併願することができます。
- (2) 併願した者のうち、一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）に合格した者は、一般入試の選抜対象外とします。

出願方法について

1. 出願期間

Web出願登録：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）13：00

検定料支払い期間：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）15：00

郵送受付：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）（必着）

窓口受付：2023年1月26日（木）・27日（金）9：00～17：00

2. 出願書類と入学検定料

(1) Web志願票

繰り上げ合格者には、Web出願時に入力された電話番号に連絡しますので、確実に連絡の取れる電話番号を複数入力してください。

顔写真データ（JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。）

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー

出願から3ヵ月以内に撮影したもの。

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。入学後に学生証の写真とするため、高校の制服着用不可。

(2) 出身高等学校調査書 1通

(a) 高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。（2022年10月1日以降発行のもの）

被災その他の事情により調査書が得られない場合・高等学校卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は卒業証明書（又は、卒業見込証明書）を提出してください。

(b) 高等学校卒業以降の学歴（卒業）を有する場合（短大・大学・大学院）は、最終学歴にかかる出身校の卒業証明書を提出してください。（2022年1月1日以降発行のもの）（その場合、高校の調査書の提出は不要です。）

注）ただし、在学中（卒業見込者含む）・中退・休学の場合は出身高等学校の調査書を提出してください。

(c) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者は、その合格証明書および成績証明書（各1通）を提出してください。

なお、免除科目がある場合は、当該科目修得を証明する高等学校等の証明書をそえて提出してください。

(3) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通（該当者のみ）

(4) 入学資格認定書 外国人学校卒業・卒業見込みの者で学校教育法施行規則第150条第7号により出願をする者は、事前に25ページの個別の入学審査を受けた際に大学が発行した入学資格認定書の写しも提出してください。（該当者のみ）

(5) 自己アピールシート

2次試験の時に提出する書類です。

様式は1次試験の合格発表時に本学ホームページに提示します。

(6) 入学検定料 60,000円

一般入試と一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）を併願し、同時出願する場合：80,000円

28ページの「Web出願手順」に従って支払いを完了してください。

（注意）いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係（電話 03-5763-6670）に連絡してください。

試験について

1. 試験科目

試験区分	試験科目				試験時間	配点
1次試験	理 科	物理	物理基礎、物理		120分	150点
		化学	化学基礎、化学			
		生物	生物基礎、生物			
	数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学A 数学B（数列とベクトルのみ）		90分	100点	
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ		90分	150点		
基 礎 学 力	論理的思考能力、数理解析能力 等		60分	—		
2次試験	面 接	1次試験合格者のみに実施			40分	—

※1次試験は、理科150点、数学100点、外国語150点、合計400点満点の試験で合否が決まり、基礎学力は2次試験合格者選抜時に使用します。

※物理、化学、生物、数学、外国語に基準点を設け、1科目でも基準点に達しない場合は、不合格になることがあります。

※各科目は、マークシート方式で出題します。ただし、基礎学力のみ記述式があります。

※未受験科目がある場合は、不合格となります。

2. 試験日、時間割

試験区分	試験日	試験時間				
1次試験	2023年2月7日(火)	8:35~8:45	9:00~11:00	12:30~14:00	14:30~16:00	16:30~17:30
		点呼・注意事項説明	理 科	数 学	外国語	基礎学力
2次試験	2月15日(水)・16日(木)のうち大学が指定する1日	9:00~(予定)				
		面 接				

(注) 2次試験日程は1次試験合格発表時に指定します。ただし、特別の事情で2次試験日の変更を希望する場合は、下記の振替え受付日時内に、医学部入試係に受験票を持参の上、振替え手続きをしてください。電話による2次試験日の変更は出来ません。

振替え受付日時：2月10日(金) 正午~17:00、2月13日(月) 9:00~正午

3. 合格発表

(1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2月10日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。併せて2次試験日程等も発表します。
2次試験	2月18日(土)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲示します。合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

1次試験合格発表の掲示期間：2月10日(金)正午～2月16日(木)17:00

2次試験合格発表の掲示期間：2月18日(土)正午～2月21日(火)17:00

- (2) 1次試験合格者は、本学所定の自己アピールシートを本学ホームページよりダウンロードし、事前に記入の上、2次試験当日持参してください。詳細は1次試験合格発表時に本学ホームページに掲載します。
- (3) 補欠合格者の繰り上げは、2次試験受験者の中から行き、該当者に電話で連絡するとともに、志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。繰り上げは3月末頃まで順次行います。
- (4) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (5) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

4. 試験会場

試験区分	試験会場	注意事項
1次試験	<u>五反田TOCビル13階・東邦大学大森キャンパス</u>	1次試験会場への入室は、 <u>7:30</u> からです。
2次試験	東邦大学大森キャンパス	(34ページの試験会場図を参照してください)

※1次試験の会場は受験票に記すので確認してください。試験会場を選ぶことはできません。

※1次試験の会場への入室開始時間は変更となる場合があります。その際は本学ホームページに掲載します。

〈一般入試（千葉県地域枠）〉

募集について

1. 募集人員

医学部 3名

※推薦入試（公募制－千葉県地域枠）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（千葉県地域枠）の募集人員に充てます。

2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者（以下「有資格者」という）
 - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - (c) 文部科学大臣の指定した者
 - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者および2023年3月31日までに合格見込みの者
 - (e) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。
- (4) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (5) 入学後に「千葉県医師修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム（※）」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (6) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者

（※）千葉県ホームページ参照

<https://www.pref.chiba.lg.jp/iryuu/ishi/ishikakuho/gakusei/kashitsuke.html>

3. その他

- (1) 一般入試と併願することができます。
- (2) 一般入試（新潟県地域枠）との併願はできません。
- (3) 一般入試（千葉県地域枠）と一般入試を併願した者のうち、一般入試（千葉県地域枠）に合格した者は、一般入試の選抜対象外とします。

出願方法について

1. 出願期間

Web出願登録：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）13：00

検定料支払い期間：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）15：00

郵送受付：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）（必着）

窓口受付：2023年1月26日（木）・27日（金）9：00～17：00

2. 出願書類と入学検定料

(1) Web志願票

書類等に不備があった場合には、Web出願時に入力された電話番号に連絡しますので、確実に連絡の取れる電話番号を複数入力してください。

顔写真データ（JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。）

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー
出願から3ヵ月以内に撮影したもの。

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。入学後に学生証の写真とするため、高校の制服着用不可。

(2) 出身高等学校調査書 1通

(a) 高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。（2022年10月1日以降発行のもの）

被災その他の事情により調査書が得られない場合・高等学校卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は卒業証明書（又は、卒業見込証明書）を提出してください。

(b) 高等学校卒業以降の学歴（卒業）を有する場合（短大・大学・大学院）は、最終学歴にかかる出身校の卒業証明書を提出してください。（2022年1月1日以降発行のもの）（その場合、高校の調査書の提出は不要です。）

注）ただし、在学中（卒業見込者含む）・中退・休学の場合は出身高等学校の調査書を提出してください。

(c) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者は、その合格証明書および成績証明書（各1通）を提出してください。

なお、免除科目がある場合は、当該科目修得を証明する高等学校等の証明書をそえて提出してください。

(3) 志望理由書

(4) 誓約書（本学提出用）（記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。）

(5) 修学資金貸付申請書（千葉県提出用）

(6) 誓約書（千葉県提出用）

(7) 同意書（千葉県提出用）

※(3)～(7)はWeb出願サイトから様式（A4用紙1枚）を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

(8) 自己アピールシート

2次試験の時に提出する書類です。

様式は1次試験の合格発表時に本学ホームページに提示します。

(9) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通（該当者のみ）

(10) 入学資格認定書 外国人学校卒業・卒業見込みの者で学校教育法施行規則第150条第7号により出願をする者は、事前に25ページの個別の入学審査を受けた際に大学が発行した入学資格認定書の写しも提出してください。（該当者のみ）

(1) 入学検定料 60,000円

一般入試と一般入試（千葉県地域枠）を併願し、同時出願する場合：80,000円

28ページの「Web出願手順」に従って支払いを完了してください。

(注意) いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係（電話 03-5763-6670）に連絡してください。

併願者で出願後から2次試験受験までの間に辞退を申し出る場合は、医学部入試係（電話03-5763-6670）まで電話連絡をしたうえで、書面にて辞退する旨を記載し、医学部入試係まで郵送にて連絡してください。

なお、2次試験受験後に辞退することはできません。

試験について

1. 試験科目

試験区分	試験科目				試験時間	配点
1次試験	理 科	物理	物理基礎、物理		120分	150点
		化学	化学基礎、化学			
		生物	生物基礎、生物			
	数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学A 数学B（数列とベクトルのみ）		90分	100点	
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ		90分	150点		
基 礎 学 力	論理的思考能力、数理解析能力 等		60分	—		
2次試験	面 接	1次試験合格者のみに実施			40分	—

※1次試験は、理科150点、数学100点、外国語150点、合計400点満点の試験で合否が決まり、基礎学力は2次試験合格者選抜時に使用します。

※物理、化学、生物、数学、外国語に基準点を設け、1科目でも基準点に達しない場合は、不合格になることがあります。

※各科目は、マークシート方式で出題します。ただし、基礎学力のみ記述式があります。

※未受験科目がある場合は、不合格となります。

2. 試験日、時間割

試験区分	試験日	試験時間				
1次試験	2023年2月7日（火）	8:35～8:45	9:00～11:00	12:30～14:00	14:30～16:00	16:30～17:30
		点呼・注意事項説明	理 科	数 学	外国語	基礎学力
2次試験	2月15日（水）・16日（木）のうち大学が指定する1日	9:00～（予定）				
		面 接				

（注）2次試験日程は1次試験合格発表時に指定します。ただし、特別の事情で2次試験日の変更を希望する場合は、下記の振替え受付日時内に、医学部入試係に受験票を持参の上、振替え手続きをしてください。電話による2次試験日の変更は出来ません。

振替え受付日時：2月10日（金）正午～17:00、2月13日（月）9:00～正午

3. 合格発表

(1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2月10日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。併せて2次試験日程等も発表します。
2次試験	2月18日(土)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

1次試験合格発表の掲示期間：2月10日（金）正午～2月16日（木）17：00

2次試験合格発表の掲示期間：2月18日（土）正午～2月21日（火）17：00

- (2) 1次試験合格者は、本学所定の自己アピールシートを本学ホームページよりダウンロードし、事前に記入の上、2次試験当日持参してください。詳細は1次試験合格発表時に本学ホームページに掲載します。
- (3) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (4) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

4. 試験会場

試験区分	試験会場	注意事項
1次試験	<u>五反田TOCビル13階・東邦大学大森キャンパス</u>	1次試験会場への入室は、 <u>7：30</u> からです。
2次試験	東邦大学大森キャンパス	(34ページの試験会場図を参照してください)

※1次試験の会場は受験票に記すので確認してください。試験会場を選ぶことはできません。

※1次試験の会場への入室開始時間は変更となる場合があります。その際は本学ホームページに掲載します。

〈一般入試（新潟県地域枠）〉

募集について

1. 募集人員

医学部 2名

※推薦入試（公募制－新潟県地域枠）の結果、入学予定者が募集人員に満たない場合は、一般入試（新潟県地域枠）の募集人員に充てます。

2. 出願資格

下記に該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者（以下「有資格者」という）
 - (a) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定した者
 - (b) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - (c) 文部科学大臣の指定した者
 - (d) 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者および2023年3月31日までに合格見込みの者
 - (e) その他本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
（注意）医師法の定める医師免許取得に障がいのある者は原則として出願できません。
- (4) 合格をした場合、入学を確約できる者
- (5) 入学後に「新潟県医師養成修学資金（※）」の貸与を受け、本学卒業後に、医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者（出身地域は問いません）
- (6) 本修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者
- (7) 新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること。

（※）医師ナビにいがた参照

<https://www.ishinavi-niigata.jp/>

3. その他

- (1) 一般入試と併願することができます。
- (2) 一般入試（千葉県地域枠）との併願はできません。
- (3) 一般入試（新潟県地域枠）と一般入試を併願した者のうち、一般入試（新潟県地域枠）に合格した者は、一般入試の選抜対象外とします。

出願方法について

1. 出願期間

Web出願登録：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）13：00

検定料支払い期間：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）15：00

郵送受付：2022年12月12日（月）～2023年1月27日（金）（必着）

窓口受付：2023年1月26日（木）・27日（金）9：00～17：00

2. 出願書類と入学検定料

(1) Web志願票

書類等に不備があった場合には、Web出願時に入力された電話番号に連絡しますので、確実に連絡の取れる電話番号を複数入力してください。

顔写真データ（JPEG、BMP、PNGデータ形式でWeb出願サイトからアップロードしてください。2MBまで。）

上半身正面向き・無帽・無背景・カラー
出願から3ヵ月以内に撮影したもの。

【使用できない写真例】

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。入学後に学生証の写真とするため、高校の制服着用不可。

(2) 出身高等学校調査書 1通

(a) 高等学校長が作成し厳封したものを提出してください。（2022年10月1日以降発行のもの）

被災その他の事情により調査書が得られない場合・高等学校卒業後5年以上経過し、調査書が発行できない場合は卒業証明書（又は、卒業見込証明書）を提出してください。

(b) 高等学校卒業以降の学歴（卒業）を有する場合（短大・大学・大学院）は、最終学歴にかかる出身校の卒業証明書を提出してください。（2022年1月1日以降発行のもの）（その場合、高校の調査書の提出は不要です。）

注）ただし、在学中（卒業見込者含む）・中退・休学の場合は出身高等学校の調査書を提出してください。

(c) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者は、その合格証明書および成績証明書（各1通）を提出してください。

なお、免除科目がある場合は、当該科目修得を証明する高等学校等の証明書をそえて提出してください。

(3) 志望理由書

(4) 誓約書（本学提出用）（記入の際は入学確約入試であることを理解して記入してください。）

(5) 新潟県医師養成修学資金貸与申請書・所信書（新潟県提出用）

(6) 誓約書（新潟県提出用）

(7) 同意書（新潟県提出用）

※(3)～(7)はWeb出願サイトから様式（A4用紙1枚）を印刷し、ボールペンまたは万年筆で手書きで記入し提出してください。

なお、(5)の申請書・所信書はA4用紙1枚に両面印刷してください。

(8) 自己アピールシート

2次試験の時に提出する書類です。

様式は1次試験の合格発表時に本学ホームページに提示します。

(9) 外国人は在留資格認定証明書、在留カードまたは住民票のいずれか1通（該当者のみ）

(10) 入学資格認定書 外国人学校卒業・卒業見込みの者で学校教育法施行規則第150条第7号により出願をする者は、事前に25ページの個別の入学審査を受けた際に大学が発行した入学資格認定書の写しも提出してください。（該当者のみ）

(11) 入学検定料 60,000円

一般入試と一般入試（新潟県地域枠）を併願し、同時出願する場合：80,000円

28ページの「Web出願手順」に従って支払いを完了してください。

（注意）いったん受理した出願書類・検定料はいかなる理由があっても返還しません。

本人住所、保護者住所は合格通知等の郵便先として使用します。出願後、住所変更した場合は医学部入試係（電話 03-5763-6670）に連絡してください。

併願者で出願後から2次試験受験までの間に辞退を申し出る場合は、医学部入試係（電話03-5763-6670）まで電話連絡をしたうえで、書面にて辞退する旨を記載し、医学部入試係まで郵送にて連絡してください。

なお、2次試験受験後に辞退することはできません。

試験について

1. 試験科目

試験区分	試験科目				試験時間	配点	
1次試験	理 科	物理	物理基礎、物理		2 科 目 選 択	120分	150点
		化学	化学基礎、化学				
		生物	生物基礎、生物				
	数 学	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 数学A 数学B（数列とベクトルのみ）		90分	100点		
外 国 語	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ 英語表現Ⅰ		90分	150点			
基 礎 学 力	論理的思考能力、数理解析能力 等		60分	—			
2次試験	面 接	1次試験合格者のみに実施			40分	—	

※1次試験は、理科150点、数学100点、外国語150点、合計400点満点の試験で合否が決まり、基礎学力は2次試験合格者選抜時に使用します。

※物理、化学、生物、数学、外国語に基準点を設け、1科目でも基準点に達しない場合は、不合格になることがあります。

※各科目は、マークシート方式で出題します。ただし、基礎学力のみ記述式があります。

※未受験科目がある場合は、不合格となります。

2. 試験日、時間割

試験区分	試験日	試験時間				
1次試験	2023年2月7日（火）	8:35～8:45	9:00～11:00	12:30～14:00	14:30～16:00	16:30～17:30
		点呼・注意事項説明	理 科	数 学	外国語	基礎学力
2次試験	2月15日（水）・16日（木）のうち大学が指定する1日	9:00～（予定）				
		面 接				

（注）2次試験日程は1次試験合格発表時に指定します。ただし、特別の事情で2次試験日の変更を希望する場合は、下記の振替え受付日時内に、医学部入試係に受験票を持参の上、振替え手続きをしてください。電話による2次試験日の変更は出来ません。

振替え受付日時：2月10日（金）正午～17:00、2月13日（月）9:00～正午

3. 合格発表

(1) 日時、方法

試験区分	日時	方法
1次試験	2月10日(金)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。併せて2次試験日程等も発表します。
2次試験	2月18日(土)正午	合格者の受験番号を医学部構内および本学ホームページに掲載します。合格者には志願票で選択した住所へ文書をもって本人宛に通知します。

1次試験合格発表の掲示期間：2月10日（金）正午～2月16日（木）17：00

2次試験合格発表の掲示期間：2月18日（土）正午～2月21日（火）17：00

- (2) 1次試験合格者は、本学所定の自己アピールシートを本学ホームページよりダウンロードし、事前に記入の上、2次試験当日持参してください。詳細は1次試験合格発表時に本学ホームページに掲載します。
- (3) 合格発表に関する電話での問い合わせには一切応じられません。
- (4) 本学ホームページでの案内は合否確認の補助的手段で、医学部構内での掲示を正式な合格発表とします。ホームページ上で、通信等のトラブルが発生しても、本学は一切責任を負いません。

4. 試験会場

試験区分	試験会場	注意事項
1次試験	<u>五反田TOCビル13階・東邦大学大森キャンパス</u>	1次試験会場への入室は、 <u>7：30</u> からです。
2次試験	東邦大学大森キャンパス	(34ページの試験会場図を参照してください)

※1次試験の会場は受験票に記すので確認してください。試験会場を選ぶことはできません。

※1次試験の会場への入室開始時間は変更となる場合があります。その際は本学ホームページに掲載します。

注意事項（全区分共通）

1. 出願上の注意

(1) 受験票について

「受験票」は出願書類を受理した後、登録したメールアドレス宛に受験票の印刷についての案内を送ります。マイページに再度ログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日必ず持参してください。

1月31日（火）までに印刷についての案内が届かない場合は、医学部入試係（電話 03-5763-6670）に連絡してください。

一般入試と一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の併願者は受験票が2枚になります。

1次試験は一般入試の受験番号で受験してください。

(2) 窓口受付について

下記受付期間のみ医学部入試係にて出願書類の受付を行います。

受付期間 2023年1月26日（木）・27日（金） 9：00～17：00

窓口受付では出願書類の受取りのみを行います。Web出願の登録および検定料の払込を済ませたうえで、書類一式を揃えてお持ちください。手続きや持ち込み書類に不備があった場合は受付できません。

(3) 出願手続きについて

Web出願の登録だけではなく、検定料の支払いを済ませ、出願書類提出までを出願手続とします。

(4) 受験上の配慮および修学上の配慮希望について

本学に入学を希望する方で、病気や障がい等のために受験上の配慮や修学上の配慮を希望する場合は、本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」を参照のうえ、申請してください。

申請が行われた場合、病気や障がい等の程度に応じて必要な配慮を行います。すべてのご希望に沿えるとは限りませんので、予めご承知おきください。

申請方法：本学Webサイト「受験上の配慮および修学上の配慮希望について」に掲載している「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内（PDF）」を熟読のうえ、「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム（Googleフォーム）^{*}」より申請を行ってください。

【受験上の配慮および修学上の配慮希望についてURL】

https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/hairyo/index.html

^{*}「受験上の配慮および修学上の配慮申請フォーム」を使用する際には、予めGoogleアカウントの作成が必要です。Googleアカウントをお持ちでない方は、「受験上の配慮および修学上の配慮申請のご案内」の「Googleアカウントの作成手順」にそって作成してください。

(5) 全面禁煙について

東邦大学医学部では敷地内全面禁煙としています。入学後はこれを遵守してください。

2. 試験当日の注意

- (1) 受験票を必ず持参してください。受験票のない場合は、試験を受けられない場合があります。
一般入試と一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の併願者は、1次試験は一般入試の受験番号の席で受験し、一般入試の受験票を机上に提示してください。
なお、2次試験時には一般入試（千葉県地域枠）もしくは一般入試（新潟県地域枠）の受験票が必要になります。
- (2) 受験者は試験開始時刻の30分前までに、試験場への入室を完了してください。
- (3) 試験開始後20分以上遅刻した場合は、入室できません（受験できません）。
- (4) 試験開始後は原則として途中退室は認めません。
- (5) 理科の受験科目は、当日試験問題を見て選択してください。
- (6) 1次試験でマークシート方式および記述の試験を行いますので、HBのシャープペンシルもしくはHBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください（受験者間での貸借禁止）。
- (7) 英文字がプリントされている上着等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうこともあります。
- (8) 不正行為を行った場合は、その場で受験中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。
 - ① 次のことをすると不正行為となります。
 - (a) 志願票、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - (b) カンニング（試験の教科・科目に関係なくメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (d) 問題冊子、解答用紙を試験会場から持ち出すこと。
 - (e) 指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (f) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - (g) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - (h) 試験時間終了後に、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
 - (a) 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
 - (b) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・震動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - (c) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
 - (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - (f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (9) 試験会場ではマスクを着用してください。試験中に本人確認をする際はマスクを外してもらいます。試験監督者の指示に従ってください。
- (10) 昼食は各自持参してください。
- (11) 試験場付近は駐車ができません。交通は電車・バスを利用してください。
- (12) 試験会場には受験生以外の立ち入りは出来ません。
- (13) 試験会場は全面禁煙です。

3. その他

〈体調管理に関する注意事項〉

以下のいずれかに該当する場合は当日の受験をご遠慮いただき、追試験での受験をご検討ください。追試験の受験手続等の詳細は本学ホームページにて情報を発信していきます。

- ・受験生本人に発熱（37.5℃以上）がみられる場合
- ・受験生本人が海外から帰国して2週間以内である場合
- ・受験生本人または同居する家族がPCR検査対象となり、検査結果が未定の場合
- ・受験生本人が新型コロナウイルス感染症の罹患者または疑いと診断されている場合

〈災害時の不測の事態への対応〉

災害等の不測の事態による別日試験は追試験を受験してください。詳細は本学ホームページに掲載しますので留意してください。

〈試験成績の開示〉

1次試験不合格者を対象に試験成績を開示します。申請受付期間は2023年4月3日（月）から2023年4月7日（金）までです。詳細は2023年4月1日（土）に本学ホームページに掲載します。

なお、申請には受験票が必要です。

個別の入学資格審査について（外国人学校卒業・卒業見込みの者）

学校教育法施行規則第150条第7号により、本学医学部入学試験への出願を希望される方は、下記により出願資格審査を受けてください。

1. 入学資格の認定を申請できる者

高等学校段階を有する外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校の卒業生又は卒業見込みの者について、次の各号に定める要件を満たしていること。

- (1) 2023年3月31日までに満18才に達していること。
- (2) 高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する又は有する見込みであること。

2. 資格審査の対象となる試験

一般入試、一般入試（千葉県地域枠）、一般入試（新潟県地域枠）

3. 申請の手続き

- (1) 申請期限 2022年12月2日（金）まで（必着）
- (2) 審査の時期 申請の都度
- (3) 提出書類
 - (a) 大学所定の「入学資格認定申請書」〈様式〉
※様式は本学のホームページで確認してください。
https://www.toho-u.ac.jp/info_exam/screening.html
 - (b) 当該学校の「卒業（見込）証明書」
 - (c) 成績証明書
 - (d) 当該学校の教育内容を証明する書類
 - 1) 当該学校の概要がわかる「学校案内」等
 - 2) 当該学校の修業年限、授業科目、授業時間数、卒業要件が明記されている「学校規則」等
 - (e) その他本学が必要と認めたもの

4. 申請書の提出方法および提出先

書留郵便で封筒に「大学入学資格審査申請書在中」と朱筆し、返信用封筒（長形3号、郵便番号・住所・氏名を明記し、404円分の切手添付）を同封してください。

提出先

〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16
東邦大学医学部入試係
電話 03-5763-6670

5. 審査方法

申請者から提出された書類一式を審査し、面接を行う場合もあります。

6. 審査結果の通知

審査の結果は、申請者に対し郵送により通知します。

入学の手続きについて（全区分共通）

1. 入学 手 続

- (1) 合格者には合格通知書とともに入学手続要項を送付します。
- (2) 入学手続期間は2023年2月24日（金）15：00までとします。
- (3) 入学手続が所定の期間内に完了しない場合は、入学資格を失うものとします。
- (4) 入学手続には下記のものがが必要です。
 - (a) 誓約書・保証書1通
 - (b) 個人情報の取扱いに関する同意書1通
 - (c) 東邦大学青藍会会員届1通
 - (d) 所定の学納金および委託徴収金の納付
 - (e) 千葉県医師修学資金における連帯保証人2名の印鑑証明書（千葉県提出用）
 - (f) 千葉県医師修学資金における貸付申請者及び連帯保証人2名の戸籍謄本（千葉県提出用）
※(e)、(f)は、一般入試（千葉県地域枠）のみ
 - (g) 修学資金振込先等連絡用紙（新潟県提出用）
※(g)は、一般入試（新潟県地域枠）のみ

2. 初年度納付金等

(1) 「学納金」

項 目	金 額	備 考
入 学 金	1,500,000円	初年度のみ徴収
授 業 料	2,500,000円	年 額
医学教育充実費	500,000円	2年次以降900,000円を徴収
施 設 設 備 費	300,000円	2年次以降800,000円を徴収
合 計	4,800,000円	

(2) 「委託徴収金」

項 目	金 額	備 考
学生教育研究災害傷害保険料	4,800円	初年度のみ徴収
学研災付帯賠償責任保険料	3,000円	初年度のみ徴収
青 藍 会 費（父母会）	300,000円	初年度のみ徴収
学生自治会費	90,000円	初年度のみ徴収
東 邦 会 費（同窓会）	100,000円	初年度のみ徴収
合 計	497,800円	

- (3) 在学中の授業料は教育経費の動向を勘案し、改定する場合があります。
- (4) 医学教育充実費は医学教育に必要な経常費の不足額の一部を特別納付金の形で徴収するものです。
- (5) 2年次以降の学納金は授業料・医学教育充実費・施設設備費になります。
- (6) 入学手続後、入学を辞退する場合、2023年3月31日（金）15：00までに申し出た者に限り、上記納付金のうち入学金を除いた全額を返還します。

注) 上記所定期限内に申し出がない場合は、いかなる理由があっても学納金は全額返還しません。但し、委託徴収金は返還します。

注) 一般入試（千葉県地域枠）、一般入試（新潟県地域枠）は入学確約入試であり、辞退することはできません。

3. その他

(1) 特待生制度

2年次から6年次までの前学年次の学業成績が優秀で、且つ心身ともに健全な学生を対象に、当該年度に納める授業料のうち1人最高100万円（各学年200万円限度）を免除します。

(2) 奨学金制度

奨学金を希望する学生のために、医学部独自の奨学金制度、日本学生支援機構等の公的制度および地方自治体・民間団体等の奨学金制度が設けられています。

奨学金の詳細については本学ホームページを確認してください。

東邦大学青藍会貸与奨学金（貸与）

東邦大学医学部東邦会給付奨学金（給付）

千葉県医師修学資金（貸与）

日本学生支援機構奨学金（貸与）

東京都育英資金（貸与）

東京都交通遺児資金（貸与）

川崎市大学奨学金（貸与）

大田区奨学金（貸与）

丸和育英会奨学金（給付）

颯田医学奨学会奨学金（給付）

(3) 学費ローンについて

本学では授業料等の納入に必要な資金について、提携教育ローンを(株)ジャックスと締結しています。

詳細については、(株)ジャックス コンシューマーデスクまでお問い合わせください。

フリーダイヤル0120-338-817（受付時間／平日9:30～17:30 土日祝日10:00～18:00）

※学費ローンを利用された場合でも、手続期限日は厳守となりますのでご注意ください。

(4) 寄付金について

入学後、本学の医学振興のため、任意の寄付金をお願いしています。

医学部医学科入学志願者等の推移

一般入試 (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	70	2,169	2,053	207	73	28.1
令和2年度	70	2,415	2,281	230	72	31.7
令和元年度	85	2,696	2,527	271	93	27.2
平成30年度	90	2,673	2,487	258	100	24.9
平成29年度	90	3,193	2,944	207	96	30.7

一般入試 (千葉県地域枠) (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	5	87	77	8	5	15.4
令和2年度	5	132	112	7	5	22.4
令和元年度	5	93	78	7	5	15.6

一般入試 (新潟県地域枠) (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	2	48	43	2	2	21.5

総合入試 (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	10	69	69	14	14	4.9
令和2年度	10	92	92	14	14	6.6

同窓生子女入試 (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	5	55	55	7	7	7.9
令和2年度	5	65	65	7	7	9.3

推薦入試 (公募制-新潟県地域枠) (人)

	募集定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	3	34	33	3	3	11

推薦入試 (付属校制) (人)

	募集定員※	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	倍率
令和3年度	25	18	18	16	16	1.1
令和2年度	25	20	20	17	17	1.2
令和元年度	25	21	21	17	17	1.2
平成30年度	25	20	20	15	15	1.3
平成29年度	25	36	36	19	19	1.9

※入学予定者が募集定員に満たない場合は、一般入試の募集定員に充てる。

医学部医学科の定員充足率等

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平均入学 定員超過率
入学定員超過率	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)	(1.00)
入学者数	120	115	115	115	115	115	
入学定員	120	115	115	115	115	115	

東邦大学医学部



千葉県・新潟県 地域枠入試 を 実施いたします

2023年度
入試日程はこちら ▶



地域枠入試とは ※認可申請中

地域枠入試は、都道府県の医師修学資金制度を利用し、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする明確な意志を持ち、卒業後、各都道府県が定める要件に則り、所定の地域で医療を担うことが出来る者を選抜する入試区分です。

詳しくは
裏面へ

千葉県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
NEW 推薦入試 (公募制— 千葉県 地域枠)	3名	郵便受付: 2022年11月1日(火)~ 2022年11月4日(金)必着 窓口受付: 2022年11月4日(金) 9:00~17:00	1次試験: 2022年11月18日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2022年12月3日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2022年11月25日(金) 正午 2次試験: 2022年12月7日(水) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名	郵便受付: 2022年12月12日(月)~ 2023年1月27日(金)必着 窓口受付: 2023年1月26日(木)・27日(金) 9:00~17:00	1次試験: 2023年2月7日(火) 試験場:五反田 TOC ビル 大森キャンパス 2次試験: 2023年2月15日(水)・16日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2023年2月10日(金) 正午 2次試験: 2023年2月18日(土) 正午

<千葉県医師修学資金制度の概要>

貸与金額

月額

20万円

6年間
合計

1,440万円

貸与期間

令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで

免除要件

大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師の免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間(義務年限)所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除。

新潟県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
推薦入試 (公募制— 新潟県 地域枠)	5名	郵便受付: 2022年11月1日(火)~ 2022年11月4日(金)必着 窓口受付: 2022年11月4日(金) 9:00~17:00	1次試験: 2022年11月18日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2022年12月3日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2022年11月25日(金) 正午 2次試験: 2022年12月7日(水) 正午
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名	郵便受付: 2022年12月12日(月)~ 2023年1月27日(金)必着 窓口受付: 2023年1月26日(木)・27日(金) 9:00~17:00	1次試験: 2023年2月7日(火) 試験場:五反田 TOC ビル 大森キャンパス 2次試験: 2023年2月15日(水)・16日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2023年2月10日(金) 正午 2次試験: 2023年2月18日(土) 正午

<新潟県医師養成修学資金貸与制度の概要>

貸与金額

月額

30万円

6年間
合計

2,160万円

貸与期間

令和5年4月から正規の修学期間を終了する月まで

免除要件

大学を卒業した後、2年以内に医師の免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること(9年間には初期臨床研修の2年間を含む)。

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。



東邦大学

医学部 入試係

Tel. 03-5763-6670

〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16

医学部HPは
こちら▶



Web出願は
こちら▶



東邦大学医学部オープンキャンパス参加者数

令和4(2022)年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
7/23(土) 午前	164	119	283	事前予約制 人数制限あり
7/23(土) 午後	145	132	277	
合計	309	251	560	

令和3(2021)年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
7/21(水) 午前	77	59	136	事前予約制 人数制限あり
7/21(水) 午後	81	61	142	
合計	158	120	278	

令和2(2020)年度				
新型コロナウイルス感染症の影響でWebオープンキャンパスとして開催				

令和元(2019)年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
8/16(土)	372	353	725	
8/17(土)	376	349	725	
合計	748	702	1450	

平成30(2018)年度				
開催日	受験生	父母	合計	備考
8/17(土)	420	297	717	
8/18(土)	466	442	908	
合計	886	739	1625	

東邦大学医学部施設見学会

開催年度	参加者数	備考
平成4(2022)年度	10月、12月に2回開催予定	事前予約制 人数制限あり
平成3(2021)年度	3回開催：合計 192	
令和2(2020)年度	5回開催：合計 354	

4 文科高第 6 2 7 号
医政発 0 8 1 0 第 4 号
令和 4 年 8 月 10 日

各 都 道 府 県 知 事 殿
医学部を置く各国公私立大学長

文部科学省高等教育局長
厚生労働省医政局長

地域の医師確保等の観点からの令和 5 年度医学部入学定員の
増加について（通知）

標記のことについては、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」（令和元年 6 月 21 日閣議決定）及び「令和 5 年度の医学部臨時定員の暫定的な取扱いについて（通知）」（令和 3 年 10 月 13 日付け 3 文科高第 632 号文部科学省高等教育局長、医政発 1013 第 1 号厚生労働省医政局長通知）を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、令和 5 年度の医学部入学定員の増加について、別添のとおり取り扱うこととしました。地域への医師確保の観点から、対象学生への指導の充実など新たに留意事項等の記載がございますので、これらを踏まえた運用の程お願い申し上げます。

貴職におかれましては、本取扱の内容について御了知の上、入学定員増を通じて医師確保を図ろうとする場合については、速やかに都道府県・大学間で必要な協議を行っていただき、別添に基づき所要の文書を提出していただくようお願いいたします。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	タカマツ ケン 高 松 研 <平成30年7月>		医学博士		東邦大学 学長 (平30.7)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。